

第三十五回 衆議院議事速記録第十號

大正三年十二月二十五日(金曜日)午後一時十三分開議

議事日程 第九號 大正三年十二月二十五日

午後一時開議

巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正

第一 法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二 畜產組合法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 大正四年度豫算案(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第四 (追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第五 (第一號)大正三年度歳入歳出總豫算追加案

第六 (第四號)大正四年度歳入歳出總豫算追加案

第七 臨時軍事費豫算追加案

第八 臨時軍事費豫算追加案

○議長(奥繁三郎君) 諸君、諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

米價調節ニ關スル法律案

(第二號)大正三年度歳入歳出總豫算追加案

商業會議所法中改正法律案

明治四十五年度歳入歳出總決算

明治四十五年度各特別會計歳入歳出決算

明治四十五年度歳入歳出決算検査報告

一 政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

大正三年十二月二十四日

内閣總理大臣伯耆大隈重信

衆議院議長奥繁三郎殿

衆議院議員恆松隆慶君提出山陰鐵道建設事業進止ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員恆松隆慶君提出山陰鐵道建設事業進止ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一 山陰線中濱田線建設工事ハ本年度ニ於テ漸次之カ進捗ヲ圖ル計畫アリシモ

官報號外

大正三年十二月二十六日(三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第十號 議長ノ報告

資金ノ關係上一時中止スルニ至レリ然レトモ大正四年度ヨリ工事ニ著手スル方針ナリ

二 鐵道ノ建設改良ニ就テハ政府ハ改良ニ偏重スルコトナク緩急ヲ顧慮シ按配宜シキヲ失セサルニ努メツ、アリ

三 津和野線中德佐堅道ハ資金ノ關係上今直ニ工事ニ著手スルヲ得ス

四 石見國ニ於ケル未成線中濱田線益田線及津和野線ハ資金ノ關係上既定年度割額ヲ變更シテ本期議會ニ提出セリ益田萩間ノ工事ニ未タ著手セサルハ資金乏シキニ因ル

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

禮服改正ニ關スル建議案

提出者 村松恆一郎君

大正四年度豫算案ニ對スル修正案

提出者 犬養 毅君

三浦輕便鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 田邊 熊一君

上越輕便鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 若杉 喜三郎君

兵役稅法案

提出者 加藤 勝彌君

明治四十一年法律第二十四號中改正法律案

提出者 早川 鐵冶君

一 議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

日獨交戰ノ原因及經過ニ關スル質問主意書

提出者 三谷 軌秀君

一 貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

大嘗祭齋田ノ土地免租ニ關スル法律案(政府提出)

運河法中改正法律案(本院提出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去二十二日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

畜產組合法案

法橋 善作君

肥後 靜雄君

福田 善二郎君

鷺絲業救濟補償法案

西谷 金藏君

大久保弁太郎君

木下 成太郎君

森田 俊左久君

的野 半介君

井上 篤太郎君

吉田 定之助君

廣澤 辨二君

松田 學君

吉原祐太郎君
武藤金吉君
矢島浦太郎君
奥山寛平君

小山完吾君
島田三郎君
高橋久次郎君
岡部次郎君

佐々木仙一君
福田又一君
吉田圓助君
岩下清周君

米價調節所法案
戸水寛人君
三谷軌秀君
東武義三君
柏谷義三君
伊藤祐一君
平野龜之助君

中倉万次郎君
渡邊祐策君
工藤吉次君
加賀卯之吉君
松村時次君
安田伊左衛門君

福井準造君
高橋光威君
矢野莊三郎君
竹村欽次郎君
西村丹治郎君
村田虎次郎君

衆議院議員選舉法中改正法律案
鶴澤總明君
笠原忠造君
島田俊雄君
麓純義君
荒川五郎君
濱田國松君

宮古啓三郎君
岩崎勳君
川原田三郎君
小泉又次郎君
小河源一君
石橋爲之助君

田代進四郎君
岡田泰藏君
岡田典常君
齋藤隆夫君
相島勸次郎君
林毅陸君

蠶絲業法中改正法律案
高津仲次郎君
春田祐清君
原脩次郎君
營業稅法廢止法律案外一件

小山完吾君
井上篤太郎君
柴田源左衛門君
富安保太郎君
西風重遠君
佐藤信古君

樋口喜輔君
須藤嘉吉君
風間禮助君
熊谷直太君
福岡世徳君
早川六三郎君

一委員長及理事左ノ通當選セラレタリ
瓦斯事業取締法制定ニ關スル建議案委員會
委員長 稻茂登三郎君
置賜輕便鐵道建設ニ關スル建議案外二件委員會
委員長 晴登君

伊藤英一君
綾部惣兵衛君
尾崎元次郎君
富安保太郎君
西風重遠君
佐藤信古君

熊谷直太君
福岡世徳君
早川六三郎君
中安信三郎君
高木益太郎君
大西五一郎君

蠶絲業救済補償法案委員會
委員長 西谷金藏君
米價調節所法案委員會
委員長 戸水寛人君

理事 伊東知也君
理事 吉田定之助君
理事 高橋久次郎君

島田俊雄君
伊東知也君
吉田定之助君
高橋久次郎君

衆議院議員選舉法中改正法律案委員會
委員長 鶴澤總明君
理事 岩崎勳君

理事 石橋爲之助君
理事 福井準造君
理事 西村丹治郎君

岩崎勳君
石橋爲之助君
福井準造君
西村丹治郎君

營業稅法廢止法律案外一件委員會

委員長 松田吉三郎君

理事

富安保太郎君
中安信三郎君
高木益太郎君

畜産組合法案委員會

委員長 法橋善作君

理事

森田俊左久君

一常任委員ノ補缺選舉ニ左ノ通り當選セラレタリ

第一部 豫算委員葉住利藏君(武藤金吉君補闕)

理事

森田俊左久君

第三部 請願委員原脩次郎君(辻寛君補闕)

理事

森田俊左久君

第四部 豫算委員原眞澄君(石黒磐君補闕)

理事

森田俊左久君

○議長(與繁二郎君) 會議ヲ開キマス、日程第一、逕查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長森田俊左久君

第一 逕查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會ノ續(委員長)

(拍手スル者アリ)

(森田俊左久君登壇)

○森田俊左久君 諸君、逕查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、本案ハ退隱料ノ支給ノ方法ガ不權衡ノ點アルコトヲ改メルト云フコト、一ツハ警視廳ノ消防手ト云フモノヲ此案ノ方ニ加ヘルト云フ改正案アルノデアリマス、本案ハ昨年貴族院ヨリ回付ニナツテ本案ハ委員會ノ決議ノ儘未了ニナリマシタ案デアリマシテ、委員會ハ慎重ニ審議致シマシテ、全會一致ヲ以テ原案ヲ可決致シマシタ

(拍手スル者アリ)

○中村啓次郎君 本案ハ讀會ヲ省略シ直ニ委員長報告通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

逕查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出、貴族院回付) 確定議

○議長(與繁二郎君) 中村君ノ動議ニ賛成アリト認メマス、乃チ二讀會三讀會ヲ省略シ直ニ可決確定スルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(與繁二郎君) 御異存ナイト認メマス、仍テ直ニ可決確定ニナリマシタ、日程第二、畜産組合法案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長法橋善作君

第二 畜産組合法案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會ノ續(委員長)

(法橋善作君登壇)

○法橋善作君 私ハ畜産組合法中改正案ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ政府ノ提出案デゴザイマシテ、貴族院可決ノ上本院へ回付サレマシタ、爾後私共委員ハ政府委員ノ意見ヲ聴キ、審議ノ結果現行法律ヨリハ勝レルモノト認メマシタ故ニ、

滿場一致ヲ以テ可決ヲ致シマシテゴザイマス、本案ガ施行サレルニ付キマシテハ、當局者ニ於テモ十分注意ヲシテ施行サレコト、實際ノ上ニ不適當ノ點ガアッタナラバ、速ニ改正アラムコトヲ希望モ述ベ置キ十分手ヲ盡シマシテ積リテアリマス、就テハ本案ハ申上ゲルマデモナク全國ニ互ル畜產業ニ關係スル重要問題デゴザイマス、宜シク御協賛アラムコトヲ希望シマス

○中村啓次郎君 讀會ヲ省略シ、直ニ委員長報告通り可決確定サレムコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

畜産組合法案(政府提出 貴族院回付)

確定議

○議長(奧繁三郎君) 中村君ノ動議ニハ贊成アリト認メマス、依ッテ讀會ニ讀會ヲ省略シ、直ニ可決確定スルニ御異存ハアリマセスカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(奧繁三郎君) 御異存ガナイト認メマス、依ッテ直ニ可決確定ニナリマシタ、日程第三大正四年度豫算案全部ヲ議題ト致シマス、委員長大岡育造君

第三 大正四年度豫算案

(大岡育造君登壇)

○大岡育造君 是ヨリ大正四年度豫算會議ノ經過及結果ヲ御報告申シマス、先ヅ結果ヨリ申述ベリ積リテアリマス、大正四年度豫算中修正ノ主ナルモノヲ舉ゲテ申シマス、二個團體増設費、陸軍省經常部ニ於テ二十四萬八千八百四圓、陸軍省臨時部ニ於テ金四十七萬七千七百四圓、右二項削減、海軍製艦新要費、驅逐艦八隻、潛航艦二隻、海軍省臨時部ニ於テ金七百四十三萬八千四百五十八圓削減、各省ニ通シテ參政官副參政官新設費八千八百六十圓宛テ各削減ス、地方監察官新設費金一万九千七百七十圓削減、傳染病研究所及ヒ水産講習所移管ニ關スル經費、文部省傳染病研究所金二十三萬六千六百三十三圓ヲ文部省所管特別會計東京帝國大學中ヨリ之ヲ削減ス、水産專門學校ニ關スル經費金六千七百九十七圓ヲ文部省經常部ヨリ削減ス、大藏省ノ部ニ於テ國債整理基金中國債ノ元金償還額ヲ三千萬圓ニ改メラタルヲ、從前ノ如ク五千萬圓ニ復活スル目的ヲ以テ右基金中ヨリ三千萬圓ヲ削減ス、治水特別會計ハ從前ノ通り存續スル必要アルニ依リ歲入臨時部地方分擔納付金二百七十三萬六千七百八十一圓ヲ削減ス、帝國鐵道特別會計貸付金二千萬元ヲ削減ス、其理由ハ鐵道建設改良費ハ他ノ適當ナル財源ニ依リ即チ從前ノ運用ニ依ル方法ヲ執ルト云フ譯アリマス、第一ニ報告致シマシタ國防問題ニ關スル豫算委員會ニ於ケル削減ノ意味、即チ多數ノ同意セラレタル發言者ノ主張ハ、國防問題ニ關シテハ吾々ハ國家内外ノ情勢ニ應ジ、完全ナル計畫アラント希望ス、然ルニ今や歐洲ニ未嘗有ノ戰亂アリ其實驗ト爾後ノ情勢トヲ特ニ之ヲ參考シ、適當ノ決定ヲ爲サムベカラズ、故ニ政府ヲシテ更ニ十分ナル調査ヲ爲サシメ、其成案ニ付キ次年度ニ於テ審議決定スルヲ穩當ナリトス、右ノ理由ニ依リ來年ニ於テ一個師團増設、並ニ海軍新要費ノ製艦費ハ之ヲ削減ス、此主張ガ多數ニ依ッテ決定セラレタノデアリマス、參政官及副參政官ノ削減セラレタル其理由ハ、改正ノ必要ヲ認メザル意味ニ於テ否決セラレタノデアリマス、地方監察官新設費政府ノ主張スルコロハ一應可ナルガ如クニシテ、實際今ノ政府ノ爲ストコロ地方行政ヲ或ハ紊ルノ虞モアル、且ッ前ニ一旦此監察官ヲ置イタ實驗ガ甚ダ不結果デアッタ爲メ止メタコトモアル程デアルカラ此場合ニ之ヲ削減

官報號外

大正三年十二月二十六日

衆議院議事速記錄第十號

畜産組合法案 確定議 大正四年度豫算案 若槻大藏大臣ノ演說 一三五

ス、文部省ニ傳染病研究所ヲ移ス、又水産講習所ヲ移ス必要ヲ認メズ、實際ノ今迄ノ經驗ニ依レバ、現行ノ儘ノ方ガ國家ノ爲メニ利益アリト認ムト云フニ歸著致シマス、先ヅ是デケガ政府案ニ修正ヲ加ヘマシタ點デアリマシテ、此他各省ニ互テ農商務省ニ對シテハ、其要求ヲ容レテ何等修正スル所モアリマセズ、遞信省モ亦同ジデアリマス、委曲數字等ノ事ハ別ニ印刷シテ本日配附致シマシタカラ之ニ付テ御覽ヲ願ヒマス、單ニ各省ニ於ケル報告ヲ其處ニ止メマシテ、更ニ特別會計ノ歲入歳出總豫算ニ對シマシテモ、之ヲ認可スルコトニナッテ居リマス、唯此國債問題ニ付テハ修正ガアル、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ要スル件、是ハ第一ガ遞信省管理ノ航路補助ニ關スル件デアリマス、是モ全部認可スルコトニナリマシタ、但シ之ニ付テハ希望ガアリマスガ、後ニ述ベマス、又追第二號ノ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ要スル件モ全部之ヲ認可致シマシタ、即チ四日市港、船川港、鹽釜港、青森港、修築補助ニ關スル契約ノ件ハ認可セラレマシタ、デアリマス(是認)ト呼フ者アリ委員會ニ於テ同意シタノデアリマス、軍事費モ大正三年度ノ追加豫算、即チ一月ヨリ三月マデノ分モ政府ノ要求通り認可致シマシタ、同意シマシタ、軍事費大正四年度ノ追加豫算モ亦之ニ全部同意ヲ致シマシタ、軍事費ノ特別會計ニ關スル軍事費ハ即チ同意スルコトニ極メマシタ、此場合政府ニ對スル希望事項モ二四アリマシタガ、ソレハ豫算委員會ニ於テ述べラレタ一々細カイモノデハ舉ゲマセズ、茲ニ重要ト認ムモノヲ二箇舉ゲテ申シマス、航路補助問題ハ全部同意ヲ與ヘルト同時ニ、各航路ニ對シ受命會社間ノ競争ヲ避ケ、統一ヲ保ツタメ一箇以上ノ會社ト契約スルコトヲ許サズ(二箇以上)ト呼フ者アリ(二箇デス)一箇以上トスレバ二箇ニナルノデアリマス、是ハ現ニ政府ノ補助ヲ與ヘル線路ニ二箇ノ競争ノアル恐ガアリマスカラ特ニ此希望ヲ表スルノデアリマス、鐵道ニ關シテモ一件、來年度ノ此豫算ニハ如何ニモ改良費ガ多ク、建設費ガ甚ダ少ナイノデアリマスケレドモ、是モ此年度デケハ同意ヲ表シマス代リニ、建設改良ノ按排其當ヲ得ザルニ付キ、大正五年度以後ニ於テ、建設費ヲ増加スル目的ヲ以テ更ニ豫算ノ編成ヲナシ、次期ノ議會ニ提出アラント望ムト云フノデアリマス、右ノ如ク修正ヲ決議致シマシタノデアリマス、遺憾ナカラ此修正ニ政府ノ同意ヲ得タリト報告ヲナスコトヲ得マセズ、是ハ委員長ニ於キマシテモ努メテ注意ハ致シマシタガ、豫算委員會ニ於ケル經過ノ主ナル注意ノ點ハ、如何ニモ政府委員應答ノ間ニ圓滿ヲ缺クノ嫌ヒガアリマシタ、動モスレバ政府挑戰ノ傾キヲ持チマス、不肖ナガラ委員長席ヨリ注意モ與ヘタノデアリマス、大隈首相老齡八十二近シト雖モ通常ノ議會ノ豫算會ニ臨マルハ、本年今度ガ初メテノコトデアリマスカラ、出來ルデケノ援助ヲ與ヘルガ爲メニ注意ヲ致シマシタ、尙ホ昨日ノ如キ中正會ノ議員ノ諸君ヨリ、如何ニモ雙方形勢穩當ナラズト云フコトヲ特ニ立ッテ最後ニ述べラレタヤウナ次第デアル、努メテ和衷協贊ノ實ヲ舉ゲンコトヲ祈ツタ次第デアリマスガ、今日此報告ヲ爲スニ當テ政府ノ同意ヲ得タリト申スコトノ出來ナイノハ、委員長ガ甚ダ遺憾スル所デアリマス、此上ハ諸君ノ十二分ノ討議ヲ待テ、相當ノ結果ヲ得ラント希望致シマス、之ヲ報告致シマス(拍手起ル)

○議長(奧繁三郎君) 國務大臣ヨリ演說ノ通告ガアリマスカラ此際之ヲ許シマス、若槻大藏大臣

(大藏大臣若槻禮次郎君登壇)

○大藏大臣(若槻禮次郎君) 唯今大正四年度ノ總豫算ニ付テ大岡委員長ヨリ御報告ニナッタノデアリマスガ、其御報告ニ依リマススト云フト、政府ノ財政計畫ノ重要ナル部分ニ對シテ、委員會ノ同意ヲ得ルコトノ出來ナカッタコトガ明ニナリマシタノデ、此點ハ

政府ノ頗る遺憾トスル所デアリマス、來年度ノ財政計畫ヲ立テマスニ付テハ、時局ノ關係ニ鑑ミマシテ成ベク政費ヲ節約スルト云フ精神ヲ以テ、行政財政ノ整理ヲシテ、費用ノ節減ヲ計リ、新ニ經費ノ増加致シマスモノニ付テハ、必要已ムヲ得ナイモノニ止メテ成ベク經費ノ増加ヲ避ケテ計畫ヲ立テタノデアリマス、而シテ尙政府ノ計畫ノ中ニ重キヲ措イテ居リマスモノハ、借入金ヲ以テ歳出ヲ支辨スルト云フ是迄ノ計畫ニ對シテ、此際政策ヲ變更シタイト云フコトニアルノデアリマス、御承知ノ通り治水事業ノ財源トシテハ、是迄ハ政府ノ一般ノ收入ト地方ノ分擔金ノ外ニ預金部ノ借入金ヲ以テ財源ニスルト云フ計畫ニナツテ居ルノデアリマス、又内地ノ鐵道改良ニ關スル費用ノ財源トシテハ、鐵道ノ益金ヲ以テ支辨シ得ルモノ、外ハ公債ヲ募集シ、若クハ借入金ヲ爲シテ財源ト爲スト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、竝ニ朝鮮ニ於ケル鐵道道路港灣ノ設備ニ關スル費用ニ付テモ、公債募集金又ハ借入金ヲ以テ之ヲ支辨スルト云フコトニナツテ居リマス、之ニ對シテ政府令回ノ財政計畫ハ、治水ノ事業ノ如キ今日成ルベク其計畫ヲ確實ニ實行シナケレバナラヌト云フ事柄ニ付テハ、財源ヲ極ク確カナ財源ニ依ルト云フコトニシテ、財源ノ調達ニ困ルガ爲ニ事業ノ遂行ヲ妨グルコトノ無イヤウニセンケレバナラヌ、ツレガ爲ニハ借入金ニ依ルト云フコトヲ止メルニ非ザレバ此目ノヲ達スルコトハ出來ナイト考ヘルノデアリマス、御承知ノ通り預金部ノ資金ナルモノハ全國ノ郵便貯金ノ如キモノノ集ツタモノガ、其主ナル財源ヲ成シテ居ルノデアリマスガ、郵便貯金ナルモノハ零碎ノ資金ガ各地方カラ集ツテ、中央ノ預金部ニ來ルノデアリマスカラ、此財源ハ更ニ地方ノ開發ノ財源トシテ、各地方ニ低利貸附ノ如キ形ニ依ツテ散布スルニアラザレバ、資金ガ中央ニ偏シテ地方ガ涸渴スルト云フ結果ヲ生ズルノデアリマス、然ルニ此金ヲ財源トシテ治水事業ニ充テマスト云フコトハ、唯今申上ゲマスル成ルベク地方ニ資金ヲ散布スルト云フ目的ヲ達セヌデアリマス、而已ナラズ預金部ノ今日ノ現況ハ、其資金タルヤ餘リ餘裕ガアリマセヌ故ニ、是ヨリ借入レルト云フ計畫ニシテ置キマスコトハ、時シテハハ借入ヲ充分爲スコトガ出來ズ、隨ツテ事業ヲ繰延ベナケレバナラヌト云フヤウナ不幸ヲ見ル虞ガアルノデアリマス、ツレ故ニ政府ノ今回ノ計畫ハ、先以テ治水ノ事業ノ財源ヲ借入金ニ依ルト云フコトヲ全然止メマシテ、治水事業ノ財源ハ全ク國庫ノ一般ノ歳入ト、各府縣カラ國庫ニ納メマストコロノ分擔金ヲ以テ支辨スルト云フコトニ改正スルノガ改正ノ一點デアルノデアリマス、鐵道ノ建設改良竝ニ朝鮮ノ鐵道道路港灣等ノ爲ニ公債ヲ募集スルト云フコトハ、是ハ鐵道等ノ如キ生産事業ニ對シテハ、平時ナラバ公債ヲ募集シテ、是ガ財源ニ充ツルト云フコトハ必ズシモ出來ヌコトデアリマセヌケレドモ、最近數年ノ我が經濟狀況ニ依リマス、公債ヲ内外市場ニ募集スルト云フコトハ、餘程考ヘナケレバナラヌデアリマス、今日ハ公債ヲ募集スルニ付テハ、餘程其條件ヲ不利ニスルニ非ザレバ公債募集ノ目的ヲ達スルコトハ出來ヌデアリマス、斯様ニナリマスルト既存ノ公債ノ信用ヲ害シマシテ、一方ニ於テハ財政上ニ於テ高イ利息ヲ拂ツテ公債ヲ借りテ置キナガラ、一方ニハ額面テ公債ヲ償還シナケレバナラヌト云フ國庫ニ損失ヲ見ルコトニナルノデアリマス、而已ナラズ公債ノ信用ヲ害シマスト云フコトハ、今後借換ヲ爲サナケレバナラヌト云フ國債モ非常ニ多イデアリマス、此借換ノ目ノヲ達スル上ニ於テ餘程害ガアルノデアリマスカラ、不長ナ條件ヲ以テ公債ヲ募集スルト云フコトハ、今日之ヲ避ケナケレバナリマセヌ、而已ナラズ外國カラ公債ヲ募集シテ、其資金ヲ内地ニ持ツテ來テ使フト云フコトニナリマスレバ、内地ノ經濟狀況ヲ急ニ激變スルノデアリマスカラ、物價ノ關係其他ニ於テ貿易ノ狀況ヲシテ日本ノ爲メニ不利ニ爲ス虞ガアルノデアリマス、今日輸入超過ノ多い場合ニ、貿易ノ情勢ハ成ベク之ヲ順調ニ展開シナケレバナラヌ必要ノアル

場合ニ於テ、外資ヲ急激ニ輸入シテ此展開ヲ妨グルト云フコトハ、最モ之ヲ避ケナケレバナラヌノデアリマス、此意味ニ於テ是マデ公債ノ募集ヲ内外ニ致シテ、鐵道ノ資金ヲ得ルト云フ計畫ヲ此儘ニ遂行致スニ付テハ、今日ノ日本ノ經濟狀況ニ於テハ其宜シキヲ得ヌト考ヘマシテ、公債ヲ内外市場ニ募集セヌコトニスル政策ヲ執ツタノデアリマス、然ルニ鐵道ノ建設改良ナルモノハ全然之ヲ止メルコトガ出來ヌノデアリマスカラ、何等カノ財源ヲ見付ケテ鐵道ノ建設改良ハ此目的ノ果サナケレバナラヌノデアリマス、仍テ政府ハ年々公債ヲ五千万圓宛ニマデノ還シテ居リマシタ内ノ二千万圓償還スルコトダケハ之ヲ減シマシテ、是ダケノ資金ヲ以テ鐵道ノ建設改良ノ財源ニ振向ケル計畫ヲ今回立テタノデアリマス、然ルニ豫算委員會ニ於ケル修正ハ如何ニ相成リ居ルカト言ヒマス、唯今大岡委員長カラ御報告ニナリマシタ通り、治水費ノ資源ハヤハリ治水特別會計カラノ繰入金ニ依ル方ガ宜シイト云フコトノ主義ヲ御執リニナッタノデアアル、サウスルトヤハリ治水事業ヲ遂行スル財源トシテハ、預金部カラノ借入金ヲ財源ノ一部ニ入レルガ宜シイト云フ御意見デアルヤウニ窺ハレルノデアリマス、此點ハ根本ニ於テ政府ノ考ト相違ヲシテ居ル所デアリマス、但シ豫算分科會ニ於ケル御議論ヲ御聽スルト云フト、治水費特別會計ハ其儘置イテモ借入金ヲ爲サヌデ宜イナラバ、必ズシモ借入金ヲセナイト云フ御議論ガアッタノデアリマス、若シ然リトスルナラバヤハリ政府ノ計畫ト同様ニ、一般ノ歳入及地方ノ分擔金ヲ以テ治水事業ノ財源ニ充テルト云フコトデアアルラシクアリマスガ、左様デアルナラバ、何故ニ治水費特別會計ト云フモノヲ潛ラセテ、始メテ治水事業ノ財源ニ爲サルノデアリマスカ(其儘ヤッタラ宜イ)ト呼ビ發言スル者多シ)一般會計カラ直ニ治水ノ事業ニ振向ケテ宜イ譯デアアル、之ヲ一旦治水事業特別會計ノ方ヘ入レテ、其特別會計カラ更ニ一般會計ニ入レテ、サウシテ治水事業ニ使フト云フヤウナ紆餘曲折ノ經ルヤウナコトヲ爲サル必要ハナイデアリマセヌカ、世間ニハ豫算ガ錯雜シテ分リ兼ねテ困ルシマシタ法案ヲ改メテ、唯今申上ケルヤウナ紆餘曲折ノ經ルヤウナ錯雜セシメテ、豫算ノ狀況ノ容易ニ分ラナクスル必要ハ、是ハ少シモナイト信ズルノデアリマス(ヒヤク)、又簡單ニセヨ)又「默シテ御聽キナサイ」ト呼フ者アリ鐵道ノ資金ニ付テモ亦然リデアリマス(君ガ皆作ツタノゴソレハ)ト呼フ者アリ公債ノ募集スルト云フ御議論デアラナラバ、今日内外共外國ハ歐羅巴動亂ノ爲ニ、現ニ其經濟市場ハナカク公債募集ノ出來ルヤウナ狀況デアリノデアリマス、内地ノ經濟狀況モ此影響ヲ受ケテ、今日市場ニ於テ公債ヲ募集スルナント云フコトハ、是ハ容易ニ行ハレルコトデアリマスガ、之ヲヤハリ鐵道ノ建設改良ノ費用ヲ公債募集金、又ハ借入金ニ依ラントセラル、ノハ如何ニシテ其實行ヲ爲サルノデアリマスカ、是ハ殆ド私共見當ノ著カヌコトデアアルノデアリマス(拍手起ル)自然其御議論ヲ主張爲サル、以上ハ、其方法ハ御説キニナルコト、思フノデアリマス、何レ伺ツタ上デ十分承知致ス積リデアリマス、或ハ是モ亦豫算ノ分科會等ニ於ケル御意見ニ依レバ、五千万圓ヲ償還スルノデアアル、而シテ其中ノ二千万圓ハ預金部ノ公債ヲ借入償却ヲスルノデアアル、而シテ其預金部ノ資源ヲ以テ新ラシイ公債ニ應募シテ鐵道ノ建設改良ノ資金ヲ作ルノデアアル、斯ウ云フ御議論ガアルヤウデアリマス、ツレナラバデス——而シテ此御議論ヲ主張爲サルノニ、是ハ一舉兩得ノ名案デアルト仰セニナッデアアル(「誰カ」ト呼フ者アリ)公債五千万圓ヲ還スト云フ從來ノ計畫ヲ其儘ニ存シテ居ル、而シテ鐵道ノ爲ニ二千万圓ノ資源ヲ受ケラレルノデアアル、斯ウ云フ御議論デアリマスガ、預金部「償還シテ一般市場ニ償還シナイノデアアル、其預金部ノ資源ヲ以テ直ニ鐵道ニ應募スルト云フナラバ、何故一般收入カラ直ニ鐵道ノ方ヘ借付ケラレヌデアリマスカ、是モ

亦紆餘曲折豫算ヲ錯雜セシムル外ニハ、何モ考ノ違フ所ハナイノデアリマス(「ヒヤノ」ト呼フ者アリ)加之唯今委員長ノ御報告ニナリマシタ所ニ依レバ、國債整理基金ヘノ繰入金ラバ、三千万圓減額ヲシテ居ラレノデアアル、委員長ハ是マデ年々五千万圓ノ償還スルツ云フ計畫ヲ繼續シタイ、ソレ故ニ國債整理基金ノ繰入金ヲ修正シタト斯ウ仰セラレタル、五千万圓ノ繰入金ヲシヤウツ云フ御考ヲ有テ居ラレナガラ、今日三千万圓繰入金レタル、其三千万圓ノ削減爲スデフコトニナリマス、之ヲ削減ケバ政府ハ更ニ五千万圓繰入金ノ追加豫算ヲ出セバ宜イト云フ御話デアッタノデアアル、然ルニ衆議院ニ於テ「帝國議會ニ於テ一旦削減ニナツタ費用ニ付テ、政府ハ更ニ追加豫算ヲ出スト云フコトハ出來ヌノデアリマス(拍手起ル)然ル以上三千万圓ヲ御削減ニナルト云フ、來年ハ國債ニ付テハ少シモ償還ノ出來ナイト云フコトニナルノデアリマス(拍手起ル)斯様ニシテドウシテ鐵道ノ資源ヲ得ラレノデアリマスカ、是カラ中シテ見マシテモ委員會修正ノ通りデハ、現ニ今日ノ財政ノ遂行ガ出來ナイノデアアル、況ヤ委員會ノ修正ハ政府ノ財政計畫ノ根本ト相反シテ居ルノデアリマスデ、政府ハ何處マデモ委員會ノ修正ニ服從スルコトガ出來ヌノデアリマスデ、原案ノ御贊成ヲ切ニ希望致ス次第デアリマス(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 犬養毅君外三名ヨリ豫算案ニ對スル修正案ノ提出ガアリマシタ、先ツ修正案ノ趣旨辯明ヲ許シマス——犬養毅君

(犬養毅君登壇)

(拍手起ル)

○犬養毅君 本豫算ニ對シテ一ノ修正案ヲ出シテ置キマシタガ、餘程澤山ノ款項ニ互リマシテ、浩翰ナモノニナツテ居リマスルガ、既ニ御手許ニ廻シテ置キマシタカラ、細カイコトハ此處テ述ベマセヌガ(「何ニモ來ナイ」ト呼フ者アリ)斯ウ云フモノガ廻ッテ居リマス(「廻ッテ居ナイ」ト呼フ者アリ)配付シタ所ノ函ヲ御覽爲サルト分リマス、斯ウ云フモノガ廻ッテ居ル(「廻ッテ居ラス」又「文書函ヲ見ロ」ト呼フ者アリ)

○議長(與繁三郎君) 靜肅ニ

○犬養毅君 廻ッテ居ナケレバ尙 此大要ダケヲ此處テ述ベマス、ソコデ是ダケノ澤山ノ項目ニ互ッテ居リマスルガ、重ナル修正ノ箇條ヲ舉ゲマス、朝鮮ノ二個師團増設ニ關スル經費ヲ削減ノデアリマス、參政官設置ニ關スル經費ヲ削減ノデアリマス、地方行政監察官設置ニ關スル經費ヲ削減、朝鮮事業費資金貸付金之ヲ削減、帝國鐵道特別會計貸付金、是ヲモ修正スル、砲兵工廠據置運轉資本補足、是ヲ修正スル、ソレカラ殖民地經費補充、航路補助費、電話擴張費、製鐵所擴張費、官業拂下其他行政整理カラ生ズル所、此各項ニ互リマシタ零碎ノ費目修正ガ加ヘタルモノガ、即チ是デアリマス、此修正ニ付キマシテハ、尙先デ詳シク説明致シマスガ、其中重立タル修正ノ箇條ノ一、番ヤカマシイ問題ニナツテ居リマスルモノハ、即チ一、個師團増加ノ經費デアリマス、此事ニ付テ大略ヲ述ベテ置キタイト考ヘマス(「謹聽々々」ト呼フ者アリ)此問題ハ多年ヤカマシイ問題デアリマスルガ、餘程公平ニ冷靜ニ御互ニ研究致シタイト考ヘル、或者ハ之ヲ以テ一ノ政爭、政治ノ爭ノ問題トナツテ居ルト認メラレル人モアリマスガ、私ハサウ考ヘテ居ナイ、政治ノ爭ノ問題以外ノモノデアアル、或者ハ所謂軍閥閥族ノ一種ノ主張デアルト認メラレテ居ルノガアル、私ハサウ考ヘナイ、此問題ハ陸軍ノ軍事上ニ關スル一ノ主張カラ起ラレタモノデアッデ、藩閥デアルトカ、藩閥以外デアルトカ云フ關係ハ一切持タナイ、斯ウ私ハ認メテ居ル、ソレ故ニ此問題ニ對シテハ相當ノ尊敬ヲ以テ私ハ受取ッ

テ、決シテ之ヲ藩閥ノ問題デアアル、感情ノ問題デアアル、政治ノ爭奪ノ問題デアルトハ私ハ認メテ居ナイ、ソレ故ニ極メテ御互ニ冷靜ノ頭デ研究致シタイト云フコトガ一ツ、モウ一ツ述ベテ置キタイノハ唯今委員長カラ報告サレマシタ削減ハ、私ノスル削減ト意味ガ違フノデアリマス、委員長ノ報告サレマシタ意味カラマシタ削減ハ、私ノスル削減ト意味ガ違フ、即チ研究スルガ爲ニ次年度ニ之ヲ送ラレバ趣意ト承ハル、私共ハ次年度デアリ、今日ハ必要トシテ削減ト云フコトデアアル、不必要ト云フ意味ハ如何ナルコトデアアルカ、歐洲戰亂ノ結果ガ如何ニナツモ相當ナリ増サナケレバナラス、今日ダケノモノデアハ從來ノ、言ヒ換ヘナラバ若シ經濟ガ許セバ所謂精兵ニシテ多數ヲ持テ得ルツ云フナラバ、何人モ此上ハアリマスマイガ、併ナガラ精兵ヲシテ多數ヲ養ヒ得ルト云フコトハ到底國力ガ許サス、陸軍當局者ニ於カレテ腹案ヲ述ベラレタナラバ僅ニ二個師團ノ増加ヲ満足セラレハ譯ハナイノデアリマス、經濟ガ許サヌカラ斯ノ如キモノヲ以テ満足スルト言ハレルノデアアルカラ、詰リ經費關係、ソコデ經費ノ許サヌ範圍ニ於テ陸軍當局者ガ求メラレトコロノ兵數以上ノモノヲ拵ヘル他ノ方法ハナイカ、他ノ方法ヲ認メテ居ルノデアアル、ソレ故ニ此二個師團、常設軍隊ヲ僅ニ二個増スト云フ姑息ヲ遣リ方ハ改メラレタラ宜カラウ、之ヲ打破シ更ニ計畫ヲ立テ直シ、戰時ニハ多數ノ兵ヲ得ル、比較的僅カノ費用ヲ以テ戰時ニ有カナル軍隊ヲ作り得ルト云フ方案ヲ立テタイ、是ガ趣意デアリマス(其案ヲ説明シ給ヘト呼フ者アリ)ソコデ今此二個師團ト云フモノヲ置カレマスルノガ一樣ナル趣意カラ成立ッテ居ルヤウデアアル、朝鮮ノ守備兵必要ト云フコトガ一ツ、ソレカラ全體ノ兵數カラ師團ノ増加ヲ必要トスル、此二個カラ成立ッテ居ルヤウデアリマス、第一ノ朝鮮ノ守備兵必要ト云フ上カラ言ヒマスルナラバ、陸軍ガ訴ヘラレル如キ事情ハ尤モデアラウト思フ、朝鮮ニ絶エズ軍隊ヲ送テ置クト教育ノ上ニモ不便、交代ノ上ニモ不便、種々ナ上ニ不便ガアルノミナラズ動員ノ上ニハ尙更ニ不便デアアル、是ハ私共モ認メテ居ルノデアアル、併ナガラ其認メテ居ルノハ當局者ガ申サレル如キ、之ヲ朝鮮ニ二個師團置イタナラバ是マデノ不便ガ除カレカト云ヘバ、ソレ程ニ除カレヌト考ヘル、何故除カレヌカト云ヘバ朝鮮ニ持ッテ行ッテ置イテモ募集シテ連レテ行ク人員ハ即チ内地ノ人間デアアル、入營除隊、此費用ハ依然タルモノデアリマス、其上ニ於テ朝鮮ニ置イテアル師團ヲ動員スル場合ニハ何レカラ動員スルノデアアルカト云ヘバ、ドウシタ所ガ豫備ハ總テ内地ニ居ルノデアリマスカラ、朝鮮ニ二個師團持ッテ行ッテモ今日ノ不便ヨリカ稍、不便ハ避ケルコトガ出來ラレルガ、當局者ガ述ベラレル如キ總テノ不便ヲ追拂フツ云フコトハ是ハ出來ナイヤウニナツテ居ルノデアリマス、所デ朝鮮ニ置クノガ假ニ當局者ガ言ハレル如ク非常ニ必要ナモノトシタナラバ、内地ノ師團ヲ移セバ十分デアリマス、何ノ差支ハナイ、殊ニ新ニ置クニ及バナイ、内地ノヲ以テ行ケバ宜ト、十九個ノ師團ガ十七個師團ニ内地ガナリサヘスレバ宜イノデアアルカラ、朝鮮ニ置クツ云フコト、全體ノ兵數ノ上カラ増スト云フコトハ、是ハ全ク別段ノ問題デアアル、ソコデ第一ノ理由トセラレル朝鮮ニ置カネバナラヌト云フコトハ、サウ重キ問題デアハナイト私ハ考ヘル、何レニシテモ内地ノモノヲ持ッテ行ッテモ或ハ別ニ置イテモ、全體ノ上カラハ大シヤカマシイ問題デアハナイ、後ニ殘ル問題ハ第二ノ問題デアアル、全體ノ兵數ヲ幾何マニスルカ、此問題デアアル、吾々ガ言フノハ常設軍隊ノ今日ノ遣リ方以外ニ方法ヲ求メテ戰時ノ戰鬪力ヲ作ラウ、當局者之ニ對シテ曰ク、今日ハ精兵必要ノ時代デアアル、精兵ガ必要ナノデアアルカラ兵役年限ヲ短縮シタリ、若クハ他ノ方法ヲ以テ作ラタリ、豫備軍隊デアイケナイト云フコトハ、同志會ニ出席セラレテ陸軍當局者ガ説明ヒラレタ所モ、新聞ニ出サレタ所モ、委員會テ述ベラレタ所モ、大概相

似テ居ルノデアリマス、無論此當局者が述べラレル如ク精兵ノ必要ト云フコトハ何人モ
同様デアラウ、單ニ專門家ノ考ノミデモナイ、精兵ハ必要ナル、併ナガラ精兵バカリデハ
當局者ハ満足サレヌデアラウ、精兵ニシテ多數ガ當局者ハ必要デハナイカ、現ニ歐洲ノ此
戰爭ハ專門家デナクテモ誰ガ考ヘテモ斯ル教訓ヲ示シテ居ル、當局者ノ主張セラレル如
ク精兵ノ必要ト云フコトモ示シテ居ル、ソレト同時ニ多數ガ必要ト云フコトモ示シテ居ル、
驚クベキ多數ガ必要デアリシト云フコトヲ示シテ居ルノデアルガ、此精兵論モ餘程割引ヲ
シテ考ヘネバナラヌハ、獨逸ノ二年兵役ガ佛蘭西ノ三年兵役ト對等ノ角力ヲ取ルノミナ
ラズ、モウ少シ優勢ナ角力ヲ取ルベク思ハレシ、露西亞ハ三年兵役バカリデナイ、四年兵役
ソレ以上ノモノモアル、然ルニ二年兵役ノ獨逸ハ三年以上ノ兵役ヲ踏ンデ居ルト云フ露
軍ニ對シテ、大概ハ對等以上ノ戰ヲ爲シ得ルト云フハ何デアルツレ故ニ當局者ノ説明バ
カリモアデニナラヌ、他ノ原因ヲ研究致サネバナラヌト云フコトハ此一事デモ分ルデアラウ、無
論私ハ精兵ヲ必要ト思フ、精兵ハ必要デアラウガ、精兵ノ多數ヲ持ヘルト云フコトハ餘
程困難デアル、何故困難デアル、此歐洲ノ戰亂以後一切此軍事上ニ變ラナイカ、此內
容ニハ一切變ラナイカ、當局者ハ大膽ナル説明ヲ爲シテ居ラレル、變ラナイ、中隊編成ヲ
單位ニスルコトハ「ナポレオン」以來ノ事サウデアリマス、當局者ノ説明ニ依リマスルト、
宜シ、師團ヲ戰略單位ニスルコト云フコトモ數百年續イテ居ララウ、吾ニハ中隊、大
隊、聯隊、旅團、師團ト云フ如キ編制ノ階級ト其形式ヲ承ラウト云フデハナイ（ヒヤ）
ト呼フ者アリ（師團ト云フモノ、形ハ同ジモノデアデモ、其内容ハ幾度ヒ變テ居ル、實
質ハ幾度變テ居ルカ、大戰ヲ經ル毎ニ内容ガ變テ居ルノデアル、ソコデ是ガ變ラヌト云
フコトヲ大膽ニ公言セラル、ニ至ッテハ實ニ驚入ッテ、何故變ラヌカ、現ニ變ラデハナイカ
（變ルモノカ）ト呼フ者アリ（當局者ガ委員會ニ説明セラレタコトニ依テモ後來特科兵
ハ増サナイノデアルカ、之ニ對シテ何ト答ヘタ、戰時ノ編制ハ特科隊ハソレ、中ニ繰
込ミマス、當然ノコトヲ答ヘタ、恐ラクハ此位ヨリ外答ハ出來ナイダラウ、確ニ増サナケ
レバナラヌデアリカ、素人ガ考ヘテモ分ル、重砲兵ハ増サナイカ、野砲兵ハ今日マデ増サナ
イカ、是マデ使ハナカッタ無線電信、飛行機、自動車、總テ文明ノ利器、就中此度ノ大
戰ニ於テ試驗シタコトコロノ有要モノハ後來増スノハ當然デアル、之ヲ増サナケレバ軍ト
云フ形バカリデハ動ケナイノデアル、軍ノ威力ハ何デアル、軍ノ威力ハ軍ノ形式デハナイ、
軍ノ内容實質カラ威力ハ生ジテ來ル（拍手スル者アリ）内容實質カラ威力ガ生ズルトス
ルナラバ、從來ノ一個師團ニ要スル費用ハ是デハ未來ノ軍ノ内容ハ造ラレナイノデアリマ
ス（ヒヤ）ト呼フ者アリ（誰ガ考ヘテモ分リ切ッテ居ル、ソコデ是ガ變ラヌト申サレルノ
ハ一時瞞著手段ヲ申サレタカ、或ハ左様ニ信セラレ）左様ニ信セラレタカト思フ節
モアル、如何ナル事ヲ申サレタ、獨逸ノ四十二個、斯様なモノガ出デモ驚クベキ事ハナイ、
我東洋帝國ノ想定戰場ニ於テハ運輸ノ不便ヨリシテ斯様なモノヲ運デコトハ無イ、必
要ハナイ、殊ニ青島攻圍戰、此上陸ノ際ハソノ位ノ重砲デモ困ツテ、是ガ戰略戰術上
ニ幾多ノ造詣ヲ持テテ日露戰爭、日清戰爭、其以外種々ノ實驗ヨリ得ラレタコトコロ
貴キ知識ヲ持テテコトコロノ名譽アル日本ノ陸軍ヲ代表シテ言葉トシテハ私ハ驚入ルノ
デアル（ヒヤ）ト拍手起ル、今日陸軍行政當局者ノ知識經驗カラハ成程獨逸ガ
運シヤウナ重砲ハ能ウ運バヌカモ知レヌ、併ナガラ科學ノ進歩ハ運ビ得ル、獨逸ハ確ニ
運シテ居ルノデアル、ソコデ何時マデモ想定戰場ハ青島上陸ノ如キ不完全ナル上陸點カラ
大砲ヲ揚ゲルト云フコトヲ想像サレルノハ大早計デハナイカ、如何ニ不便デモ敵ガ持ッテ來タ
ラドウス、敵ガ相當ノ威力アル砲ヲ持ッテ來レバ、此方ハドウシテモ對サナケレバナラヌ、輸送
ガ不便ナラバ輸送機關ヲ持ヘナケレバナラヌ、何時マデモ勞山灣同様ノ上陸地點ト云フ

コトハ想定戰場ノ地點ニハ吾々ハ想像スルコトハ出來ナイノデアリマス、デスノ如キ此度
ノ戰爭カラ得ラレタ實驗上、軍ノ内容實質ニハ餘程ノ改良ヲ要スルト云フコトハ、當局
者自ラモ認メラレタコトシナケレバナラヌ、之ヲ認ムルトスラバ「ナポレオン」以來變化シテ
居ナイ、中隊モ名前ハ違ハナイ、旅團モ違ハナイ、聯隊モ違ハナイ、併ナガラ内容實質
ハ變ル、變ラナケレバ戰爭ハ出來ナイノデアル、斯様なモノデアラバ、未來ニ於ケル十
九個師團ハ是マデ十九個師團以上ノ威力、以上ノ内容、以上ノ經費ヲ要スルト云フコ
トハ今日カラ分リ切ッテ話デアル、左様ニ經費ヲ要スルモノヲ幾ラマデ増シ得ラル、カ此問
題デアル、餘程私ハ困難デアルツレ故ニ經費ガ十分許シ得ルナラバ、所謂精兵ニシテ
而シテ多數ヲ吾々ハ持ヘルデアラウ、當局者ニ提供スルデアラウ、併ナガラ如何センハ
國力ガ許サヌノデアル、ソコデ別途ノ方案ヲ考ヘナケレバナラヌト云フコトノ結論ガ生ズル
デアル（簡單々々）別途ノ方案ヲ聽カン、又ハ「默ッテ聽ケ」ト呼フ者アリ（當局者動モス
ルト精兵ト申サレル、無論此專門家ニ於カセラレハ少數ナル精兵ガ多數ヲ破ッタト云フ
コトノ經驗ハ澤山有タレテ居ル、歷史ノ上ニモ有タレテ居ル、現ニ奉天戰ニ於テ二十五
六萬三千五百ノ兵ヲ破ッタト云フ經驗モ有タレテ居ルノダラウ、故ニ少數ナル精兵
ガ多數ヲ破ッタト云フコトガアルト云フコトヲ當局者ガ確信ヲ持ッテ居ラレルト考ヘル、此
帝國軍人トシテハ左様ニ確信ノアルコトヲ希望スルノデ、實際ニ於テモ我帝國陸軍ガ未
來ニ於テモ少數ヲ以テ多數ヲ破リ得ルト云フ事實ハ生ジテ來ルダラウト思フ、併ナガラ軍
ノ計畫デハ左様ナ大膽ニ計畫ガ立テラレカ、少數デ何時デモ多數ヲ破リ得ルト云フ計
畫ガ立テ得ルカ、是ハ無謀ト云ハネバナラヌ、何故無謀ト云フカト云ヘバ、所謂精兵ハ
少數デモ精兵サヘ得テ置ケバ、多數ヲ破リ得ルト云フナラバ、斯ウ云フ事ノ前提デナケレ
バ其結論ハ生ジテ來ナイ、敵國ノ軍隊ハ我軍隊ヨリ愛國心ニ於テモ、熱練ニ於テモ、勇
氣ニ於テモ、悉ク劣ル、敵國ノ將帥ハ我將帥ヨリ悉ク劣ッテ居ル、總テノ點ニ於テ劣ッ
居ルト云フコトニ斷定シテ、初メテ少數ガ多數ヲ破リ得ルト云フコトノ結論ガ生ジテ來ル
事實ハ起リマセウ、奉天戰ニ於テ二十五萬三千五百ノ兵ヲ破ッタト云フ事實ガ起ル、併
ナガラ平素ニ於テ軍ノ計畫ヲ立ツル者ガ少數デ何時デモ多數ヲ破リ得ルト云フコト
ハ、敵國ノ將帥軍隊ハ確ニ我ヨリ劣レリ數等劣レリト斷定スルト云フ左様無謀ナ大
膽ニ計畫ガ立テ得ラレカ、當局者ノ精兵主義ハ是デアル、何故ソレデアルカ、當局者
ハ此處デ十九個ノ師團ヲ一個師團増サレル、二個師團ガ戰爭ニドノ位兵ヲ出サレルカ、
素人ガ積ッテモ分ル、一個師團増シテ戰時ニ幾ラノ野戰師團ヲ選リ出サレルデアルカ僅
カナモノデアル、誰ガ考ヘテモ僅カナモノデアル、其位ノモノデアルガ未來ノ戰爭ガ何時マデ
モ一本ノ鐵道ヲ中心トシテ、其鐵道附近デ戰爭ノ起ルト云フコトハ專門家ヲ取除ケテ
モ想像ガ出來ナイ、然ラバ輸送狀態其外ガ違フト云フ有様デアラナラバ、未來ニ起ルベ
キ戰爭ハドノ位大仕掛ノモノデアルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、歐洲戰事現ニサウ
デハナイカ、サウシタナラバ僅ニ二個師團増シタケテ未來（永劫）ト呼フ者アリ（如何ナ
ル大戰ガ起ッデモ確ニ是デ打勝テ得ルト云フコトヲ言ハル、ナラバ、是ハ大膽過ギテ無謀
ト云ハナケレバナラヌ、私ハ恐クハ御受合ハ出來ナイト考ヘル、ソレ故ニ當局者カラ求メラ
レデモ、モウ少シ兵ガ欲シト云フコトハ是ハ御尤モダラウガ、出來ルカ、財政ガ許サヌ、一個
師團スラ何年カ掛ッテ居ルガ出來ナイデハナイカ、ソコデ出來ナイトスレバ正規ノ軍隊ヲ十
九個師團ニ止メ、而シテ此十九個師團モ兵役年限短縮ニ付テ、此短縮ニ伴フ總テノ
設備ハ設ケナケレバナリマセヌ、サウシテ正規ノ兵ヲ拵ヘテ外ニ一種ノ當局者ハ豫備軍ヲ
作ルト云フ計畫ガ他ノ計畫ヲ求メラレナケレバ、獨來ノ大戰ニ應ジ得ラレナイノデアリ
カスウ考ヘル、ソレ故ニ私ハ軍備ヲ縮小スル、イヤ藩閥問題デアルカラ追拂ハウト云フ考

ハ毛頭持ッテ居ラナイトシタ所ガ、此國ノ富マザル財政ノ困難ナル國ニ於テ、豆満江カラ引掛ケテ而シテ支那大陸ニ掛ッテノ保全此大負擔ヲ持ッテ居ル、萬一ノ場合ニハ非常ノ軍隊ヲ要スル、實際ハ要セヌカモ知ラヌガ、平素ノ計畫トシテハ拵ヘテ置カケレバナラヌ、ソレヲ比較的經費ノ掛ラヌモノデ大ナル軍隊ヲ造リ得ルト云フ大計畫ヲ根本カラ改メナケレバ、此姑息ナル二個師團デハドウスルコトモ出來ヌ、是ガ私共ノ議論デアル、ソレ故ニ吾々ハ戰後ノ結果ヲ見ルノデハナイ、一年ノ後ヲ見ルノデハナイ分リ切ッテ居ル、斯様ナ姑息案ニ對シテハ未來戰ニ應ズルコトハ出來ナイカラ、是ハ御捨テナサレ、別ニ計畫ヲ立テロ、是ガ陸軍ニ對スル意見デアリマス、而シテ之ヲ削除スル、但シ此豫算修正案ニ於テハ不信任ト云フ意味ハ毫頭持ッテ居ナイ、陸軍ノ計畫ト云フモノヲ撤回サレ、ハ外ニ爭點ハ吾々ハ持タナイ、是レダケヲ宣明シテ置キマス

(拍手起ル)

○議長(興繁三郎君) 委員長ノ報告ニ反對贊成ノ通告順ニ依ッテ演說ヲ許シマス、片岡直溫君

(片岡直溫君登壇)

(拍手起ル)

○片岡直溫君 諸君、本員ハ委員長報告ノ修正案ニ反對ヲ致シ政府案ニ同意ヲ表スル者デアリマス、唯此場合ニ於テ甚ダ遺憾ニ存シマスノハ、本案ニ對シテ修正ヲナサル所ノ意見ヲ具體的ニ茲ニ承ラズシテ、政府案ヲ贊成スル立場ニ立ツコトヲ甚ダ遺憾ニ存スルデアリマス、併ナガラ曩ニ本會ニ於テノ質問並ニ委員會ニ於ケル攻撃的質問等ヲ參酌シテ、本員ガ政府案ヲ贊成セザルヲ得ザルノ事由ヲ述ベヤウト思フ、第一ニ於キマシテ此豫算ノ立方、即チ政府案ノ根本骨子ト致シテ居ル所ノ非募債主義、此非募債主義ト云フモノハ、多年經濟界ニ於テ希望シテ已マザル所ノ事實デアリマス、今其由テ來ル所ノモノヲ先ヅ申上ゲテ見タイト存シマスノハ、日露戰爭以來ノ財政ノ立方ハ年々借入金即チ公債ノ募集ヲ賴リシテ、サウシテ此財政ノ計畫ヲ立テ、來タト云フコトハ諸君モ御承知ノ通りデアリマス、抑我々中央ノ機關ニ於テ經濟界ノ十分ニ調節スルモノハマダ完全ニ備ハデ居ナイデアル、ソレ故ニ政府財政ノ立方如何ト申スコトハ、直接ニ民間經濟界ニ影響スルコト云フコトモ諸君ノ異論ノ無イコトデアラウト思フ、而シテ民間經濟界ニ影響スベキ所ノ政府ノ財政ノ立方ハ、明治三十九年以來年々公債借入ノ方法ヲ立テ、來テ居ル所ノモノヲ、今茲ニ舉ゲテ見マシレバ、明治三十九年度ハ七千九百八十四萬三千二百四十二圓、四十年年度ハ三十三萬三千二百五十六萬八千八百八十四圓、四十一年度ハ四十二萬八千三百七十七萬七千六百六十六圓、此ノ如ク年々不確定ノ歲入ヲ賴リマシテ、必ズ支出ヲ要シナケレバナラヌ歲出ノ計畫ヲ立テ來タデアリマシテ、年々是ガ實行ニ困難シ、其實行ニ困難シテ來タ所ノモノハ、民間經濟界ヲ壓迫シテ來タト云フコトモ、即チ年々大藏省證券ノ増加シテ來タ事實ニ於テ諸君ノ異論ノナイ所デアラウト思フ、而シテ此ノ如キコトガ連年打續イテ經濟界ヲ非常ニ困難ニ陥ラシムルコトヲ救済セントシテ、四十一年ニ於テ之ヲ一切打切ッテ、非募債主義ヲ唱道セラレタ内閣ガ出來タデアル、併ナガラ其内閣ノ爲ス所モ表面ハ非募債主義デアッタガ、鐵道ノ如キモノハ所謂預金部カラ一時ノ借入ヲスル、治水費ノ如キモノ借入ヲスル、但シ民間カラ募ラズシテ預金部カラ流用スル、斯ウ云フ仕組ヲ立テ、ヤッタデアアル、其鐵道ニ使用シタ金若クハ治水費ニ使用シタ金ノ如キハ、性質上固定スルモノニシテ直ニ資金ノ回收ヲ得ナイモノデアリマスカラ、結局又公債ヲ募ラナケレバナラヌト云フ境遇ニ差迫ッタデアアル、即チ是ガ爲メ外債ハ段々増シテ來ル、外債ガ段々増シテ來タ其結果ハ、急激ナ

ル外債ノ流入ハ偶々物價ノ騰貴ヲ促ガシ、延テ輸出輸入ノ上ニ輸入超過ヲ促シテ來タト云フコトモ諸君ノ爭ハサル事實デアラウト思フ、加之近年ニ至ッテ此外債借入ト云フコトモ出來得ナクシテ、僅ニ二年ノ期限ヲ以テ「ビル」ヲ發行シタコトモ諸君ノ知ラル、所デアル、而シテ一方我國ノ輸出輸入ノ關係上カラ見マシルト、明治元年以來明治三十年マデノ間ノ輸入超過ノ金額ハ差引一億一千餘萬圓、而シテ明治二十年以來大正元年マデノ間ニ差引五億七千餘萬圓デアリマス、大正二年度ノ如キハ一箇年ニ一億何萬圓ト云フ輸入超過ヲ現ハシタ、此ノ如キコトガ民間經濟界ニ居ッテ、眞ニ國運ノ伸張ヲ圖ルベキ責務ヲ執ル所ノ實業家ノ地位トシテハ實ニ苦痛ニ堪ヘナイ事柄デアアル、故ニ政府ノ財政計畫ヲ立テ方ハ、當分非募債主義ヲ以テ大ニ是ガ緊縮ヲ要スルコト云フコトハ、朝野ノ口ヲ極メテ唱道シタコロデアアル、其唱道ニ基イテ立テラレタ今回ノ豫算案デアリマシテ、是ハ吾々ガ年來主張シテ來タコロノモノガ、現實サレタト云フニ過ギナイノデ、吾々ハ喜シテ之ヲ迎ヘルモノデアアルデアリマス、然ルニ今年ノ財政計畫ハ極メテ薄弱——井上角五郎君ノ御質問ヲ伺ッテ見マシト極メテ薄弱デアアル、而シテ歲入ヲ過大ニ見積ッテ居ル、到底實行シ能ハザルコトニ立至ルデアラウト云フコトガ、井上君ノ御說ノ最モ重キヲ置イタコロノヤウニ伺ッタデアリマス、能ク其内容ヲ見レバ經常歲入カラ經常歲出ヲ引去リ、一億一千二百四十九萬四千六百六十八圓ト云フモノハ、全ク臨時部ノ費用ニ供給サレタアル、即チ經常歲入ヲ以テ經常歲出ヲ仕賄ッテ、尙一億一千萬圓ノ餘裕ヲ有シテ居ルト云フコトハ、必シモ豫算全體ニ於テ薄弱ナリトハ言ヘマスマイ、而シテ井上君ノ御說ヲ伺ッタコロニ依レバ、剩餘金ヲ一千八百萬圓繰入レタアル、一千八百萬圓ノ剩餘金ヲ繰入レテ、漸ク出入ノ辻褄ヲ合ハシテ居ルヤイカト云フ御說ヲ伺ッタガ、剩餘金ヲ繰入レテ居ルコトハ、我國ノ歲入歲出ノ編成ニ於テ決シテ珍ラシイコトデアリナラ、又之ヲ繰入ル、ニアラザレバ剩餘金ハ年々始末ニ餘ルコトニナルデアリマセウ、其證據ハ明治四十年ニ於テモ剩餘金ヲ繰入ルハ四千六百七十二萬三千五百九十二圓繰入レタ、四十一年ニ於テハ八千八百八十八萬二千六百一十一圓繰入レテ居ル、四十二年ニ於テハ一千七百六十七萬六千六百八十五圓、四十三年ニ於テハ二千六百八十七萬九千四百四十二圓、四十四年ニ於テハ二千四百六十九萬三千六百六十六圓、大正元年ニ於テハ二千二百五十六萬九千八百五十五圓、大正二年ニ於テハ六百六十二萬二千九百七十五圓、大正四年度ニ於テハ一千六百九十二萬六千八百十三圓ノモノヲ繰入レタト云フコトガ、非常ニ不思議サウニ聞ヘルト云フコトハ如何ナル事由デアルカ、本員共ノ甚ダ了解ニ苦ムトコロデアアル、一方ニ於テハ歲入ヲ過大ニ見積ッテ、是ハ見ヤウニ依テ過大トモ見ラレカモ知レマセヌ、併ナガラ政府ノ豫算委員會ニ於テ提出シタコロノ歲入ノ見積書ヲ見マシト云フコト、豫算不成立ノ場合ニ於ケル實行豫算ニ基イテ、而シテ尙此時局ニ關スル稅ノ其性質ニ依リ、各減ズベキモノヲ見積ッテ、此歲入ヲ極メテ居ルノデアリマス、而シテ是等ヲ見積ルベキモノガ代々ノ内閣ニ奉仕シテ居ル人ニシテ、別段政黨ノ變遷上ニ依ッテ内閣ノ代ッタト云フコトノタメニ、其地位ヲ異ニスル人ニアラザル、即チ政友會内閣ト稱セラレタ時代カラ勤務シテ居ル人ノ數十年來ノ實驗上ニ基キ、且ツ現ニ屬シテ居ルコロニ基イテ調ベテ來タコロノモノヲ、強イテ過大ニ見積ッタリト云フコトモ、是モ少々無理デハナイカト考ヘル、然ラバ大體ニ於テ今年ノ豫算其モノハ決シテ薄弱ニアラザルモノ、加之一方ニ非募債主義ヲ表示シ尙一千八百餘萬圓ノ行政整理ヲシ、即チ節減ヲシテ歲入ノ上ニ於テモ一千六百餘萬圓ヲ捻出シタト云フコトノ苦心ノ跡ハ、確ニ見ルベキモノガアルデアリマセヌカ、政黨ノ立場ヨリ之ヲ云ハ前ニア、言ウタ、斯ウ言ウタト云フガ如キ非難

ハ起リマセウガ、併シ事實上此ノ如キコトノ出來テ居ルト云フコトハ、第二者タル國民ノ上カラ見レバ極メテ満足スルコトニ相違ナイト私ハ信ズル（廢滅稅ハ満足シテ居ラヌ）ト呼フ者アリ）今議員席ヨリ廢滅稅ノ御小言が出マシタカラ、此場合一言附加ヘテ置キマセウ、抑、我國民ノ負擔ハ日露戰爭ヨリシテ今日マデノ間ニ、負擔ノ多キコト約二倍ニ達シテ居ル、而シテ此戰爭ノタメニハ國民ノ生産力ノ上ニ非常ナ影響ヲ及シタモノデアアル、何トナレバ現ニ日露戰爭ニ於テ我壯丁ヲ徵發シタモノガ約八十八万人デアル、而シテ此中テ戰死若クハ病死ヲ致シタコロノ人間モ七万八千七百八十八人ノ大多數ニ至ッテ居ル、戰爭其モノ、費用ヲ二十億万圓モ負擔シ、其上ニ生産力ニ從事スベキ生産ヲ増殖スベキコトコロノ壯丁ヲ、茲ニ徵發シテ其中ヨリ是ダケノ人員ハ戰死若クハ病死シタモノ云フコトデアレバ、即チ生産力ヲ殺イデ居ルト云フコトハ蔽フベカラザル事實デアアル、然ラバ戰爭ノ終シタトキニ於テ、成ルベク此負擔ヲ輕減シ、即チ先キニ殺ガレタモノヲ補フト云フ順序ヲ取ル上云フコトハ當然デアリマス、然ルニ其戰後ノ經營ヲナシタコロノ内閣ノ遣方ハドウカト云フト、（今ノ内閣ハドウカト）呼フ者アリ）今ノ内閣ハ後トカラ申上ダマセウ、却テ負擔ヲ輕減スベキトキニ於テ、酒稅ニ於テ、砂糖消費稅ニ於テ、石油消費稅ニ於テ、煙草ノ費用ニ於テ合計三千五百六十九百二十七圓ノ増稅計畫ヲ行フテ、非常ナ負擔力ニ堪ヘナイ時ニ於テ、尙壯丁ノ國事ニ從事スルガタメニ生産力ヲ殺ガレテ居ラヌ、其後ニ於テ減稅ドコロデナイ、是ダケノ増稅ヲ斷行シタ、サウシテ先キニ申上ダタ公債政策ヲ立テ、段々ニ物價騰貴ヲ促シテ來テ、輸出輸入ノ關係が先キニ示シタヤウナコトニナッテ來タト云フコトハ、國民ノ最も苦痛トスルコトコ、即チ吾共ガ此ノ場合ニ於テ國民ノ負擔、殊ニ此ノ豫算ノ上ニ關係ノアルコロノ輸出ノ獎勵上妨グニナルベキコトコロノ部分ニ對スル稅ノ如キハ、之ヲ輕減スルニアラザレバ我が貨幣制度ノ上ニ非常ノ惡影響ヲ及ボシハセスカト云フコトハ心配ヲ致ス（今ハ心配ガナクナツタ）ト呼フ者アリ）即チ其ノ計畫ヲ吾共ハ立テ、且ツ之ヲ主張シタモノニ相違ナイノデアアル、ソレ故ニ營業稅ノ如キ、通行稅ノ如キ、現ニ之ヲ改廢スルト云フトコロノ策ハ立テ、居ツタニ相違ナイ、併ナガラ今日ノ時局ヲ惹起シテ、此ノ時局ニ對シテ尙ホ此ノ終ヲ告グルマデノ間ニ於テ（嘘ヲ言フナ）ト呼フ者アリ）嘘ヲ言フナト言ッテモ時局が其通りデナイカ、此ノ如ク世界ノ事變ヲ起シテ非常ノ費用ヲ要スル時ニ當ッテ、一概ニ減稅ヲ爲サント欲スルモ能ハザルトキニ至ッデハ、是ハ何人ト雖モ爭フベカラザルコトデアル（拍手起ル）若シ此ノ時勢が平穩ニ歸シ國力が之ニ伴ウテ來ル曉ニ於テハ、無論我輩ハ此ノ所論ヲ滅却スルモノデハナイノデアアル、今一ツ豫算ノ削減ノ非ヲ論ズル前ニ於テ申上ゲテ置カナケレバナラヌト思ヒマスルコトハ、此ノ豫算ノ即チ歲出歲入ノ方針ヲ定メ設計ヲ爲スニ當ッテ、之ヲ實行スルハ爲ニ經濟界ニハ非常ナ苦痛ヲ及ボスモノデアアル、此消極政策ハ即チ民間ヲシテ益ク困難ナラシムルモノデアルト云フコトガ、及政友會諸君ノ念頭ニアラセラル、モト見エテ、京都支部ノ如キ又本讀會上ニ於テノ質問等ニナッテ現ハル、ノデアリマスルガ、是ハ能ク其本源ヲ極メテ貫ヒタイト思フ、本員ヲシテ忌憚ナク之ヲ言ハシムレバ、今日ノ如キ經濟界ノ變調ヲ來シ甚ダシキ苦痛ヲ見ルノ已ムヲ得サルニ至ッタト申スコトハ、戰後ノ經營其モノヲ諷シタ結果ニ外ナラヌト考ヘテ居ル、其證據ハ先キニ述ベタ通りデアル（若槻君ニ言ヒ給ヘ）若槻君が居ルヂヤナイカ）ト呼フ者アリ）併ナガラ既往ノコトヲ答メテ見タトコロガ、既往此ノ政策ヲ立テタ人モ國民ノ苦痛ヲ招カンガ爲メニ爲シタコトヲデナイト云フコトハ、私ハ確ク信ズル、此政策ハ宜シキモノ、國民ニ適スルモノ、國家ノ爲メニ宜シキモノト信ジラレタノデアアル、唯方針ヲ誤リ見解ヲ誤シタト云フ自分ノ見地ヨリ見レバサウ見ルノ外ハナイ、併ナガラ唯今之ヲ責メテ見タトコロガ、恰モ死シタ

小供ノ年ヲ算ヘルヤウナモノデアル、ソレ故強テ之ヲ私ハ論難スルモノデハゴザイマセヌガ
唯今日ノ經濟界ノ甚シキ狀況ニ立至ッテ居ルト云フコトハ、今日世界的ノ變亂ニ遭
遇シ初メテ國民ガ其真相ヲ覺醒シタモノデアルト私ハ見テ居ル、政友會諸君ト雖モ
是ハ恐ラク今日マデノ政策ヲ全然是ナリトハ、恐ラク仰シヤルマイト私ハ信ズル（「ノウノ
ウ」謹聽）ト呼フ者アリ）而シテ近時ニ至リマシテハ我經濟界ハ稍順潮ニ赴キツ、
アルノデアル、其證據ハ本年ニ至リマシテ諸會社ノ増資及ヒ拂込ノ金額等ヲ調べテ
見マスト約一億六千万圓、ソレカラ上半期ニ於ケル輸出輸入ノ關係ヲ見マスト、
昨年ヨリ増加致シテ居ルトコロノ金額約五百萬圓デアル、唯本年七月以來今日
ノ世界的變亂ニ遭遇致シマシタ爲メニ世界的ノ影響ヲ受ケ、即チ今日ノ非常ナル
困難ノ狀況ニ至ッテ居リマスルガ、是ハ時局其者ノ然ラシムルトコロ、而モ此事タルヤ、
日本ニ限ツタモノニアラズ、亞米利加ニ於テモ、他ノ中立國ニ於テモ
等シク此ノ影響ノ避クベカラサル狀況ニ在ルト云フコトハ稍世界ノ經濟狀態ニ
注意スル者ニアッデハ更ニ異論ノナイコトデアル（尙更兵力休養ノ時代デアル「謹聽」ト
兵ハ如何ト呼フ者アリ）而シテ是ヨリ本論ニ入ッテ削減ノ反對ヲ述ベマス（「謹聽」ト
呼フ者アリ拍手起ル）第一ニ於テ此ノ公債償還ノ方法ヲ改正セラレ、即チ減債基金
法其者ノ上カラ見て、政友會諸君ノ執ラタコロノ此ノ修正ナルモノハ、極メテ不理
不當ノモノデアル（「ノウ」）此點ハ今大藏大臣ガ最も精細ニ其ノ間違ヲ訂サレタヤ
ウデアル、恐ラク是ハ政友會諸君ノ御間違デハナイカト考ヘル、行掛リ上間違ハ間違
宜シイコトデアル（間違デハナイト呼フ者アリ）若シ間違デハナイトスレバ、是ハ餘程世
中ノ數字計算ガ解ラナイ御方ノヤリ方ト見ルヨリ外ハナイ、若シ印刷ノ誤リナラバ誠ニ
仕合デアルト私ハ考ヘルノデアリマスルガ、若シ此ノ方法ヲ強テ主張スルト云フコトニテ
バ、豫算ノ總體ニ對シテ根本ヲ打毀スモノト謂ハナケレバナラヌ、先ニ申上ケマシタ非
債主義ヲ以テ立テ、來タトコロノ根本ヲ打毀スモノデアリ、取リモ直サズ現内閣ノ不
任ヲ程好ク而モ誠ニ狡ルク表白シタモノト云フノ外ハナイノデアル、若シ國家ノ政黨ナ
ルモノガ、果シテ公黨ナリトスレバ、是等ノ如キ政見ハ常ニ政策トシテ掲ゲ、當然ニ公
ト爭フベキ問題デアル、取リモ直サズ本員ハ此ノ點ニ對シテハ不信任ヲ表白サレタモノ
認ムルノ外ハナイト考ヘル、次ニ各省ニ互ル政務官ノ俸給廳費ヲ削減サレタ點デアリ
スルガ、是ハ屢々政府當局者ノ説明ニ依リマシテモ、又世間ノ論難致スコロニ依リマ
シテモ、政務ト事務トヲ區分シナケレバナラヌト斯ウ云フコトニ過ギナイ、而シテ此ノ實際
ヲ申シタラ如何デアルカ、此ノ議會ガ開ケテ居リマスルトキニ當テ、若シ民間ニ何カ政府
ニ出願スルカ政府ト交渉スル必要ノコトアリトセバドウデアル、各局長初メ大臣次官ハ
皆議院ニ來テ居ッテ一ツモ其ノ用ヲ便ズルコトガ出來ナイ、十一月カラ翌年二月マデ
間、人民ハ議會ガ開ケテ居ルガ爲メニ爲スベキ仕事モナサズシテ苦シシデ居ルト云フコ
トハ、諸君ハ之ヲ御認メニナラヌノデアルカ、是ハ何故デアルカト云ッタル即チ政務官ト事
務官ノ區別ガ出來テ居リサヘスレバ、事務官ハ常ニ其ノ衝ニ當テ通常ノ仕事ヲ爲シテ
居ルカラ、此ノ如キ滯滯ハ來サヌノデアル、是等ノ如キハ國民ガ最も期待シ望ムトコロ
デアル、サリナガラ此ノ如キモノヲ設置シタリト云ッテ、一二年ノ間ニ極メテ都合好ク事務
ノ滯滯ヲ來サヌヤウニナルトハ私ハヨウ斷言フシマセヌガ、併テガラ漸次是ハ各政黨トモ
熟練サセテ、此人民ニ與フルトコロノ苦痛ヲ除却スルコトニ努メルコトハ、政派ノ如何ニ
拘ラズシナケレバナラヌコトデハアリマセヌカ、是ガ偶々他派他黨ノ提案ニ係ルガ爲ニ之ヲ
削除スルガ如キコトハ、餘リニ狄量ナル致シ方、國家ヲ念頭ニ置ク人ノ致シ方トハ言ヘ
ヌノデアリマス（拍手起ル）即チ是等ハ國民ノ極メテ期待スルトコロト信ジ、又極メテ必要

ナルコト、信シ、本案ヲ賛成シナラヌト考ヘルノデアリマス、次ニ傳染病研究所
水産學校ノ移管問題、是ハ本員ハ一向重キ考ヲ持チマセヌデアリマス、單ニ政府當
局ノ間ニ於テ其管轄ヲ異ニシタト云フニ過ギナイ、各行政府ノ都合上斯様ナコトハ屢々
アルコトデアル、是ガ爲ニ衛生試驗所ヲ廢スルコトカ水産學校ヲ廢スルコトカ、若クハ之ヲ縮小
スルコトカ云フコトナラバ、國民ガヤカマシク言フノガ當然デアリマスガ、別ニ其事ナク、唯單
ニ管轄ヲ換ヘラル、ト云フコトガ國家ノ大問題ノ如ク言ハル、ニ至ッテハ本員ナドハ甚ダ
其意ヲ解スルニ苦ム(ノウ)「ト呼フ者アリ」是ガ爲ニ衛生上何等ノ阻碍アルモノト
ハ信ジナイデアリマス、是等ノコトハ實ハ有體ニ申セバデラモ宜シ、舊ノ通りニシヤ
ウガ、移サレヤウガ問題ニスベキモノデナイト思ヒマス、併ナガラ文部大臣ノ説明スルコ
ロニ依レバ條理整然トシテ從前ヨリ宜シヤウデアルヲ賛成スルデアル、次ニハ國防問
題デアリマス、此ノ國防問題ニ至リマシテ海ノ朝鮮ノ大問題ト相成ッテ、是ガ或ハ政爭
ノ問題トナッテ居ルコトカ、幾ニ大義ヲ言ハレタ、諸君若流ノ何カ意味ガアルガ如キモノ
ニ考ヘルハモアルカモ知レマセヌ、本員ハ是ガ政爭問題ノ問題デモナシ、所謂政治問題
デモ何デモナイト思フ、其點ニ至ッテハ大義ヲ言フ所ノ形ノ上カラ見ルト政爭ノ具ニ供シツ、アルカ
ノ如クニ見エルトハ、洵ニ憂フベキコト、自分ニハ考ヘテ居リマス(ヒヤ)「本員ガ
此ニ個師團問題ヲ、今日ノ場合ニ於テ朝鮮ニ設置スルコト云フコトノ適當ナ必要ナト
云フコトニ於テ、今回ノ世界ノ戰亂ニ關係ヲ致サズニサウ考ヘテ居ルデアル、御承知ノ
通り我國ハ僅カ二十年モ相繼タヌ間ニ領土ハ極メテ廣ク人口モ益々蕃殖ヲ來シタ
デアル、此國力ノ膨脹ト共ニ之ヲ守ル上ニ於テ、世界ニ威信ヲ示ス上ニ於テ、此
國防ノ機關ガ自然ニ膨脹ヲスルコト云フコトモ當然ノ順序デアル、何モ怪シイコトハ
ナイデアル、(去年ノ速記録ヲ御覽ナサイ)「ト呼フ者アリ」殊ニ豫算委員會ノ分
科會ニ於テモ述ベマシタ如ク、我國ハ日露戰爭ノ當時ニ於テ補充シタ所ノ兵ガ今日
尙後備ノ籍ニアルデアリマス、併ナガラ是ガ此補充兵ナルモノハ十二年ノ年ヲ經レバ國
民兵籍ニ移ルデアル、其十二年ノ年ヲ經ルト云フコトハ明年、明後年、明々後年ノ二年ノ
間ニ移ルデアル、然ラバ今日ノ兵力ト稱シテ居ルモノニ缺陥ヲ生ズルコト常ニ其局ニ當ル
人ノ言フノハ無理カラヌコトデアリマス、謂ハシ今日ノ二個師團ハ其補充ヲ爲スト云フニ
過ギナイデアリマス、是ガ端ナク妙ナ行掛リ問題トナツカシヤウデアリマスガ、事
實ハツレデアル、其缺陥ヲ生ズルト云フコトニ對シテ、昨年貴族院ニ於テドナカノ陸軍
大臣ニ對スル質問、如何ニモ其今日ノ紛糾ヲ來ストコロノ實情ヲ知ルニ足ルヤウデア
ルデアル、時ノ陸軍大臣ハ四國ノ事情ニ於テ缺陥ガアリナガラ今茲ニ提出スルコトガ出
來ナイデアル、斯ウ云フ四國ノ事情トハ如何ナルコトカ、斯ウ聽クト云フト、ツレハ内
閣デアルト斯ウ言ツタ、即チ四國ノ事情其モノハ内閣、其内閣ノ事情ガ本年ハ出セナイガ
缺陥ガ生ジテ居ルカラ先づ明年ハ出セルト云フガ如キ暗示ヲサレタデアル、然ラバ其時
ノ内閣諸公ハ、其時ヨリ是ハ本年ニ提出サレルト云フガ如キ暗示ヲサレタデアル、然ラバ其時
レテ居タモノト私ハ考ヘル、然ルニ立憲政治ノ上ニ於テ極メテ變態ヲ來シ、多數黨ト稱
セラル、多數ヲ持ッテ居ラル、トコロノ諸君ノ其内閣ハ失ハレ、少數黨ト意見ヲ同ジウス
ル者ノ内閣ガ出來タ、如何ニモ立憲政治ニハ私ハ不思議ト思ッテ居リマス、不思議トハ
思ッテ居ルガ、併ナガラ其内閣ガ出來タガ爲ニ此二個師團ナルモノヲ、其時ノ暗示ハ何
所ヤラヘ失ッテシマッタト云フ如キハ甚ダ残念デアリマス(時局ハ如何)「ト呼フ者アリ」宜
シ、本員ガ我領土ノ廣マルニ從ヒ人口ノ増殖ヲスルニ從ヒ、段々其兵員其モノモ多ク
ナラナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ此ヤカマシク問題ト相成ッタ時ニ統計的ノ話ハ御耳

ニ入リ兼ネルト考ヘマスルガ、併ナガラ世界ノ人口ノ割合カラ之ヲ見テ觀ルト(「廢セ
廢セ」)「諸君」ト呼フ者アリ)獨逸ニ比較シテモ、佛蘭西ニ比較シテモ、埃地利ニ比較シ
テモ、伊太利ニ比較シテモ、露西亞ニ比較シテモ、之ヲ人口ノ總員ニ比較シテモ、壯丁
ノ人員ニ比較シテモ、總人員ニ比較シテモ、即チ徵兵年齡ニ比較シテモ、日本ハ極メテ
少ナイデアル、ツレ故ニ日本ノ領土ノ廣マリ人口ノ殖エルニ從ッテ、或程度マデ此率ヲ
上セルト云フコトハ是ハ當然ノ順序デアル、ツレ故ニ此政治問題ナルモノハ既ニ朝鮮ガ我
領土ニ歸シテ、我主權ノ下ニ之ヲ保護シシナケレバナラヌト云フ時ニ於テ、異論ナク茲ニ
設置ヲ致サナケレバナラヌデアル、故ニ今日一般戰局ニ別段ノ關係ハナクシテ自分ハ
之ヲ賛成スルデアリマス、併ナガラ時局ノ起タ爲ニ之ヲ今マデニ述ベテ居タモノナラ
バ、今少シ調査ヲシテ、而シテヤッテモ遲イコトハナイデハナイカト云フコトガ政友會諸君
主張ノヤウデアリマス(「勿論」ト呼フ者アリ)併ナガラ政友會諸君ガ分科會ニ於テ述ベ
レタコトハ、豫算委員會長ガ此處ニ報告セラレタコトハ、少々違ッテ居ル、併ナガラ今言
葉ヤ字句ヲ等フ必要モアリマセヌ、唯速記録ニ依ッテ日程ニ政友會諸君ノ立論ガ變化
スルモノデアルカト云フコトハ、能ク諸君ノ注意ヲ喚起シテ置キマス(拍手起ル)今回ノ
時局ニ對シテ別段調査ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、自分ハナイト信ジマスルガ、サリナ
ガラ大ニ時局其モノニ依ッテ即チ戰亂其モノノ經過ニ依ッテ兵備ノ上ニ變化ヲ來スデア
ラウト云フコトガ、調査ヲシテ見タイト云フ人ノ御考デアラウカト思フデアル、此事ハ今犬
養君モ此處ニ述ベラレタデアリマスルガ、犬養君ノ御主張ハ精兵ハ極メテ必要デア
ル、多量ニ必要デアルトモ承ハタヤウデアル、ツレカラ又之ヲ大ニ要ルト云フ必要ガアルカモ
知レヌカラ、別段ノ計畫ヲ研究シナケレバナラヌト云フ思召ノヤウニ伺フデアリマスガ、
不幸ニシテ具體的ニ其案ヲ見マセマセ、今此處ニ充分ニ贊否ノ意見ヲ述ベルコトノ
出來ナイノヲ遺憾トスルデアリマス、唯今回ノ戰爭ニ依ッテ多少ノ變化ヲ來スデアラウ、
之ヲ調査シナケレバナラヌ、斯ウ云フ事ニ對シテハ本員ハ其必要ナシト存スル、何故存ス
ルカト言ヘバ、犬養君ハ實價ガ變ラデアラウト云フガ如ク言ハレタデアリマスルガ、抑
陸軍ノ基礎ハ兵員デアル、其兵員ヲ土臺トシテ或ハ中隊或ハ大隊聯隊ト云フガ如ク、
即チ師團ヲ造リ上ゲテアル、其師團ノ用井ルトコロノ器具ニ對シテハ是ハ多少ノ變化ハ
ルニ相違ナイ、今日マデ、モ種々ノ變化ハ致シテ來テ居ルデアル、ツレ故ニ此變化ハ見
ルデアリマセウカラ、怠ラズ是等ノ改良ニ對シテ注意ヲ施スト云フコトハ是ハ勿論ノコト
デアリマスルガ、師團其モノ即チ兵員、言換ヘレバ軍隊ノ基礎其モノニマデ變更ヲ來サ
イト云フコトハ、陸軍ノ編制始ッテ以來各種ノ戰爭ノ事歴ニ徴シ、尙今回ノ大戰爭ニ
對シテ、各交戰國ノ狀態ヨリ見テモ別段ニ變リヲ來サナイト云フコトハ分リ切ッテ居
(拍手起ル)殊ニ今回ノ二個師團其モノハ兵員ノ問題デアル、即チ日露戰爭ノ當時ニ
於テ補充兵トシテ組入レタモノガ、年ノ進ムニ從ッテ國民兵籍ニナレバ兵員ノ上ニ於テ
大缺陥ヲ來スデアル、之ヲ補充ノ途ハ即チ二個師團ヲ置クヨリ外ニ方法ハナイト
云フコトニ歸著シテ居ル、然ラバ縱令多少ノ變化ヲ見テ其變化ニ依ッテ極メテ異ニス
ルコトアリシテモ、是ガタメニ此二個師團ト云フモノガ止メラレルト云フガ如キコト
ニハ立入ラヌデアリマス、其故ニ別段戰等ノタメニ變化ヲ生ズベキコトヲ慮リ、ツレハ
願慮シテ以テ此事ヲ決行シナイト云フガ如キコトハ謂レナキコト、私ハ信ズル(「ノウ」)
「論旨薄弱聽クニ足ラズ」ト呼フ者アル)然ルニ多少今度ノ戰爭ニ關係アリシテ之ヲ考
ヘテ見ル、今回ノ戰爭其モノハ現ニ二千萬人カラノ兵ガ出テ戰ニ從事シタデアリマス、
而シテ之ニ要スル各交戰國ノ費用其モノモ實ニ莫大ナモノデアラウト思フデアル、夫故
ニ此戰ノ長ビクニ從ッテ各交戰國ノ非常ノ困難ヲ來ス——經濟界ニ於ケル困難ヲ來

ス、時局ニ於テ困難ヲ來ス、總テニ對シテ非常ノ悲慘ノ狀況ヲ見ルニ相違ナイト思フ、其點ニ至ッテハ私ハ異論ハナイ、併ナガラ今日マデノ戰爭ノ狀況ヲ以テ考ヘレバ、此戰費其モノヲ未ダ外國ニ仰イダト云フコトヲ聞カヌノデアル、又戰爭ヲ續ケルタメニ要スルコロノ材料ヲ求メルタメニ、他國ニ正金ヲ拂ツタト云フ事柄モ極メテ少量ノモノシカ私ハ知ラヌノデアル、然ラバ其國々ニ於テハ現ニ不換紙幣ヲ發行シ、隨分經濟界ノ平時カラ言ヘバ、亂暴ナルコロノヤリ方ニマデ立入ッテ居ルノデアリマセウガ、併ナガラ戰局ノ終ヲ以テ考ヘレバ、一方ニ債務ヲ起シタ國トハ餘程趣ヲ異ニスル、我國ハ即チ十億八千萬圓ノ外債ヲ起シテ戰爭ノ費用ヲ支辨シタトハ趣ヲ異ニスルノミナラス、増師案ノ打壞シハ其演說ハ「ト呼フ者アリ」外國ニ於ケルコロノ此戰爭等ニ於ケル財界ノ恢復ノ狀況ハ、我日本ニ於テ見ルコロヨリハ餘程趣ヲ異ニシテ居ル、現ニ此處ニ一ノ實例ヲ以テ見レバ、編造ガ千八百六十四年英國ト聯合シテ丁抹ト戰爭ヲシタ、サウシテ次デ又千八百七十年ニ佛國ト戰爭シタ、斯ノ如ク連續シテ以テ大戰ヲ致シタノデアルガ、其結果ハドウデアルカト云フ、今日ノ大ヲ爲シテ居ル、又一方ニ於ケル近時ノ日露ノ戰爭ノ事ヨリ之ヲ見テモ宜シ、露國ニ於テハ現ニ其國ノ艦隊ガ日本ノ艦隊ノタメニ殲滅セラレタノデアルガ、併ナガラ僅カ八年ニシテ此海軍ヲ擴張シ、尙兵員ノ増加ヲ行ヒ、其他諸般ノ改良ヲ爲シ、而シテ尙國庫ニハ多クノ剩餘金ヲ生シ、今ヤ西鄰ニ向テ戰爭ヲシテ居ルデハナイカ、彼等ノ國ニ於テ戰爭ノ後ニ於ケル恢復力ノ速キコトハ、此我日本ニ於ケルガ如キ觀察トハ餘程違フノデアリマス、然ラバ此戰爭其モノガ縱令交戰國ガ非常ノ捷利ヲ加ヘタト致シテモ、亦今日ノ狀態ガ打續イテ雙方共疲レニシテ終ツタト致シテモ、其狀況ノ恢復スルト云フコトニ至ッテハ數十年ヲ要スルモノトハ自分ハ信ゼヌノデアル、若シ又一方ガ非常敗北シテ一方ダケガ非常ナ勢力ヲ占メタト云フコトニ假定シテ見タトコロガ、國際關係ニ於テ唯獨リ一國ガ權シテ以テ大ナル勢力ヲ張ルト云フガ如キコトモ、實際上ニ於テ出來得ナイト云フコトモ諸君ノ知ラルトコロデアル、然ラバ此戰爭落著ノ後ニ於テ財界ノ恢復ハ比較的ニ早イ、而シテ其恢復ノ後言ヘバドウカト云フ、人口ノ増殖ハ何レノ國ニシテモ諸君ノ知ラル、通リデアル、然ラバ自國ニ於テ其増殖スル人口ガ充分ニ生産事業ニ從事シテ、他國ニ向テ侵略スルノ必要ヲ見ヌト云フガ如キコトハ相濟マヌノデアリマス、然ラバ一番弱國ノ方面ニ向テ力ヲ出シテ來ルト云フコトハ、是ハ何レノ國ニシテモ當然ノ順序デアル、然ラバ今度ノ戰爭ガ多少ノ關係アリト致シテ見タトコロガ、之ニ依ッテ我軍備ノ擴張——擴張ト云フヨリハ寧ロ補充——其補充ヲ見合セテ置クト云フガ如キコトハ思ハザルノ甚ダシキモノデハアリマセウカ（拍手起ル）殊ニ朝鮮ニ於ケル一國師團設置ノ事ニ就キマシテハ、今金澤ノ兵ガ向フヘ行ッテ居ル即チ金澤ニ家ヲ持テ居ル人ガ其家ヲ指イテ向フニ行ッテ居ル家族ハ此處ニ殘シテ向フニ行ッテ居ルガ爲メニ、或ル年限ガ來レバ是ハ展シテ來ナケレバナラス、其往復ノ費用、其他非常ニ不便デアル、是レト同シデアリマス、即チ一戸ノ家ヲ持ッテ居ルト同シコトデ、一師團ヲ備ヘテ居ルモノガ幾分か別レテアノ國ヘ往ッテ居ル、然ラバ年限ガ來レバ之ヲ引揚ゲルト云フ其往復ノ費用、軍隊ニ要スル諸雜用ト云フモノガ非常ニ不經濟デアルト云フコトハ、多少仕事ヲシテ居ル者ハ敢テ説明ヲ聽カヌデモ是ハ分ルコトデアル、此經濟ノ見地カラ見マシテモ、此處ニ二個師團ヲ設置シテ往復ニ非常ニ無益ノ費用ヲ省キ、兩方ニ金ヲ使フト云フ如キコトノナイヤウニスルト云フコトハ、經濟上ノ點カラ見テモ必要デアリマセウ、況ヤ此師團設置ノ爲メニ要スル金ハドレ程デアルカト云フ、大正四年ヨリシテ大正十年ニ至ル年間ニ於テ一千百九十八萬六千五百八十八圓デハナイカ、大正四年カラ十年ノ間ニ二千百餘萬圓、其出

來上ツタ後ニ金ヲドレ程要スルカト云フ、五百萬圓デアル、是ガ我國ノ財政ノ上ニ於テ非常ナ影響ガアルト云フ如キコトハ、ドノ點カラ見出シテ言フノデアルカ、成程金ハ一文デモ剩ス方ガ宜イデゴザイマセウガ、必要ナルトコロノ費用、而モ此少額ナル費用、大正四年度ニ於テ費ストコロハ七十一萬圓デアル、其後ニ於テモ年度ヲ割ッテ之ヲ積算スレバ僅カナ金デアル、故ニ今日ノ財政ノ上カラ見テ之ヲ延期シナケレバナラスト云フ議論モ洵ニ據リ所ノナイ話デアルト私ハ信ズルノデアリマス、斯ク論シ來リマシタナラバ政友會諸君ガ一年ヲ延バシテ、サウシテ調査ヲシテ見ル、何ダカ一年ヲ延バシタラ御ヤリニナリサウニモ聞エルガ、又後ロカテ見レバヤラヌヤウニモ見エル、頗ル巧妙トモ申スノカ知レマセウガ、政治家トシテハ私共ハ甚ダ遺憾トハ考ヘマスガ、ツレノ流義デアリマセウカラ強テ非難ハ致シマセウガ、ヤルガ如クヤラザルガ如クニシテ免ニ角明年ノ之ヲ調査シ——明年マデ調査シナクトモ此必要ノ理由ハ前段述べタ所ニ依ッテ大抵分ラウト思ヒマス、次ニ海軍ノ驅逐艦其他ヲ削減セラレタ、此削減ノ理由モ戰爭中デアルガ故ニ、其成行ヲ見テサウシテ次ノ年度ニ於テ之ヲ調査シ決定シタナラバ宜カラウト云フ政友會諸君ノ御意見ノヤウデアリマスガ、是ハ三十一議會ニ於テ諸君ノ協贊ヲ與ヘラレタモノデアル、唯其時ノ政府ノ提案ハ戰艦ノ如キ早ク出來ナイモノヲ先キニ極メテ先キニ若手スル、サウシテ此驅逐艦ノ如キモノハ必要ナラバ何時デモ出來易イモノデアルガ故ニ、之ヲ年度ノズット先キニ延バスト云フニ過ギナイ、サウシテ置イテ諸君ハ御協贊ヲ與ヘラレタノデアル、然ルニ此時局ガ突發致シ、直チニ此驅逐艦ノ如キモノハ使用シナケレバナラストコロニ立到ツタ、トコロガ其驅逐艦ノ年齡ハ最早老朽ニ近ツキ或ハ老朽シテ居ルモノガアル、ツレ故ニ之ヲ補充シナケレバナラストシテ、曩キニ臨時軍事費ノ上ニ於テ諸君ガ協贊ヲ與ヘラレタノデアル、而シテ其戰爭ノ爲メニ二艘ハ沈没シ、其他ノ艦ハ大分機械其他ニ損傷ヲ來タシ、此儘ニ拾テ、置ケヌト云フコトデアレバ、海軍ノ勢力ノ上ニ大關係ヲ有ツト云フコトガ此本案請求ノ趣旨デアル、而シテ其骨子トスベキコロノ軍艦其モノハ、ツレハ各國ノ此戰爭ノ狀態ヨリ今獨逸ノ軍艦ノ如キハ未ダ華々シキ戰ヲシテ居ラヌノデアル、ツレ故ニツレ等ノ經過ヲ見タ上デ、多少艦ノ形ノ上ニ於テ其他ノ點ニ改良スベキ點ヲ見出スカモ知レヌ、故ニ此費用等ノ寧ロ之ヲ延ベテアト迴シシヤウトシタトコロノ意ヲ以テ今日ノ急ヲ救ハウト云フコトニ外ナラヌノデアル、臨時軍事費ノ費目ナラバ贊成シ、此議會ニ正當ノ豫算ヲ組ンデ來タモノハ協贊ヲ與ヘナイト云フコトニ至ッテハ、私ハ甚ダ其意ヲ得ナイ次第デアルト考ヘ、ミナラス現ニ老朽シ最早艦ハ其任務ヲ免除シナケレバナラス、即チ廢艦ニシナケレバナラスト云フコトニ遭遇シタ、此戰爭ノ爲ニニココマデ來タ、サウ云フモノヲ曩キニ三十一議會ノ形式ガ唯違ッテ來タカラ之ヲ贊成スルコトハ出來ヌト云ヒ、一方ハ半分程ハ贊成シテ半分程ハ贊成シナイナド、云フコトハ、論理ノ極メテ徹底セザルノミナラス、實際ニ於テ極メテ危險ヲ眼ノ前ニ見テ安シズルト云フ姿デアッテ、國民ノ極メテ不安心トシテ已マザルトコロデアリマス、斯ノ如キコトハ唯諸君ガ政府ノ内閣ヲ持ッテ居ラル、トキニ提案シタモノガ、變テ出テ來ルカラ氣ニ食ハヌ、斯ウ云フコトニシカ何ニモ見ルベキモノハナイノデアル、（歐羅巴ノ戰爭ニ鑑ミヨ）ト呼フ者アリ）歐羅巴ノ戰爭ノ上カラ見ルマデモナク、現在ニ於テノ即チ相當ノ任務ヲシテ居ルモノガ、今回ノ戰爭ノ爲メニ働イテ其力ガ缺乏シタ、役ニ立タヌヤウニナツタカラ補充ヲシナケレバナラスト云フ程ノ變化ヲ來スベキモノトモ思ハヌノミナラズ、是等ノ年齡ナルモノ、即チ艦ノ年齡其ノモノハサウ長キヲ保ツコトガ出來ルモノデハナイノデアル、十分ニ歐羅巴ノ結果ヲ見タ時分ニハ更ニ又補充ヲ計ラナケレバナラス時ニ遭遇スルモノデアル、然ラバ今日ニ於テ是ガ補充ヲナスト云フガ如キハ極メテ必要ナルコト

デ、之ヲ要スルニ今ハ世界ノ大戦争ノ渦中ニ在ルノデアリマシテ、或ハ日本ノ現狀カラ
見マスレバ膠州灣ハ既ニ陥リ、軍艦ハ大艦獨逸ノ軍艦ヲ追拂ツタカラ、任務畢レリ事
濟メリト云フ如キ御感シテ御持チノ方ガアルヤウデアリマスガ、併ナカラ日英同盟ノ誼ニ
基キ獨逸ニ向テ交戦ヲ布告シテ居ル今日ニ於テ、唯、當面ノ敵ヲ追拂ツタト云フダケデ
アツテ戦争其モノハ何モ落著シテ居ラヌノデアアル、此後獨逸ノ艦隊等が出テ來テ濃霧ヲ冒
シテ英國船ト戦フ、其結果ニ依ッテハ如何ナル變化ヲ海上ニ見ルカモ知レヌノデアアル、而
ニチラズ假令今同ノ戦争ハ略、落著シタト假定シテモ、是ヨリハ即チ漸ク收穫ノ時期ニ
進ムノデアリマセヌカ、乃チ今日マデ兵隊ヲ以テ爲シタ所ノ後ハ、外交ノ手段ニ依ッテ
其結ビヲ著ケナケレバナラヌ、謂ハ、收穫ヲシナケレバナラヌノデアアル、又現在ニ於テ支那
ノ保全、日本帝國ノ世界ノ地位ヲ進メ、且ツ獲得スルコト云フコトハ政府當局者、即チ
外交ノ手腕ニ依ラザレバ成ラヌ所デアアル、而シテ外交ノ手段ニ依ルト云フコトハ國民一
致協力シテ政府ヲ督勵シテ、萬遺憾ナキヲ期セナケレバナラヌ時ニ遭遇シテ居ルノデアアル、
如何ナル政府ガ其局ニ當ッテ居ラウトモ、其政府ノ責任トシテ爲シツ、アル場合ニ在ッテ
ハ、從來行掛リノ政治上ニ於ケル問題ハ暫ク棚上げ、互ニ相援ケテ以テ國ノ利益ヲ
獲得シ、國ノ利益ヲ進メルコト云フ手段ニ出テナケレバナラヌ場合デアアルノデアアル、平素ノ
政黨ノ境遇ニ省ミ、所謂黨派根性ニ驅ラレテ以テ國民ノ利益ヲ度外スルト云フガ如キ
コトハ許サレ所デアアル、今日マデ議會開會以來ノ形蹟ヲ見マスル、獨逸大岡委員長
ハ政府當局者ガ免角挑戦ノ態度ニ出ルト言ハレタ、併シ本員等ノ見ル所ハ、政友會
諸君ガ何カ問題ヲ探シ出シテ、政府ノ失態アラシコトヲ求メルト云フ手段ニ出デラレタヤ
ウニ見ユルノデアアル(拍手起ル)又豫算委員長シテ政府ニ忠告ヲシタト云フコトデアリマ
スガ、成程大隈伯ノ大キナ聲ヲ擧ゲラレタ言ハレタ所ノ其言葉ノ尻ガ分ラナカッタ爲メ
ニ、之ヲ分ラヌヤウニスルト云フガ如キ心配ハサレタカモ知レマセヌガ、別ニ大ニ政府全體
ニ向テ忠告ヲセラレタト云フ如キニモ、自分ハ見受ケヌノミナラヌ、議會開會以來何レ
ノ問題ニ對シテモ、答辯其物ハ餘程力メラレタヤウニ自分ハ信ジテ居ル、而シテ我同志
會等ニ在ッテハ、極メテ諸君ノ動作ニ妨害ナラザルヤウ質問等モ遠慮致シ、且ツ批評等
ノコトモ遠慮シテ極メテ靜肅ニ致シテ來タト云フコトモ蔽フベカラサル事實デアリマス、斯
ノ如キモノ故ラニ政府ガ挑戦ノ態度ヲ執ル故ニ、已ムラ得ズト仰シヤルニ至ッテハ、國
民ヲ欺クノ甚キモノト謂ハナケレバナラヌノデアアル、諸君、議會内ニ於テ已レノ欲スル
ヲ爲スノハ宜シイノデアリマスガ、第二者タル所ノ國民ニ於テハ諸君ト政府ト爭フガ爲メ
ニ、ドレ程ノ損害ヲ受ケルデアリマセウ、ドレ程ノ苦痛ヲ訴ヘテ居ルデアリマセウ、實ニ私
ハ思ハザルノ甚キモノト考ヘル、斯ノ如キ言葉ヲ使フト云フコトハ、本員ノ欲セザル所、
極メテ冷靜ニ國事ヲ議スベキ時デアリマスガ、昨今ノ行掛リニ至ッテハ、實ニ私ハ國家ノ
爲メニ憂慮ニ堪ヘズ、且ツ大政黨ノ御立場トシテモ甚ダ實ニ遺憾ニ存スルノデアリマス、
希クハ反省セラシコトヲ望ミマス

○議長(與繁二郎君) 元田肇君

(元田肇君登壇)

○元田肇君 諸君、本員ハ豫算委員長ノ報告ニ係ル委員會ノ決議ニ總テ賛成スル
モノデアリマス、唯今片岡君ノ御話ガアリマシタガ、同志會ノ諸君ハ極メテ謹慎ノ態度
ヲ執ッテ御聽下サルコト云フデアリマシテ、誠ニ感謝致シマス、希クハ本員ノ意見ハ極メ
テ單簡デアリマスガ故ニ、暫クノ間御耳ヲ拜借シタイト存ジマス、本員ノ賛成致シマス
ル豫算委員長ノ報告ニ係ル査定案ハ、數項ニ互テ居リマスガ、財政等ノ點ニ關係
致シマシテハ、唯今大藏大臣及片岡君ノ縷々御辯明ガアリマシタガ、是ハ次ニ登壇セラ

ル、コト、存ジマスル井上君若クハ鵜澤君ノ演說ニ讓リマシテ、本員ハ茲ニ増師問題並
ニ海軍新製艦費ニ關係シタ點ダケニ付テ、所見ヲ述ベルノデアリマス、諸君モ御承知デゴ
ザイマセウガ、本員等ハ年來軍備ノ充實ニ付キマシテハ、熱心ニ賛成シ希望致シ來タ
モノデアリマス、常ニ國防ノ完全ナル計畫ノ立タンコトヲ期シマシテ、注意怠ラザルモノデ
アリマス、此點ニ就テハ反對ノ意見ヲ有セラル諸君モ決シテ御異存ノナイコト、私ハ存
ジマス、故ニ國防計畫ノ一日モ速ニ完全ナル計畫ノ立タンコトハ切望シテ已マヌノデア
リマスガ、今回圖ラズモ歐洲ニ大戦亂ガアリマシテ、其結果ハ吾々軍事專門家デアリ
マセヌケレドモ、多大ナル實驗ヲ與ヘ、又戰後ニ於キマシテハ國際關係ノ狀況ガ大ナル變
化ヲ來スト云フコトハ確信シテ疑ナシデアリマス、斯様ナル場合デアリマスカラシテ、吾
々日露戦争、日清戦争ノ既往ノ成績ニ鑑ミマシテモ、日清戦争ノ後ニ於キマシテハ更ニ軍
備ヲ充實シ、日露戦争ノ後ニ至リマシテモ、亦此戰役ニ於テ得タル實驗等ヲ參酌致シマ
シテ、時ニハ増稅ヲ致シテ充實ヲ充實ヲ計ツタコトガアルノデアリマス、是等ノ經驗
ニ徴シマシテモ、吾々ノ常識ヨリ見マシテモ、亦吾々ガ信ズル所ノ軍事專門家ニ質シマシ
テモ今回ノ大戦亂ガ多大ナル實驗ヲ與ヘルコト云フコトハ、何人モ異議ナシトコロデアリマ
ス、斯様ナル場合ニ際シテシマシテ、茲ニ數年前ノ懸案ニ係ル二師團問題ガ現ハレマシタ、
篤ト考慮ヲ致シ慎重ニ考ヘマシタコトコロデ、此二師團問題ハ歐羅巴大戦亂ノ實驗ヲ考
慮シテ出來タモノトハ私共ハ考ヘヌノデアリマス、故ニ今回ノ如キ未曾有ノ戰亂アリ、其
實驗等ニ徴スベキ事ガ多クアリ、又實驗ノミナラズ戰後國際關係ニ於キマシテモ多大ノ
變化ヲ來スト云フコトハ、眼前ニ見エテ居ル今日ニ當リマシテ、三年四年前ノ成案ヲ俄ニ
決スルト云フコトハ、決シテ完全ナル國防計畫ヲ熱望スル者ノ忠實ナル行動デアリト信
ズルノデアリマス(拍手起リ又「ノウウ」ト呼ブ者アリ)戰亂ニヨリ多大ノ實驗ヲ得ルト
云フコトニ付キマシテハ再び繰返シ必要ハアリマセヌ、已ニ犬養君カライロクノ御辯明
ニナッテ居リマス、犬養君トハ論結ニ於テハ違ヒマスケレドモ、種々ナル改良ヲシナケレバ
ナラヌコトガ出來ルト云フコトハ御趣旨ニ至ッテハ、私ハ全然同意デアアル、斯様ナ次第デ
ザイマスカラシテ、本員等ハ此經過ヲ暫ク見テ軍事當局者ヲシテ、十分ナル調査ヲ遂ゲ
シメ、帝國ノ國防計畫ヲ立テシメ、其成案ニ基イテ審議スルガ當然デアラウト云フノガ、
即チ委員會ノ報告ニ賛成スル所ノ理由デアリマス、又更ニ今日ノ列國ノ有様ヲ見マシ
テモ、目前ニ迫ッテ必要ナコトガアルカト言ヘバ、本員等ハ決シテ左様ニ認メマセヌ、朝鮮
ニ二個師團ヲ置クノ必要アリト云フコトデアリマスガ、是ハ既ニ國民黨ノ犬養氏ヨリ述
ベラレタ通りニ、ソレ程ノ必要ガアルナラバ内地ノヲ移シテモ宜シイデアリマス、又滿洲
方面ノ關係ヲ見マシテモ、露國ノ如キハ日々ニ親善ヲ加ヘテ、今日歐羅巴ノ大戦亂ヲ
控エ帝國トハ非常ナル親密ノ關係ヲ結ビツ、アルノデアリマス、支那帝國ヲ保全スルニ
兵力ガ足ラヌト云フコトハ御演說ガ、大石君ヨリ昨日ノ豫算委員會ニ於テゴザイマシ
タ、私ハ左様ニハ信ジマセヌ、現在ノ兵力ヲ以テ支那國ノ保全ヲナスニ十分デアルト思
フ、現在ノ有様ニ於テハ十分デアル併ナガラ如何ニ兵力ヲ増シマシテモ外交當局者其
人ヲ得ナケレバ何ニモナラヌノデアリマス(拍手起リ又「牧野ハドウダ」ト呼ブ者アリ)前政
府ノ事ヲ言ッテ居ルノデアリマセヌ、現政府ニ對シテ吾々ハ論議ヲシテ居ルノデアリマス、
ソレカラ又財政經濟——即チ外列國ノ狀況ニ付テハ唯今申シマシタ通り、目下ニ迫ッ
タル急用ノ事情ハナイ、内ハトウデアアルカト申シマスレバ、内ニ於キマシテハ今日ノ財界ノ
有様ハ如何デゴザイマス、吾々ハ最モ力ヲ致シテ今日ノ財界ヲ救済シナケレバナラヌ時デア
ルト思フノデアリマス、斯ノ如キ困難ニシテ且ツ緊急ヲ告グル事柄ノアル場合ニ於キマシテ、
他日ヲ待テバ新實驗ニ基キ完全ナル調査ヲ出來ル、目下ニ於テハ格別ノ必要ナイト云

フ師團計畫ヲ、今日ニ於テ決定シナケレバナラヌト云フコトハ本員等ハ其理由ヲ發見スルコトガ出來ナイノデアリマス、尙本員ハ目下ノ程ノ必要ナイト云フコトノ一ノ反證トモ見ルベキコトガ出來ハセヌカト思ヒマス、或ハ引例ガ小サイカモ存シマセヌガ、頃日帝國政府ハ某國ニ向テ軍器ヲ賣却シタト云フコトガアリマス、多大ノ軍器ヲ賣却シタト云フコトデアリマス、是ヨリ以上ノ詳シイコトハ暫ク申シマセヌガ、若シ非常ナル切迫ノ事情ガアルナラバ、現ニ交戰國ノ政府ガ急迫ヲ告ゲテ讓受ヲ求メテ來ルコトノ軍器デアリマス、萬更役ニ立タナイモノデアリマス、之ヲドシ、賣却スルコト云フノハ、今日日本ニ於テハ軍事上ニ左程ニ心配スルコトハナイト云フ事實ヲ當局自ラ認メタノデアラウト思ヒマス、併ナガラ誰レヤ其邊ニモ御出デニナルヤウデスガ、歐洲ノ戰亂ニ對シテ我が帝國ヨリ出兵ラスルト云フ如キ愚論ヲ唱ヘル者ガアリテ、カリツメニモ斯ル愚舉ヲ爲スト云フコトガアルナラバ、今日ノ兵備ハ足ラヌト思フガ、吾ハ斯ノ如キ愚舉ニ對シテハ絶對ニ反對ヲ表スルモノデアリマス

(拍手起ル又「ノウ」ト呼フ者アリ議場騷然)

○議長(奥繁三郎君) 水野君御慎重ナサヤ

○元田肇君 既ニ斯ノ如キコトガナイトハ決シテ今日ニ迫ツタ急用ハナイト信ズルノデアリマス、又昨日大石君ノ豫算總會ニ於テノ御演說中ニ、今カラヤテ置カケレバ間ニ合ハナイト言ハレタガ、是モ一向薄弱ナル御議論デ、諸君ノ言葉ヲ藉リテ言ハハ貧弱ナル御議論デアラウト思フ、十年トカ、幾年トカノ年月ヲ經テ、僅ニ完成スルト云フモノカ一年延バシテナニ間ニ合ハヌト云フコトガアリマセウカ、決シテ左様ナコトガナイト云フ、是等モ更ニ理由ニナラヌコト、思ヒマス、ツレカラ私ハ又今日政府ニ於テ原案ヲ維持スル必要ノナイト云フコトニ付十分ナル證據ガアラウト思フノデアリマスガ、是ハ餘リニ露骨ニナルカ存シマセヌガ、本案ハ恐ラクハ衆議院ニ於キマシテ太多數ヲ以テ豫算委員長ノ報告通り削除ニナルコトデアラウト信ジマス、假ニ左様ニナッタ場合ニ於テ政府ハ寧ろ吾々ノ意見ヲ容レテ一年ナリ御延期ニナッタ宜カラウト思フ、延期ヲシナイ、延期ヲシナイト云フコトデアッテ、一年前ニ出來マスカ若シ否決トナリ政府之ニ反對シテ、所謂大ナル權力ヲ揮フカ知ラナイガ、大ナル權力ヲ揮フタコトデ一年前ニ出來マスカ、出來ナイコトヲ知リナガラ政府自ラ進ンデ議會解散モアル様ニスルト云フナラバ、即チ今日シナケレバナラヌ必要ノナイト云フコトヲ政府自ラ證スルモノト認ムルノデアリマス(拍手起リ又「ノウ」ト呼フ者アリ)私ハ誠ニ演說ニ慣レズ訥辯デアリマス、諸君ノ清議ヲ汚シタコトハ恐縮ニ存シマス、以上大體ノ趣意ニ於キマシテ增補問題即チ二個師團ハ今回ハ延期スルヲ至當ト認メル次第デアリマス、尙海軍ノ水雷艦艇八隻潛水艇二隻ニ付テモ同ジヤウナ理由ニ依ッテ之ヲ延ベルコトガ出來ルト思フノデアリマス(「ノウ」ト呼フ者ハノウト言ハレタガ、諸君ノ中ニハ御分リニナツテ居ル人ガアルデアラウ、私ハ海軍大臣ノ言トハ申シマセヌ、德義ヲ重シシ、併ナガラ多大ナル海軍ノ製艦費ヲ請求スル積リデアル、アルガ歐羅巴ノ戰亂ニ鑑ミテ種々ノ調査ヲ要スルカラ是ハ他日ニ讓ルデアルト云フコトヲ言ハレテ居ルトハ申シマセヌガ、斯ウ云フ意志ヲ有ツテ居ルコト私ハ確信スルノデアリマス(「明カニ言ヒ給ヘ」ト呼フ者アリ)既ニ歐羅巴ノ戰亂ニ鑑ミテ他日ニ出スノ必要アリト云フコトヲ、若シ海軍大臣ガ御同感デアラナラ、アルカナイカバ此所デハ質問ハ致シマセヌガ、アリマスナラバ今同ノ水雷艦艇ニ於テモ同一デナケレバナラヌデアリマス、先刻片岡君ハ何故ニ臨時議會ニ於テ、十隻ノ水雷艦艇ニ賛成シタカト言ハレタガ、何故處ノ話テナイ、吾々ハ當局者ガ軍事費ト云フ中ニ潛リ込メ斯ノ如キ補

充費ヲ出スト云フコトハ甚ダ不都合トハ存シマシタケドモ、現ニ今回ノ戰亂ニ關與致シマシテ、水雷艦艇ノ沈没シタノモアルト云フコトデアリマスカラ、十隻ハ少シ多イト思ヒマシタナレドモ、審議シテ之ニ賛成シタ次第デアッテ、之ニ賛成シタカラ後カラ持ッテ來ルモノヲドシ、贊成シナケレバナラヌト云フ理由ハ少シモナイノデアリマス(拍手起ル)私ハ大體ニ於テ唯今申シタ理由ニ依ッテ委員會ノ報告ニ賛成ラスルモノデアリマスガ、終リニ臨ンテ尙一言ヲ致シタイト思ヒマス(「マダ早イ」ト呼フ者アリ議場騷然)

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ……

○元田肇君 ドウカ諸君御靜肅ニ御聽取リテ願ヒタイ(「謹聽々々」ト呼フ者アリ)日獨開戰以前ハ姑ク擱キマシテ、開戰ノ詔勅ガ降下アリマシタ當時ニ、吾々ハ各地方ニ遊説等ノ部署ヲ定メテ居タコトデゴザイマスガ、今日ハ聊カナテモ政爭ヲ刺激スル嫌ガアッテハナラヌト云フノデ、總テ之ヲ中止致シマシタ、私ハ此際ニ——大隈總理大臣ガ御出デニナリマセヌガ——斯様ニ信ジタ、新聞紙上デ傳リ聞ケバ、英國ニ於テハ當時議會ニ大紛擾ヲ生ジテ居ル問題ガアッテ殆ド國亂ヲ醸サントスルマデニ至ツテ居タガ、在朝在野ノ兩黨ガ相會シテ舉國一致ノ實ヲ舉ゲルコトニシタト云フコトモアルカラ、定メテ我大隈首相モ事茲ニ出ラデアラウト思ヒマシタガ大隈首相ハ更ニ茲ニ出デマセヌデ却テ往々ニシテ在野黨ヲ挑發スルノ言動ヲ恣ニサレテ居リマス、又他ノ内閣諸大臣ハ如何デアリマス、吾々ハ地方ノ遊説マデ中止シタニ拘ラズ(「出來ナイノデアリマス」ト呼フ者アリ)各方面ノ政黨其他ノ大會ニ出席サレテ、自己ノ政黨ヲ擴張ニ目モ足ラヌト云フ行動ヲサレテ居ルノデアリマス、(「ツレガ國防問題デスカ」ト呼ビ「默」ト呼フ者アリ)又其後ニ至リマシテモ曩キノ臨時議會ニ於テ、現内閣ハ吾々ノ斯ノ如キ誠意アル態度ヲ執ッテ居ルニ拘ラズ、軍事費ト云フ吾々ノ深く立入り詮議ノ出來ヌ費目ノ中ニ製艦補充費ニ屬スベキ處ノ水雷艦十隻ノ新造費ヲ編入シテ提出シタノデアリ、私ハ之ヲ以テ甚ダ失當ノ所爲デアルト云フコトヲ感ジマシタガ、併ナガラ形式上ノ事ニ付テ彼レ此レ當時ノ議會ニ爭フノハ穩カナラヌコトデアラウ、或ハ爭フベキ筋デアラルカ知ラヌガ、此場合差控ヘタ方ガ宜カラウト考ヘテ是モ差控ヘテ贊成シタ次第デアリマス(理由ガナカッタト呼フ者アリ)理由ハアル、諸君苟モ議員デアラナラバ、軍事費ノ中ニ一般ノ補充費ヲ入レテ出シテ來ル其形式ト這般當局ノ心理トヲ是認スルモノガ何處ニアル、又臨時議會ノ當時ニ於ケル大隈首相ノ言動ハ如何デアリマス(「公明正大」ト呼フ者アリ)伯ハ大ナル權力云々ト云フコトヲ繰返サレテ居ル、當時他ノ内閣諸公ハ不謹慎ノ言ナリトシテ窃ニ伯ニ忠告サレタヤウニ承ツタガ、當然斯クアルベキコトデアリマス、然ルニ今回即チ昨日ノ豫算委員會ニ於キマシテハ、首相伯ハ又再ビ之ヲ繰返サレテ首相ガ原案ニ賛成ヲ求メルノハ宜シウガザリマスガ、若シモ諸君ガ贊成シナケレバ憲法ニ依リ與ヘラレタル所ノ權能ニ依ッテ最後ノ處置ヲスルト云フヤウニ言ハレマシタ(「當然ノ事ナリ」ト呼ビ「默」ト呼フ者アリ議場騷然)御聽キナサイ、憲法第七條ニハ何トゴザイマスカ、憲法第七條ニハ「天皇ハ議會ノ開會閉會停會及解散ヲ命ズ」トアッテ是レハ大權ニ屬スル事柄デアリマス(「ヒヤ」ト然ルニ臣子ノ分ト致シテ殊ニ閣臣ト致シマシタカリツメニモ大權ヲ振リ廻ハスガ如キ言動ヲナスニ至ツテハ事甚ダ穩カナラザルノミナラズ、上 陛下ニ對シ奉リ私ハ恐縮ニ堪ヘザルモノト思ヒマス(拍手起ル)斯様ナル内閣ノ態度(議場騷然)内閣ノ態度デアリマシテ、是ガ國民ヲ挑發スルト云フコトナラヌトハ言ハレマス(「ヒヤ」ト)議院開ケテヨリ茲ニ二十五

如キ態度ヲナサルト云フコトハ誠意協賛ヲ求メラル、所以デナイト思ヒマス(嘘ヲ言フナ)ト呼フ者アリ議場騒然(私ハ斯様ニ確信スル)元田肇君ハ嘔吐キナリト呼フ者アリ議場騒然(吾々ハ自己ノ見地ヨリシテ反對スベキハ反對シ賛成スベキハ賛成スル)勳モスレバ不信任ト云フコトヲ言ハレルガ、本員ハ決シテサウ云フ考デ國防問題ヲ論議スルノデハナイノデアリマス議場騒然(國防問題ニ於キマシテ決シテ左様ナコトハナイノデアリマス、斯ノ如ク吾々ハ公明ノ態度ヲ有ッテ居ルニモ拘ラズ、首相ニ於テ動モスレバ大聲疾呼シテ吾々ニ臨ムトコロヲ見マス、國民ノ一致ヲ破ルモノハ吾々ニ非ズシテ内閣諸公ナリト言ハナケレバナラヌノデアリマス、而シテ吾々ハ師團問題ヲ暫ク延期シ、次年度迄ニ充分ナル調査ヲシ其成案ニ基キ決定シテ宜カラウ、吾々ハ其際ノ審議協賛スルコトヲ言フテルニモ拘ラズ、大ナル權力ヲ振廻シテ今回ノ原案ニ賛成セバ斷乎タル最後ノ處分ヲスル即チ解散スルコトヲ云フデアラウガ、解散シタ所ガ師團等ノ増設ガ今直ニ出來ヌカ、之レガ出來ナケレバ一年延期シタ同ジコトデアル、是等ノ點ハ獨リ師團ノ増設潛航艇等ノ出來ルノガ遅クナルノミデアリマセヌカ、此解散ニ依ッテ起ルトコロノ國民ノ心ヲ激シ紛擾ヲ來タスノミデ、大ナル不幸デアルト言ハナケレバナラヌ、私ハ唯今大隈首相ノコトヲイロ、申シマシタガ、是レ決シテ大隈伯ヲ罵ルノデハナイ、何卒考慮セラレテ上、陛下ニ對シ奉リ又下國民ニ對シテ誠意アル相當ノ處置ヲ取ラレタイト思フカラデアル、何卒冷靜ニ考ヘラレテ吾々ノ誠意ニ基クコロノ削減ニ同意セラレムコトヲ望ム次第デアリマス、以上ヲ以テ私ノ演説ハ終了ヲ告ゲマス

(拍手起ル)

○小泉策太郎君 元田君ノ演説ニ對シテ質問ガアリマス、議長ヤヤ

(無用々々)「謹聴々々」發言ヲ求ムル者多シ

○議長(與繁三郎君) チョット靜カニ、靜カニ、小泉君何デス

(此時小泉策太郎君議席ヲ離レ登壇セントス)

○議長(與繁三郎君) 私ハ發言ヲマダ許シマセヌ

(拍手起ル議場騒然)

○議長(與繁三郎君) 田川大吉郎君

(田川大吉郎君登壇)

○議長(與繁三郎君) 元田君ノ演説ニ對シテ質問ガアルト呼フ

(小泉策太郎君) 今田川君ニ發言ヲ許シマシタ

○議長(與繁三郎君) 議長ハ越權デアリマスト呼フ

(小泉策太郎君) 議長ハ越權デアリマスト呼フ

(大ナル權力ヲ行ヘ)「最後ノ議長ハ確カリヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ

○田川大吉郎君 諸君、前論者ノ後ヲ追ヒマシテ、私モ二個師團増設ノ計畫ニ關シ意見ヲ述ベマス、或ハ海軍ノ新要求ニマデ及ブカモ知レマセヌ、其以前ニ豫算委員長大岡君ニ御相談申上ゲマス、先程ノ國債整理基金ノ收入ニ關スル御報告ハ、印刷ノ間違デアッタラウト思ヒマスガ如何デセウ、若シ印刷ノ間違デアッタラバ速ニ其通り訂正セラレムコトヲ望ミマス

(拍手起ル)

○大岡育造君 議長ガ唯今述ベルコトヲ許サレルナラバ發言シヤウト當ヒマスガ、ソレニ付テハ書面ガ出テ居リマス

○議長(與繁三郎君) 田川君ノ發言中デアリマスガ、田川君ノ承諾ヲ得テ大岡君ニ暫時發言ヲ許シマス

○大岡育造君 本員ハ田川君ノ御請求ガアリマスカラ此際申シテ置キマス、委員長ガ

先刻報告致シマシタ減債基金ノ件ハ委員會ニ於ケル決議ノ儘ヲ報告ヲ致シタデアリマスガ、更ニ形式上穩當ヲ缺クト思ヒマスカラ、勳議ガ出シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒマス

○田川大吉郎君 如何ナル御勳議ガ提出ニナッテ居リマスカ知リマセヌガ、委員長ノ報告トシテハ如何ニモ失態デアリマス(拍手起ル)サリナガラ……

(此時大岡君發言ヲ求ム)

○田川大吉郎君 御待チ下サイ

○議長(與繁三郎君) 大岡君ニハ發言ヲ許シマセヌ

○田川大吉郎君 私ハ委員長ニ向ッテ委員長ノ失態ヲ責メルノデアリマセヌ、委員長ノ失態ハアリマセヌ、豫算委員ノ一人トシテ私自身モ失態ヲ責ムフデアリマス、唯豫算委員會アッデ以來斯ノ如キ失態ノ報告アッタコトヲ豫算委員ノ一人トシテ此議會ノ爲ニ遺憾トスルノデアリマス(拍手起ル)私ハ委員長ノ報告ニ反對スル者デアリマス、其修正削減ノ全部ニ反對ヲ致シマス、サリナガラ陸海軍ノ問題ニ付テノ意見ヲ述ベマス、私ハ第一ハ國防上ノ必要ヨリ一師團計畫ニ賛成ヲ致シマス、私ハ本計畫ヲ以テ帝國ノ領土並ニ勢力ノ發展セラレタル結果ト思フ者デアリマス、隨テ本計畫ヲ以テ日露開戰ノ結果デアルト思フ者デアリマス、日露戰爭ノ結果トシテ帝國ノ勢力ガ滿洲ニ伸ビ又朝鮮ノ併合ガ行ハレマシタ爲ニ、私ハ今日ノ計畫アルニ至タモノト信ジマス、本來ヲ申セバ私ハ日露ノ開戰ニ賛成ヲシナカッタ者デアリマス、又朝鮮ノ併合ニモ同意シナカッタ者デアリマス、故ニ左様ヲ反對ノ意見ヲ今日モ尙ホ述ベル機會ガアリマセヌ、二個師團問題ニ對スル私ノ態度ハ別ニ考慮ヲ要シマス、サリナガラ既ニ帝國ノ勢力ハ滿洲ニ扶殖セラレ、又朝鮮ノ併合ガ確實ニ實施セラレマシタル今日ニ於テハ、新シキ國狀地勢ハ新シキ國防ノ計畫ヲ產ムモノデアアル、此意味ニ於テ私ハ今日一師團ノ擴張計畫ヲ國防上ノ必要ヨリ承認セザラ得マセヌ、第二ハ財政上ノ理由デアリマス、今日ノ財政計畫ノ基礎ハ未ダ充分鞏固デナイカモ知レマセヌ、此點ニ於テハ議論ノ餘地ハ尙ホ存シテ居リマス、サリナガラ大正四年度ノ歲計總額ハ五億五千萬圓デアッテ一師團ノ擴張ニ要セラレル經費ハ僅ニ七十一萬圓ニ過ギナイ、歲計ノ總額ニ對シテハ約八百分ノ一デアリマス、此八百分ノ一ノ費用ヲ計上スルコトハ若クハ計上セザルコトガ帝國ノ財政計畫ニ多大ノ影響アリトハ私ハ認ムルコトガ出來マセヌ(拍手起ル)或ハ陸軍ノ要求ハ「ピラミット」ノ尖端ノヤウニ歲計總額ニ從ッテ多大ニ膨脹シ來ルヲ常トスル、故ニソレニ反對スルノデアルトノ御論ヲ聽キマシタ、サリナガラ其意、膨脹致シマシタル費用モ、經常費ニ於テハ五百二十萬圓ニ過ギマセヌ、臨時費ニ於テハ一千二百萬圓ニ過ギマセヌ、故ニ之ヲ以テ今日ノ帝國ノ財政ガ負擔シ難キ莫大ノ費用デアルトモ私ハ認ムルコトガ出來マセヌ

ノミナラズ、陸軍ノ當局ハ數年以來數回ノ行政整理ヲ試ミマシテ、恆久ノ財源ニ於テ約五百三十萬圓、一時的財源ニ於テ約一千七百萬圓ヲ節減シ得タル申シテ居リマス、此以外ニ四千四百萬圓ノ繰延ガアリマスガ、繰延ハ別トシテ恆久ノ財源ニ於テ五百餘萬圓、一時的財源ニ於テ一千七百萬圓ノ節減シ得タル稱シテ居リマス、サスレバ二個師團ノ擴張ガ完成致シマシタ場合ニ於テノ經常費ハ五百二十萬圓ヲ節減シ得タル恆久費ニ於テ支辨スルニ足リ、又一時ニ要スル臨時費ハ一千二百萬圓ハ其節減シ得タル一千七百萬圓ニ於テ負擔スルニ餘リガアリマス、斯様ナ關係ニ於キマシテ私等ノ同志ノ中ニハ、此際之ヲ擴張スルコトヲ必ズシモ財政上ノ大膨脹デナイト認メテ居ル者ガアルノデアリマス(著モアルンダラウト呼フ者アリ)勿論國民黨ノ諸君ノ唱ヘラレル偏武的財政計畫ト云フコトニ付テハ、私等モ同ジヤウナ心配ヲ持テ居ル者デアリマス、サリナガラ事既ニ

此處マテ達シマシタスレバ、從前ノ經過ニ顧ミマスレバ、諸君ノ唱ヘラレル意見ノ力ガ
ツレダケ陸軍ノ部ニ侵入シ、徹底シテ結果デアルト申スコトモ差支ナイト思フ(「ヒヤ
ヒヤ」又「謹聽」ト呼フ者アリ)諸君ノ努力ノ結果トシテ此事アルニ至ツタ、此事ハ諸君ノ
主張ノ勝利トシテ認ムベキ價ガアルモノダト思フ、又私ハ整理シタル金サヘアレバ何箇師
團デモ擴張シテ宜シト申スノデナイ、又陸軍ノ行政整理ハ此時ニ終ツタ、是レ以上節
減ノ餘地ナシト云フ者デモナイ、ツレ等ノ關係ヲ離レマシテ免ニ角斯ノ如キ財源アリ、財
政上ノコトハ左程大キク爭フ價ナキモノト云フ風ニ思フノデアリマス(「財政ニ於テハ
爭テ居ラヌ根本ニ於テ違フ居ルノダ」ト呼フ者アリ)第三ノ理由ハ政治上ヨリ來ル、併
シ是ニ付テハ多クヲ語ルコトヲ欲シマセヌ、唯御互ニ政黨政治ヲ發達ヲ希望シテ居リ
マス、同土シテ二個師團問題ニ關スル吾等ノ爭ヒノ動機ガ公明デナイ、正大デナイ、愛
國のデナイト云フ風ニ世間一般カラ批評セラル、コトヲ甚ダ残念ニ感シマス(「ヒヤ」
ト呼フ者アリ)帝國ニ於ケル政黨政治ノ完全ナル發達ヲ將來ニ希望スルノ一人トシテ
(「一人」ハ政黨デハナイト呼フ者アリ)政黨ノ信用ニ關スル斯ノ如キ侮辱ヲ加ヘタ
ル批評ノ行ハレマスコトヲ甚ダ残念ニ思ヒマス(拍手起ル)從テ諸君ト共ニ此際ヲ機
シテ之ヲ解決シテ、我が政界ノメニ聲レテ新シイ分野ノ展開ヲ望ム者デアリマス、此意
味ニ於テ私ハ今日ノ計畫ニ賛成ヲ表シマス、第四ニハ尙一ツノ理由ガアリマス、ツレハ先
程カラ御話ノ今年ニ於ケル歐洲ノ大戰亂ヨリ來タル(「贊成ナラ贊成デ早クヤデシマ
ヘ」ト呼フ者アリ)其歐洲ノ戰亂ガ支那ニ及ボス影響如何ト云フコトヲ思フノデアリマス、
從來支那ノ國體ハ決シテ鞏固デアッタト言ヘマセヌ、之ヲ支持スルタメニハ歐洲ノ諸強
モ亦其一員トシテ協同ノ威力ト及ビ資力ヲ要シ來タデアリマス、支那ハ其歐洲ノ諸強
ノ威力ト資力トノ援助ニ依テ、辛ウジテ今日マデノ平和ト小康ヲ維持シ來タモノデアリ
マス、此度ノ戰亂ノ結果トシテ歐洲ノ諸強ノ支那ニ及ボスベキ威力ト資力ガ大ニ衰
ヘ來ツタコトヲ感ズル、從テ東洋ノ平和ヲ維持スル責任ハ、殆ド全部トマデ申シテ差支
ナイ位ニ、御互ニ日本帝國ノ肩ニ振り掛カデ來タ(「簡單」又「謹聽」ト呼フ者アリ)帝
國ハ從來トモ支那ノ平和、若クハ東洋ノ平和ヲ維持ノタメニ多大ノ力ヲ盡シマシタガ、今
後ハヨリ以上ノ努力ヲ致サナレバナリマセヌ、私ハ此形勢ノ變化ニ重キヲ措クモノデア
リマス、此變化シタル形勢ノ下ニ處シテ確實ニ東洋ノ平和ヲ保障センガタメニハ、日本
爲スベキコトハ極メテ多イ、其中ニ軍備ノ充實ナルモノハ最も主ナル要素デアルト信ズル
者デアリマス(拍手起ル)東洋ノ平和ノ保障タル帝國ノ地位責任ヲ充分満足ニ維持シ、
且ツ遂行スルタメニハ、此場合ニ於ケル陸軍ノ擴張已ムベカラズト云フコトヲ信ジマス(「ヒ
ヤヒヤ」ト呼フ者アリ)私ハ略々以上ノ理由ニ依テ此計畫ニ賛成スル者デアリマス、委員
長ノ報告ニ反對スル者デアリマス(拍手起ル)最後ニモウ一言ヲ附加ヘテ置ク、ツレハ政
友會ノ御唱ヘニナルトコロヲ靜カニ伺ヒマスルト、現内閣ニ對シテ不信トハ申サレマセ
ヌケレドモ、御議論ノ傾向ト其結果カラ考ヘマセバ、現内閣ニ對シテ如何ニモ不信任
ノ意向ヲ懷イテ居ラル、モノ、ヤウニ察セラレマス(拍手起ル)從テ不信任ノ感情意思
ガ基ヲ爲シテ一師團計畫ヲ削減セルニ至ツタノデナイカト感ズルノデアリマス(「ノウ」
ト呼フ者アリ)私等ハ現内閣ノ政策ヲ一カラ十マデ謳歌スルモノデアリマセヌ、サリナガラ
此春山本内閣ニ向ッテ突撃シ之ヲ崩壊セシメタル運動ノ荷擔者トシテ(「情力トシテ」ト
呼フ者アリ)今日ニ於テ其以來ノ時局ヲ拾收スベキ責任ヲ私等ハ荷擔テ居ル一人ダ
ト思フ(拍手起ル)而シテ其山本内閣ニ代ッテ立ツタル大隈内閣ハ、創立以來未ダ一年
ナラズ、其幾多ノ經綸ヲ行ハントスルニ方ツテ、今日ノ時局ニ際シテ居ル、ツレヲ支持シテ
此春ノ内閣ノ更迭ヲ惹起シタル目的ヲ達スルタメニ努力致スコトハ、當然ニ吾等ノ責任

ダト思フデ居ル、此意味ニ於テ吾等ノ同志ノ中ニハ、二個師團計畫ノ内容ニ付テハ、マダ
腑ニ落チナイト思フデ居ラル、方モアルニ拘ラズ、多數一致シテ政府ノ計畫ニ賛成ヲ表
スル所以デアリマス、私ハ最早此上多ク言フ必要ヲ認メマセヌ、經濟的軍備ノ擴張論、
一年ノ兵役論、是ハ未ダ現レザル問題トシテ考ヘルヨリ外ハナイ、其趣意ニ於テハ幾分
同情ヲ表スル點ガアリマセケレドモ、其考案ガ分明ニアリマセヌ以上ハ、之ニ向ッテ可
ノ批評ヲ試ムルコトハ出來マセヌ、故ニ是等ハ將來トシテ、將來ニ遺シ去ルヨリ外ハナ
イ、但シ此議論ガ國民派ノ諸君ヨリ現レ來タコトニ付テハ注意スベキ理由ガアルト思
フ、國民派ノ諸君ハ從來軍備縮小論ヲ御唱ヘニナツデ居リマシタ、其軍備縮小論者ガ
今日ニ至ツテ經濟的軍備ノ大擴張、若クハ一年兵役ニ於テノ兵員ノ増加ヲ希望セラ
マスコトハ、正シクハ歐洲大亂ノ影響デハアリマセヌカ(「ノウ」ト呼フ者アリ)其結
果デアリマセヌカ、私ハ歐洲ノ大亂ニ於テ國ヲ擧ゲテ戰ヒツ、アル實況ヲ見ラレテ、從
來軍備縮小論ヲ唱ヘラレタ國民派ノ諸君ガ、此ニ至ツテ軍備ノ擴張論ヲ唱ヘラレル所以
ダト解スル(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)「ノウ」ト呼フ者アリ)政友會ノ諸君ノ唱ヘラレマス
其根柢ニ於テハ軍備ノ擴張論デアリマス、故ニ私ハ滿場ヲ見渡スニ軍備擴張論ガアッテ軍
備縮小論ガナイト思フ、從テ之ヲ擴張致シ置キマスコトハ、將來ニ大ニ擴張セザルベガ
ラザルノ機會ガ來ルト致シマスレバ、其擴張ニ伴フ一ノ前提ニ過ガマセヌ、今日擴張致
シ置クコトハ將來大擴張ヲ必要トシテモ、其大擴張ヲ致スコトニ何等ノ差支ナイモノト
見ル者デアリマス、加之當局者ガ二十一個師團若クハ二十五個師團ヲ足レリト申シマ
ス兵數ヲ、吾等ヨリ進シテ其兵數デハ不足ナリト論ズル理由ハナイト思フ、當局者ハツ
レニ伴フ經費ヲ要求シテ足レリト唱ヘルモノニ向ツテ、吾等ヨリ其兵數デハ足リナイ、其
財力デハ足リナイト云ツテ、進シテ經費ヲ膨脹スルガ如キ議論ヲ議會ヨリ唱ヘル必要
ハナイト私ハ思フ、(「大ニアル」ト呼フ者アリ)斯ノ如キ議論ハ私ノ思ヒマス
ノニハ、從來ノ歷史ニ反シテ居ル、慣例ニモ悖ツデ居ル、議會政治本來ノ精神ニモ合
ナイト思フ、故ニ私ハ唯今日陸軍當局ヨリ要求セラル、程度其モノヲ贊成スルノデア
リマス(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)「ノウ」ト呼フ者アリ)最後ニ政友會ノ先達諸君ニ一言ヲ呈シ
イ、政友會ハ從來國防ノ擴張ニ賛成シ來ツタ、歷史ヲ有ッテ居ラレ、一部ノ人士ハ之ヲ
以テ政友會ノ誇ルベキ貴重ナル光輝アル歷史ト御唱ヘニナツデ居ラレ、(今デモ其通り
ダト呼フ者アリ)單リ今回ニ限ツテ之ニ反對セラル、ノハ特別明白ナル理由ガ無クテハナ
ラヌ(「アル」ト呼フ者アリ)其特別明白ナル理由ヲ懇切周到ニ説明シテ、廣ク天下
後世ノ惑ヲ解カレタイト思フ、否ラズンバ今日世間ニ傳ヘラル、如ク紛々タル噂ハ、或ハ
政友會ノ歷史ニ未來長ク拭フベカラザル汚點ヲ遺サントラ悞レル者デアリマス(「ヒヤ
ヒヤ」ト呼フ者アリ)拍手起ル)特ニ政友會創立者タル故伊藤公ハ、朝鮮第一次ノ統監ト
シテ其併合ノ爲ニ力ヲ盡サレマシタ、最後ニハ命ヲ哈爾濱ニ落シ(「マアウシナ事ハ宜イ
ヤナイカ」ト呼フ者アリ)所謂大陸政策ノ首唱者トナリ、又犧牲トナラレテ其鮮血ノ痕ハ
未ダ消エテ居ナイ、其壯烈ノ死ト愛國ノ至情トハ今日ニ於テモ政友會ノ間ニ遺ツデ居
ルベキ寶デアリマス(「遺ツデ居ル」ト呼フ者アリ)然レニ政友會ガ今日ニ至ツテ本計畫ニ反
對シ、此多年唱道シ來ツタ大陸政策、其政策當然ノ結果ヲ殊更ニ無視スルガ如キ、更
ニ伊藤公當年ノ死ヲモ志ヲモ水泡ニ歸セシメントスルガ如キ態度ヲ執ラル、ハ何ツヤ
(「誤解々々」ト呼フ者アリ)或ハ是ヲ餘事ト言ハレカモ知レヌ、サリナガラ私ガ此一節ヲ
挾シテ特ニ先達諸君ノ考慮ヲ求メルノデアリマス、仔細ニ考慮ヲ盡サルレバ時ハ未ダ遅
レテ居ナイ、マダ表決ノ間ニハ合ヒマス(笑聲起ル)私ハ此ニ於テ大政黨ノ襟度ヲ示サレ
ンコトヲ望ム、其結果舉國一致ノ實ヲ完ウスルコトガ出來レバ、是ハ區々一ノ大隈内閣

〔拍手起〕

〔井上角五郎君登壇〕

〔拍手起〕

立口下

८१

キ事情が、本員が言フテ居ルヤウナ此様の場合ニ、而モ行政整理ニ對シテ既往ニ誠意ナク嚮來ニ誠意ヲ持タナイト云フコトハ、斯様ナル場合ニ立ッ所ノ大藏大臣ノ言ヒ方トシテハ、實ニ本員ノミナラズ恐ラク諸君モ共ニ遺憾ニ御考ニナルコトデアラウト信シテ居ルノデアリマス（満足ニ思フ居ル）ト呼フ者アリ。諸君、本員ハ斯様ニ本豫算案ハ收支償ハザルモノデアッテ、斯様ニ永遠ノ計畫ヲ存セザルモノデアッテ、要スルニ姑息ノ手段ニ出デタルモノデアアル、ソレハ即チ今日ノ時勢ガ然ラシメタノデアッテ、強チ當局ノミニ其罪ヲ嫁スベキデナイト云フコトヲ述ベ來ッテ、左様ナル財政、左様ナル本豫算案ニ、何が故ニ治水費特別會計ノ廢止ヲ實行セントスルカ、左様ナル本豫算案ニ何が故ニ減債募金ノ繰入ヲ減少セントスルノデアアルカ、斯様ナル豫算案ノ上ニ何故ニ非募債策ヲヤッテ見ヤウト思フノデアアルカ、非募債策ハヤラズトモ募レナイノデアアル、非募債策ノ看板ヲ何が故ニ急イデ掲ゲテ見タノデアアルカ、今日ハ果シテ如何ナル秋デアアルカト云フコトハ、度々大隈總理大臣ノ口ヨリ聽クノデアアル、吾々ハ既ニ是ヲ知ッテ居ルノミナラズ大隈總理大臣ノ口カラ聽イテ、益々今日ノ時局ノ重大ナルコトヲ思ウテ居ルノデアアル、左様ナル重大ノ時局ノ秋ニ此様ナル豫算ガ出來タノハ、是ハ前ニ述ブル如ク致方ナイトシテ、其ノ上ニ何がタメデアアル、非募債策ヲ唱ヘヤウガ唱ヘマイガ、治水費特別會計ヲ廢シヤウガ廢スマイガ、減債基金繰入ヲ減少シヤウガ減少スマイガ、豫算ノ値打ニ何等ノ影響ヲ持タズ時局ノ進行ニ何等ノ支障ヲ與ヘズ、國庫ノ金融ニ何等ノ變化ヲ與ヘザル仕事ヲ此場合ニ是非トモ爲シテ、己レガ野ニ在ル時ニ唱ヘタル治水事業ノ廢止ヲ公ニ議シテ見タイト、内閣ノ組織セラレタル場合ヲ唱ヘタル非募債策ノ主義ダケモ豫算ノ上ニ載セテ見タイト云フ、何等效力モナク何等豫算ノ値打ニ影響モナク仕事ヲ、ナゼ此場合ニ企テ、殊更ニ自カラ舉國一致ヲ求メ、舉國一致ヲ破ラントモラルノデアアルカ、大隈總理大臣ハ時局ノ重大ナルコトヲ能ク口ニ唱ヘルガ、口ニ唱ヘル割合ニ時局ノ重大ナルコトヲ知ラヌカト本員ハ疑ハザルヲ得ヌノデアアル、大藏大臣ハ豫算委員會第二分科會ニ於テ又豫算委員會總會ニ於テ、今回ノ豫算ニ對スル豫算委員會ノ査定ハ要スルニシテ二分ケルコトガ出來、ルト言ハレテ居ル、一ハ何デアアルカ、財政ヲ如何ニ調達スベキカノ問題デアアル、即チ治水、鐵道、朝鮮事業、此三點ト減債基金ノ繰入ノ減少ト云フ是ガ一デアッテ、即チ財政ヲ如何ニ調達スベキカノ問題デアアル、尙一ハ歳出ノ削減デアッテ、其削減ハ即チ國防問題、移管問題、是等種々ノモノヲ含シテ居ル削減デアッテ、其削減ハ即チ國防問題、二ツ別ケルコトガ出來ルト大藏大臣ハ言ハレテ居ル、本員ハ漸ク大藏大臣ノ言ハレタル二ツノ區別ヲ假第一ノ財政ヲ如何ニ調達スベキカノ問題ニ就テ順次本員ノ意見ヲ述ベテ、大藏大臣ガ今述ベ來ッテ所ノモノハ、要スルニ財政上信ズベキ値打ノ議論ニアラズト云フコトヲ論ジテ見タイノデアアル、財政ヲ如何ニ調達スベキカト云フ此問題付テ大藏大臣ハ如何様ニ言ハレテ居ルカ、大藏省所管分科會ニ於テ豫算委員會總會ニ於テ現ニ本日モ此處ニ於テ大藏大臣ハ極メテ確カナル歳入ヲ以テ借入又ハ公債募集ノ代リニスルト云フ、財政ヲ如何ニシテ調達スルカノ問題ノ主ナル理由デアアルト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアアル、確實ナル歳入ヲ以テ借入ヲ止メ、又ハ公債ヲ募集セズシテ仕事ヲ行クト云フコトモノハ何デアアル、即チ國債整理基金ノ借入五千萬圓ヲ減少シテ、二千萬圓トシテ其差ノ二千萬圓、言ヒ換ヘレバ一方ニ必要ナル事業ヲ止メテ新タニコナラノ事業ニ移スト云フトコロノ金ニ過ギナイトコロノ二千萬圓、ソレニ又一ハ國債ノ剩餘金、國庫ノ剩餘金ト云フモノハ何時デモアリ得ルデアラウカ、有ル時ハアルケレドモ無い時ハナイノデアアル、其有ル時ハアリ無い時ハナイトコロノ金ヲ一千八百萬圓繰入レテ、サウシテ是ガ所謂確實ナル歳入トハ何事デアアル、諸君、本員ハ大藏大臣ノ確實ナル歳入ト言ハレル言葉ニ付テハ餘程疑フ存スル、其疑フ存スルノハ支那又ハ日本ノ辭書ニハ確實ニ斯様ナル意味ト書イテアルガ、其意味外ノ意味ヲ以テ若槻大藏大臣ハ確實ナリト云フ言葉ヲ用ユルノデハナカラウカト疑フノデアアル、何故カ、昨日ニ於テ、今日ニ於テ若槻君ノ用ユル言葉ニハ往々常識ナラザル言葉ヲ聞クノデ、昨日ハ豫算委員會ニ於テ「チヨクサイ」簡明ト云フ言葉ヲ聞イタ、今日ハ此席ニ於テ「ウロ」曲折ト云フ言葉ヲ聞イタノデアアル、之ヲ以テ見レバ確實ナル歳入ノ意味ガ吾々ノ常識ニ解釋スル如キ意味デナイカモ知レナイト思フノデアアル、若シ果シテ其意味デナイナラバ、本員ハ何ノ言フ所モナイノデアアルケレドモ、尋常ニ一様ニ意味シテ居ル確實ナル意味カラ、確實ナル歳入トハ到底前年度繰入金ハ言ハレナイノデアアル、國債整理基金ノ繰入ヲ廢シタルコトハ左様ニハ言ハレナイノデアアル、故ニ本員ハ財政ヲ如何ニ調達スベキカニ關シテ大藏大臣ノ説明ハ確實ナル歳入ヲ以テト云フ此言葉ガ根柢ニナレテ居ッテ、其確實ナル歳入ヲ自レ自身ガ既ニ壞ハレテ居ルノデアアルカ、殆ド意味ヲ爲サザル説明デアアルト云フコトヲ言ハナケレバナラヌノデアアル、ソレノミナラズ治水費特別會計ヲ廢止スルコトニ付テ、大藏大臣ハ第三分科會ニ於テ如何ニ言ハレタカ、此豫算ハ四年度ノ歳計案デアリマス、四年度ニハ治水費ノ借入ガ要ラヌカラ、即チ治水費特別會計ハ廢止シタルデアリマス、斯様ナル説明デアアル、此治水費ハ特別會計ナルモノハ如何ニシテ極メタカト云フコトハ能ク諸君ガ承知シテ居ラル、ノデアアル、今更本員ハ茲ニ其歴史ヲ語ラヌノデアアルケレドモ、要スルニ財政ヲ如何ニ拘ラズ、國庫ニ餘裕ノアルコト否ト問ハズ、治水事業ハ國家大切ノ事業デアアルカラ何デモカンデモ遂行シテ行ク、一般會計ニ於テ其資金ガ出ナケレバ借入金ヲ以テ之ヲ償フテ治水事業ヲ完成シタイト云フノガ特別會計ノ起リタ所以デアアルノデアアル、本年度ノ豫算案ニ於テ幸ニ借入金ヲセズニ濟ムカラツレデ宜イデナイカ、何が故ニ本年濟ムカラツレデ直グ特別會計ヲ廢止スルノデアアラウカ、若シ明年ニ至ッテ若シ國庫ニ餘裕ガナカッタラバ其時ハドウスルノデアアルカ、其時ハ又立テルノデアアルカ、是ガ即チ四年度ノ歳計案ハ本年ノ豫算ナリト云フ大藏大臣ノ頭ガ取りモ直サズ財政ノ上ニ永遠ノ計畫ヲ有タナイ證據デアアル、本年間ニ合フカラ特別會計ヲ廢止スルコト云フ議論ノ如キハ、次年度乃至次年度以後ノ豫算ヲ眼中ニ置カザルトコロノモノト言ハナケレバナラヌノデアアル、又何故ニ四年度バカリノコトヲ考ヘテ、次年度乃至其以後ノ借入ヲスル場合ニハ、此特別會計ガアル方ガ宜シイノデアアルカ、何故ニ四年度ノ歳計案ノコトバカリ考ヘルノデアアルカト云フ私ノ議論ニ對シテ、大藏大臣ハ即チ立ッテ一般會計カラ特別會計ニ繰入レ、特別會計カラ又一一般會計ニ繰入レル、是ニ於テ「ウロ」曲折ナル言葉モ出タノデアアル、是ニ於テ「チヨクサイ」簡明ナル言葉モ出タノデアアルガ、左様ナリ遠イコトヲヤルヨリモ豫算ニ餘リノアルノヲ直グ持テ行クノガ一番宜イシヤナイカ、本員ハ此事ハ贊成スル、其通りデアアル、如何ニモ其通りデアアル、ケレドモ財政ノコト、唯一「ズイ」左様ニナシ難イ事情ガアルノデ、現ニ大藏大臣考ヘテ見ルガ宜イ、軍艦水雷艇補充資金特別會計、森林資金特別會計、是等二類シタル特別會計ハ澤山アルデハナイカ、何ゾ獨リ治水資金特別會計ニ付「ウロ」曲折ガアルカラ「チヨクサイ」簡明ニシナケレバナラヌト云フノ議論ヲ立デラレルノデアアラウカ、要スルニ治水特別會計ヲ廢止セントスルノハ、成程本年ノ豫算案ニ於テハ必要ハナイケレドモ、亦明年度、明年度以後ニ於テ其必要ヲ生ズルト云フコトヲ知リツ、モ、尙且之ヲ廢止セントスルノハ、又之ヲ廢シナイカラテ必ズシモ借入金ヲスルノ必要ハナク、即チ單ニ一般會計ノ繰入ノミヲ以テヤッテモ差支ナイノニ特ニ之ヲ今日ニ主張スルノハ、

ナル歳入トハ何事デアアル、諸君、本員ハ大藏大臣ノ確實ナル歳入ト言ハレル言葉ニ付テハ餘程疑フ存スル、其疑フ存スルノハ支那又ハ日本ノ辭書ニハ確實ニ斯様ナル意味ト書イテアルガ、其意味外ノ意味ヲ以テ若槻大藏大臣ハ確實ナリト云フ言葉ヲ用ユルノデハナカラウカト疑フノデアアル、何故カ、昨日ニ於テ、今日ニ於テ若槻君ノ用ユル言葉ニハ往々常識ナラザル言葉ヲ聞クノデ、昨日ハ豫算委員會ニ於テ「チヨクサイ」簡明ト云フ言葉ヲ聞イタ、今日ハ此席ニ於テ「ウロ」曲折ト云フ言葉ヲ聞イタノデアアル、之ヲ以テ見レバ確實ナル歳入ノ意味ガ吾々ノ常識ニ解釋スル如キ意味デナイカモ知レナイト思フノデアアル、若シ果シテ其意味デナイナラバ、本員ハ何ノ言フ所モナイノデアアルケレドモ、尋常ニ一様ニ意味シテ居ル確實ナル意味カラ、確實ナル歳入トハ到底前年度繰入金ハ言ハレナイノデアアル、國債整理基金ノ繰入ヲ廢シタルコトハ左様ニハ言ハレナイノデアアル、故ニ本員ハ財政ヲ如何ニ調達スベキカニ關シテ大藏大臣ノ説明ハ確實ナル歳入ヲ以テト云フ此言葉ガ根柢ニナレテ居ッテ、其確實ナル歳入ヲ自レ自身ガ既ニ壞ハレテ居ルノデアアルカ、殆ド意味ヲ爲サザル説明デアアルト云フコトヲ言ハナケレバナラヌノデアアル、ソレノミナラズ治水費特別會計ヲ廢止スルコトニ付テ、大藏大臣ハ第三分科會ニ於テ如何ニ言ハレタカ、此豫算ハ四年度ノ歳計案デアリマス、四年度ニハ治水費ノ借入ガ要ラヌカラ、即チ治水費特別會計ハ廢止シタルデアリマス、斯様ナル説明デアアル、此治水費ハ特別會計ナルモノハ如何ニシテ極メタカト云フコトハ能ク諸君ガ承知シテ居ラル、ノデアアル、今更本員ハ茲ニ其歴史ヲ語ラヌノデアアルケレドモ、要スルニ財政ヲ如何ニ拘ラズ、國庫ニ餘裕ノアルコト否ト問ハズ、治水事業ハ國家大切ノ事業デアアルカラ何デモカンデモ遂行シテ行ク、一般會計ニ於テ其資金ガ出ナケレバ借入金ヲ以テ之ヲ償フテ治水事業ヲ完成シタイト云フノガ特別會計ノ起リタ所以デアアルノデアアル、本年度ノ豫算案ニ於テ幸ニ借入金ヲセズニ濟ムカラツレデ宜イデナイカ、何が故ニ本年濟ムカラツレデ直グ特別會計ヲ廢止スルノデアアラウカ、若シ明年ニ至ッテ若シ國庫ニ餘裕ガナカッタラバ其時ハドウスルノデアアルカ、其時ハ又立テルノデアアルカ、是ガ即チ四年度ノ歳計案ハ本年ノ豫算ナリト云フ大藏大臣ノ頭ガ取りモ直サズ財政ノ上ニ永遠ノ計畫ヲ有タナイ證據デアアル、本年間ニ合フカラ特別會計ヲ廢止スルコト云フ議論ノ如キハ、次年度乃至次年度以後ノ豫算ヲ眼中ニ置カザルトコロノモノト言ハナケレバナラヌノデアアル、又何故ニ四年度バカリノコトヲ考ヘテ、次年度乃至其以後ノ借入ヲスル場合ニハ、此特別會計ガアル方ガ宜シイノデアアルカ、何故ニ四年度ノ歳計案ノコトバカリ考ヘルノデアアルカト云フ私ノ議論ニ對シテ、大藏大臣ハ即チ立ッテ一般會計カラ特別會計ニ繰入レ、特別會計カラ又一一般會計ニ繰入レル、是ニ於テ「ウロ」曲折ナル言葉モ出タノデアアル、是ニ於テ「チヨクサイ」簡明ナル言葉モ出タノデアアルガ、左様ナリ遠イコトヲヤルヨリモ豫算ニ餘リノアルノヲ直グ持テ行クノガ一番宜イシヤナイカ、本員ハ此事ハ贊成スル、其通りデアアル、如何ニモ其通りデアアル、ケレドモ財政ノコト、唯一「ズイ」左様ニナシ難イ事情ガアルノデ、現ニ大藏大臣考ヘテ見ルガ宜イ、軍艦水雷艇補充資金特別會計、森林資金特別會計、是等二類シタル特別會計ハ澤山アルデハナイカ、何ゾ獨リ治水資金特別會計ニ付「ウロ」曲折ガアルカラ「チヨクサイ」簡明ニシナケレバナラヌト云フノ議論ヲ立デラレルノデアアラウカ、要スルニ治水特別會計ヲ廢止セントスルノハ、成程本年ノ豫算案ニ於テハ必要ハナイケレドモ、亦明年度、明年度以後ニ於テ其必要ヲ生ズルト云フコトヲ知リツ、モ、尙且之ヲ廢止セントスルノハ、又之ヲ廢シナイカラテ必ズシモ借入金ヲスルノ必要ハナク、即チ單ニ一般會計ノ繰入ノミヲ以テヤッテモ差支ナイノニ特ニ之ヲ今日ニ主張スルノハ、

同志會が豫て主張シ來タコロノ問題デアラカラ、行政整理ハ長ク主張シタケレドモ充
分ニ出來ナイ、營業稅ノ廢止、通行稅ノ廢止モ長ク唱ヘタケレドモ、デシカラ要領ヲ得
ナイ、セメテハ此事デモ豫算ノ上ニ出シテ、吾ガ言フコロノ責ヲ盡シタノデアルト云フ
コトヲ、天下ニ申譯シヤウト云フノ意思カラ現ハレ來タモノデアルト了解スルノ外ニハ、本
員等ノ見ルトコロデハ何トシテモ理窟ノ立チヤウガナイノデアアル、大藏大臣ハ鐵道資金二
千萬圓、朝鮮總督府ノ事業資金八百六十三萬圓、之ヲ特ニ一般會計カラ貸付ケラ
ル、コト、シタノデアアル、之ニ對シテ大藏大臣ハ公債ノ募集ハ平時ニ於テモ容易デハ
ナイ、況ン今日ノ戰爭ニ於テ連モ公債ノ募集ガ容易デナイカラ、ソレデモ尙且ツ強テ公
債ヲ募集セントスレバ、利子ハ高ク手數モ多ク、ソレノミナラズ從來ノ日本ノ公債ノ市場
ニ存スルモノガ自ラ下落スルノ虞ガアルコト、公債ノ募集ハ出來ナイ、公債ノ募集ガ出
來ナイカラ一般會計カラ之ヲ貸付ケルコトニシタノデアアル、ソレヲ貸付ケル爲メニハ一
年度ノ繰入金ニ依リ、一ハ減債金繰入金ノ減少ニ依テ之ヲ貸付ケルコトニシタノデア
アル、斯様ニ説明セラレタノデアアル、此ノ説明ガ即チ財政ノ實際ニ
通ジタル説明デアリマセウカ、本員ガ財政ノ實際ト云フノハ即チ數年以來ノ日本政府ガ
ヤリ來ッタヤリ方、内閣ハ其人ガ更ルトモ國家ノ即チヤッテ來タヤリ方、今日モ尙且ツ
ヤッテ居ルガ、其ノ實際ニ通ジタ言葉デアリマセウカ、考ヘテ御覽ナサイ、減債金繰入
ノ二千萬圓ヲ減ラシテ、此ノ二千萬圓竝ニ國庫剩餘金ノ千八萬圓ヲ繰入レテ、ソレヲ
合計シテ一般會計カラ鐵道ニ貸シ、一般會計カラ朝鮮總督府ニ貸ス、其反對ニ二
千萬圓ノ減債基金ヲ以テ現ニ預金全部ガ持テ居ルコロノ公債ヲ、二千萬圓買フ、或ハ
新買ツテ置イテ其金ハ預金全部ニ渡シテ、其預金全部ニ渡シタモノヲ借入トスル、若クハ新三
公債ヲ募集シテ、其公債ニ預金全部ヲシテ應ジサス、預金全部所有ノ公債ト同ジク全部同一
額デアル、公債ガ變ジテ貸付金トナルニ過ギナイノデアアル、斯様ナリヤリ方ハ最近幾年カ
ヤリ來ッテ、今尙ヤリツ、アルヤリ方デアアルノデアアル、若シ減債基金ノ繰入二千萬圓ヲ減
スノヲ減ラサナカッタラバ、國庫剩餘金ヲ前年度繰入金トシテ繰入レルノヲ繰入レナカ
タナラバ、其代リニ起ルトコロノモノハ即チ今ノヤリ方デアアルノデアアル、ソレニ今日公債ヲ募
ラウト云ツタコロガ、公債ハ募レルモノデヤナイ、若シ募レル利子ガ高イ、手數料ハ多イ、
加之他ノ公債ヲ下落セシムルカラ、斯様ナリヤリ方ハ執レルモノデナイト白シク説明セ
ル、ノハ、財政ノ實際ニ通ジテ居ラヌト言ハナケレバナラヌ、大藏大臣ガ財政ノ實際ニ通
ジテ居ラヌト云フコトガ、本員ノ口カラ出ルノハ恐ラク敬意ヲ失ッテ居ルデアリマセウ（無
論デ）「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ同志會ノ諸君ガ言ハル、ガ如ク、無論敬意ヲ失ッ
居リマセウ、若シ是ガ敬意ヲ失ッテ居ルナラバ大藏大臣ハ吾々ヲ胡麻化シテ居ルモノト
斷言シナケレバナラヌ（ノウ／＼）「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ諸
君、本員ハ茲ニ一言ヲ述ベテ諸君ニ本員ノ誤リヲ謝シテ置キマス、ソレハ何デアアルカト
云ハバ、大藏省所管ノ分科會ニ於テ本員ハ斯様ニ述ベタノデアアル、減債基金ノ繰入金
ハ二千萬圓ヲ計上シ、二千萬圓減少シタルガ、是非ハ政府ニ於テ五千萬圓ニ直
シテ豫算ヲ提出シテ貰ヒタイノデアアル、或ハ此ノ場合豫算ヲ訂正スルコトガ出來ナイノナ
ラバ、願クバ追加豫算トシテ五千萬圓ニ増シテ貰ヒタイノデアアル、其五千萬圓ニ御増シ
ニナルマデハ、當分三千万圓ハ之ヲ削グテ置クトス様ニ論ジタノデアアル、其事ヲ先刻若
槻大藏大臣ガ非難セラレマセウカ、或ハ法律ノ關係又豫算ノ手續ノ上ニ三千万圓ヲ
取敢ヘズ削グテ置イテ、五千万圓ヲ政府ガ新ニ出スト云フコトニスルヨリハ、三千万圓ヲ
殘シテ置イテ二千万圓ヲ出スト云フコトニシタ方ガ手續ガ宜イカトモ思フノデアアルカラ、是ハ若
槻大藏大臣ノ說ニ讓ッテ、若シ是レガ甚シク諸君ヲ騷ガシタト云フ事實ガアルナラバ、本

員ハ即チ其過チヲ謝シテ置クノデアアル、併ナガラ諸君、今日マデ豫算委員會ニ於ケル通
例ヲ御覽ナサイ、此席ニ居ラレル諸君モ長イ間議會ニ出テ、又屢豫算委員ニナラレテ
居ル諸君ガアルガ、縱シ反對ノ内閣ニセヨ、贊成ノ内閣ニセヨ、其ノ内閣ハ將ニ今日ニ
モ明日ニモ、議會ヲ解散セントスルガ如ク議員ト衝突シテ居ル内閣ニモセヨ、豫算委員
會ニ於テ此處ヲ削ル、此處ヲ此ノヤウニスル、歲入歳出ヲ削ツタリ殖シタリシタガ爲ニ收
支ガ償ハス、收支ガ償ハヌデハナイ、計算ガ分ラヌ、此計算ヲ如何ニスベキカト云フコト
ハ、イッテモ大藏大臣ノ指圖ニ於テ大藏省ノ屬僚ガ吾々ノ仕事ヲ助ケテ豫算査定ノ整
理ヲシテ呉レタノデアアル、斯様ニナッテ居ルニ本員ガ過テ削グタト云フコトハ素ヨリ謝
ルノデアアルケレドモ、ソレハ君過ッテ居ル一言若槻君ハ言ッテコソ、所謂議會ト内閣ノ間
ノ和協ハ保テルノデアアラウト思フ、諸君、本員ハ決シテ此事ニ就テ泣言ハ申シマセウ、今
日ノ場合ハ舉國一致ヲ望ムノデアアル、内閣大臣ハ度々議會ニ向ッテ和協ヲ求メタ、吾々
議員モ亦和協ノ最モ必要ナルコトヲ信ジテ居ルノデアアル、ソレニモ拘ラズ、斯様ナコトガア
タト云フコトヲ申上ゲテ諸君ノ參考ニ供スルノデアアル、敢テ泣言ヲ言フノデアアルト云フ
コトハ御丁承ラ願ヒタイノデアアル、諸君國庫剩餘金ヲ流用シ、又國債整理基金ヲ
レバ減少スルコト云フ非募集策ヲ強イテ主張セントスルノハ、實ニ彼ノ治水費特別會廢
止ニ於ケルト同一ナルヤリ方ヲ現内閣ハヤッテ居ルモノト本員ハ信スルノデアアル、ナセカ
來此ノ減債基金繰入ト云フモノハハドノヤウニシテ起ッタノデセウ、日露戰爭ニ依テ公債ガ
多額ニナッタ當時、人民ハ非常特別稅ヲ課セラレタ、戰爭ハ既ニ終了シタカラ非常特
別稅ハ即チ元二戻サナケレバナラヌ、併シ國庫ニハ戰爭ノ爲ニ澤山ナル公債ガ出來タカ
ラ、此公債ヲ償却シ盡スマデハ國民モ忍耐ヲシテ、非常特別稅元二戻スコトヲ待ッテ
吳レロ、非常特別稅元二戻スコトハ勸忍シテ吳レロト云フノ意味ヲ以テ減債基金繰
入ノ法律ハ制定セラレタノデアアル、吾々ハ飽マデ五千萬圓年々償還セムト信ジテ居ルノ
デアアルガ、假リニ二千萬圓モ二千萬圓モ其償還ヲ減ラスコトガ出來タナラバ、公債ニ依テ仕
事ヲシテモ借入ニ依テ仕事ヲシテモ差支ノナイ鐵道事業ヤ、又同様ニ差支ノナイ朝鮮
總督府ノ事業資金ニソレヲ差支ケザシテ、國民ノ負擔ヲ輕減シ、若クハ國民ノ經濟ヲ
救済スルノ便宜ナルベキ方ニ向ケラレテコソ當然ハナイノデアアルカ（ヒヤ／＼）然ルニ
其様ナル考ヘゼズニ、己等ガ非募集策ヲ唱ヘタト云フコトノ爲ニ、其非募集策ノ看板ダ
ケデモ此豫算ノ上ニ殘シテ置カウト云フガ爲ニ、之ヲ削減——減少シタルニ至ッテ、本員
ハ實ニ當局ノ所爲ノ其誠意ヲ缺クヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、諸君更ニ進ンデ考ヘ
テ御覽ナサイ、鐵道事業ハ即チ新規ノ線路ヲ延長スルコト云フコトハ、國民多數ノ希望
デアリマス、本年度ノ豫算ニ於キマシテハ建設費目トシテ計上セラレタモノハ、約豫定
ノ半額ニナッテ居リマス、延長費用トシテ計上セラレタモノハ、約豫定ノ半額ニナッテ居
ルノハ、今日戰爭ノ場合ニ於テ致方ハナイケレドモ、國民ハ左様ナル遲ナル延長ヲ以テ
満足スルコトハ出來ナイノデアリマス、然ルニ減債基金ヲ二千萬圓廢メテ、其二千萬圓
ヲ鐵道ニ貸付ケルコト云フコトヲ本則トシテ、茲ニ財政計畫ヲ立テタ以上ハ、縱シ戰爭ガ
止ンデモ如何ナル場合ガ來テモ、鐵道ニ金ヲ貸付ケルノハ、二千萬圓以上貸付ケルコト
ガ出來ルノデセウカ、何所カラ金ヲ持ッテ來テ貸付ケルデアラウ、即チ戰爭ハ終了スル
雖モ鐵道ノ延長ハ尙今日ノ如クニ甘シザルヲ得ナイ、其外ハ唯鐵道收入ノ増加スル
ヲ待ツノミデアルト云フタナラバ、決シテ國民ハ満足シナイノデアアル、故ニ左様ナル計畫ハ
縱シヤルニシテモ永遠ノ計畫ガ立ッテ財政ノ上ニ於テ、徐ニ考ヘテ減債基金ヲ二千萬圓
減ラスノ鐵道ニ入レル、尙永遠ノ計畫カラ言ヘバ、財政上ニ是レケノ金ハ鐵道ニ入レ
ルト云フコトガ明瞭ニナッタ日ヲ待ッテ、此事ヲ御定メニナッタッテ進クナイノデアアル、加之

囊ニモ言フタガ如ク治水費特別會計ヲ其儘ニ置イテモ、減債資金ノ繰入ヲ二千萬圓減少セズシテ、其儘ニヤツテモ亦是マデノ如ク、公債募集乃至繰替借入金ヲ以テ、朝鮮事業鐵道事業ヲヤツテモ、今日政府が出シテ居ル豫算ノ如クヤツテモ、事業ノ進行ニハ少シモ消長ナシ、政府ノ財政ニハ少シモ増減ナク、國庫ノ金融ニハ何等變更ガナシトシタナラバ、何ヲ苦シテ殊更ニ斯様ナル財政ヲ如何ニ調理セベキカノ問題ヲ本豫算案ノ上ニ附加ヘ來タノデアリマセウカ、諸君、回顧スレバ日清戰爭ノ當時、當時ノ内閣ハ往々ニシテ議會ト衝突致シテ居リマス、併シ戰爭ノ終了スルマデハ内閣ハ苟モ議會ノ反對スルガ如キ、若クハ議會ト意見ヲ異ニスルガ如キモノハ一切提出セズシテ、專ラ議會ノ意ヲ迎ヘルコトニ盡力シタノデアリマス、又日露戰爭當時ニ於テ尙且當時ノ内閣ハ、左様ナコトヲ爲シタノデアリマス、今回ハ如何デアルカ、口ニコソ舉國一致ヲ唱ヘ、何故ニ和協シナイカ、唯吾々ニ向テ威シカマシキ言葉ヲ用ヒテハ居ルケレドモ、今回ハ如何デア、本豫算ノ上ニ今ノ所謂財政ヲ如何ニ調理セベキカノ問題ヲ加ヘテ、加ヘタ所ガ加ヘナイ所ガ何等少シモ影響ナク間違ナク、而モ後年ニ至ッテ往々ニシテ不便ヲ受ケル如キ事ノアルモノヲ持チ來ッテ、特ニ吾々議員ノ意見ト相反シタルモノヲ現ハシ來タト云フノハ、口デ言フ所ト實際デ行フ所ハ全ク違ッテ居ルト云フコトヲ(拍手起ル)口デ言フ所ト實際ニヤル所ハ全ク違ッテ居ルト云フコトヲ責メザルヲ得ナイノデア、諸君、過日第二分科會ニ於キマシテ若槻大藏大臣ハ斯様ニ言ハレマシタ、政府が出シタトコロノ此意見ニ反對セラレルノハ殊更ニ政府ヲ信任セラレナイノデアリマス、政府が出シタトコロノ此意見ニ對シテ、本員ハ本員ヨリ進ンデ若槻大藏大臣ニ問フテ見タイノデア、現在成立ッテ居ル法律ヲ其儘ニ置イテモ、現在ヤリ來ッテ習慣ヲ其儘ニ行ッテモ、事業ノ進行ニハ何等差支ガナク、豫算ノ金額ニハ何等變更ガナク、國庫ノ金融ニハ何等支障ガナク、即チ舊來ノ法律ヲ其儘行ヒ、舊來ノ慣例ヲ其儘行ッテ差支ガナク、戰時ノ今日殊更ニ看板バカリノ此問題ヲ此豫算ノ上ニ御出シニナルノハ、徒ニ吾々ニ向テ戰ヲ御求メニナルノデアリマス、本員ハ問ハザルヲ得ナイノデア、(ノウ)「拍手起ル」此故ニ本員ハ今又更メテ當局ニ勸告スルノデア、當局ハ願フハ豫算ヲ訂正セラレテ、即チ斯様ナル從來黨派ノ論争ノ問題タリシ問題ヲ今年豫算ノ上ニ現ハサナイヤウニセラレタイト云フコトヲ切ニ内閣ニ希望シテ、ドウカ成リ得ルダケハ相互ヒニ内閣議會ノ和協ヲ保ツト云フコトヲ進ンデ希望セザルヲ得ナイノデアリマス、諸君、考ヘテ御覽ナサイヨ、餘リ子供ノ騷グ時ニハ母親ハ少シオトナシクシテ居ラナケレバイケマセヌ、然ルニ母親カラ先ヅ騷イテ出ラレテハドウシテ茲ニ舉國一致ガ保テルモノデア、(拍手起ル)諸君、凡ソ今日ニ於キマシテ當局ニ對シテ當ニ本員ノミナラス、諸君ガ又國民ノ多數ガ希望スルコトコロノ問題ハ何デアリマセウカ、要スルニ吾々ハ戰爭ノ費用ヲ供給シテ如何ニ多額ノ戰爭費用ガ要ラウトモ、之ヲ供給シテ最後ノ勝利ハ我國ニ於テ之ヲ收メタイト云フ、是ガ一ツノ希望デアリマス、第二ハ今日ノ經濟狀態ヲ救済シテ願クハ吾々ヲシテ不景氣ノ中ヨリ免レシメヨト云フ、是ガ第二ノ希望デアリマス、國民ハ斯様ナル希望ヲ有ッテ居リマス、吾々ハ斯様ナル希望ヲ有ッテ居リマス、内閣トシテ施設セラレラナラバ將ニ此二ツノ問題ニ最モ力ヲ盡サレナケレバナラヌノガ當然デアラウト思フ、所デ戰爭費用ノ問題ハ姑ク之ヲ措キマシテ、經濟救済ニ關スル當局ノ施設ハ實ニ見レベキモノガアルヤ否ヤト云ヘバ、本員ハ殘念ナガラ然リト云フコトハ能ウ言ハナイノデア、日本銀行、正金銀行ノ作用ニ依ッテ、外國爲替ノ便利ヲ與ヘ、又ハ勸業銀行、興業銀行ノ貸出ニ其資金ヲ追加シテ貸與ヘタト云フ位ナ仕事デアッテ、何等經濟ニ關スル手段ヲ此内閣ガ執ツタモノガアルトハ

本員ハ見ナイノデア、所ガ昨今ニ至ッテ蠶絲業救済ニ關シテノ法案ヲ出サレ、又昨日ニ至ッテ初メテ米價調節ニ關スル法案ヲ出サレタノデア、本員ハ議會ノ開ケルヤ乃チ我ガ同僚ト共ニ政府ハ速ニ蠶絲業ノ救済ヲ爲スベシ、政府ハ速ニ米價調節ノ事ヲ爲スベシト建議シタルノデア、建議ニ因テ以テ斯様ナル法案、若クハ豫算ヲ提出セラレタノハ(「嘘ヲ言フナ」ト呼フ者アリ)敢テ喜バザルニアラザレドモ、併シ國家ノ局ニ當ル者ガ人民ノ困難ヲ以テ唯一憂フベキコトシ、經濟救済ノ事ノ如キハ最も大切ナル事ト考ヘタナラバ、何故議會が開ケナイ前ニモ吾々ガ建議シナイ前ニモ其事ヲ考ヘテ議會召集ノ翌日ニハ即チ此案ヲ出サナカッタノデアラウカ(拍手起ル)形勢今日ニ至ッテ、節季此場合ニ初メテ出シ來ルト云フガ如キ其誠意果シテ有リヤ否ヤヲ疑フノデア、ケレドモ併シ本員ハ免モ角モマデ此内閣ノ人々ニモ良心アリト云フ考デ出シテ來タダケハ喜バザルヲ得ナイノデア、(「マルデ物ニナラヌ」ト呼フ者アリ)諸君、試ミニ四年度ノ豫算案ヲ實行シタル其後ニ於ケル日本ノ經濟狀態ヲ考ヘテ御覽ナサイ、戰爭ハ或ハ終局スルカモ知レナイ、終局スレバ爲メニ經濟狀態一變ラカ直ルト云フコトハアラウケレドモ、戰爭ノ終局ト否トハ外ニシテ四年度ノ豫算案ヲ實行シタル後ノ事ヲ考ヘテ御覽ナサイ、明年度ノ此頃ハ今日ハ大藏證券ノ發行ハナイケレドモ、明年ノ此頃ハ八千万圓或ハ多少其内デアラウケレドモ、大藏證券ハ發行セラレラウ、正貨ノ總高ハ昨年ノ十一月ハ三億七千万圓、ツレガ今日ハ三億二千百万圓、ツマリ四千百万圓減少シテ居ルノデア、明年ノ此頃ハ幾ラニ是ガナデアラウカ、隨テ日本銀行ノ兌換發行高ハノ様デア、昨年ノ十二月ハ四億二千八百百万圓デア、本年ノ十月ハ三億二千八百百万圓デア、約一千万圓ツレダケ減少シテ居ルノデア、兌換發行高ガ減少スレバ物價ノ下落シ、金利ハ騰貴シ、隨テ所謂不景氣ナルモノ、來ルハ當然デア、來年ノ此頃ハ兌換發行高ハ幾ラニナルデアラウカ、左様ナコトヲ考ヘタナラバ吾々國民ヲ代表シテ居ル議員トシテ、即チ一般國民ノタメニ實ニ憂慮シナケレバナラヌノデア、然ルニ議員トシテ吾々ハ憂慮シナケレバナラス、憂慮シテ居ルニモ拘ラズ内閣ノ仕業ハ左様ニナラザルト云フモノハ實ニ内閣ガ救済ノコトニ關シテ、其誠意ヲ缺イテ居ルト云フコトヲ斷言シテ本員ハ少シモ憚ラヌノデア、先刻若槻大臣ハ斯様ナコトヲ言ハレタ、預金部ニ在ル金ト云フモノハ郵便貯金デア、其郵便貯金ヲイロノナ仕事ニ使フト云フコトヲ地方ノ金ヲ段々集メ、其金ヲ使フガタメニ地方ハ潤渴シ、地方ノ金融ハ困難ニナツテ來ルニ相違ナイカラ、ナカノ預金部ノ金ハ容易ニ使ヘタト云フコトヲ言ハレタノデア、是ハ筋違ヒノ議論デア、タケレドモ、免モ角モ大藏大臣ガ地方ノ金融ト云フコトヲマダ口ニ言フダケノ良心ヲ持ッテ居ルノニ付テ本員ハ満足スルノデア、試ニ御覽ナサイ、今日ノ政府ノ事ヲ中央ニ資金ヲ回收スルノ策ヲ採ッテ、地方ノ金融ハ既ニ潤渴シテ居ルノデア、若シ本員ニ證據立テロト言ヘバ、即チ此内閣成立以來ノ事實ヲ舉ゲテ證據立テ得ルノデア、恰モ全國ハ旱魃シ一滴ノ水モ無クシテ田畑ハ乾割レル、其際ニ當テ中央ノ數種ノ銀行ガ遊金ヲ持ッテ居ルカラト云フテ、野原ハ總テ旱魃シテ乾割レテ居ルケレドモ溜池ニ僅ニ水ガアルカラト云ウテ、此水ヲ見テ金融緩慢ナリト喜ンデ居ルノハ現大藏大臣デア、此内閣ノ有様デア、ト云フコトヲ本員ハ斷言スルニ憚ラヌノデア、吾々ハ軍時支出ニ付テ、又經濟ノ救済ニ付テ最も今日ハ力ヲ盡スベキ時デア、アルト思フニモ拘ラズ、本年度ノ豫算案ニ對シテ從來ノ黨派行懸リノ問題ヲ之ニ載セテ、斯様ナル大切ナル問題ヲ減却シテ、黨派爭ヲ豫算ノ上ニ爲サントスルガ如キハ、決シテ大藏大臣ノ言フカ如ク本院ガ内閣ヲ信任セザルニ非ラズシテ、内閣コソ吾々ニ對シテ戰ヲ挑モノデア、ト云フコトヲ言ヒ得ルノデア、諸君、斯様ニ論ジ來ッテ更ニ三元戻ッテ減債基金ノコトヲ考ヘルト實ニ面白イコトガアル、昨日若槻大藏大臣ハ戰時費用ノ支出

ニ關シテ説明スルトキニ、此豫算案ニハ明年ノ六月迄が積ッテアリマス、六月以後ニ戰爭
ガ若シ繼續シタラ如何ナルカ、其時ハ先ヅ減債基金ヲ出シテ使フ積リテアリマス、減債
基金ガ足ラナカッタラ其他ノ基金ヲ利用スル積リテアリマス、來年六月以後ニ戰爭ガ續ク
カ續カヌカハ別問題デアリマスガ、假ニ續ケバ大藏大臣ノ目的ハ先ヅ目指ストコロハ減
債基金デアル、昨日提出セラレタル米價調節ノ法案ハ其豫算トシテ出タトコロ豫算ハ
減債基金ヲ千五百萬圓繰入レテ、之ヲ以テ米ヲ買ハウト云フデアル、其事柄ノ善キ
惡キハ未ダ調査ヲシナイカラ明言ハシ得ナイケレドモ、免ニ角減債基金ヲ之ニ使フト云フ
ノ戰爭ノ費用モ減債基金ヲ出シ、米價調節ノ費用モ減債基金ヲ出シ、サウシテ其減
債基金ノ五千萬圓ヲ二千萬圓ニ減ラスト云フノ、何處ニ是デ財政ノ基礎ガ立ッタ大
藏大臣ノ議論ナリト云フコトガ出來マセウカ(ナゼ減債基金ヲ削ッタノダト呼ブ者アリ)
今以テアノウナ言葉ヲ聽キマスカラ一言辯ジテ置キマス(モウ宜イト呼ブ者アリ)減債
基金ノ二千萬圓ヲ削ッタハ政府ガ五千萬圓ニシテ御出シニナルコトヲ希望スルト云ッテ
削ッタルデアル、併シ其削リ方ガ惡イト云フナラバ本員ハ茲ニ謝スルト云フデアラ、減債
基金ハ何處迄モ五千萬圓ヲ存シタイト云フノガ吾ミノ意見デアル、要スルニ同志會ノ諸
君ノ如キハ、目下ノ狀態ハ此上ニ立ツ内閣ガ既ニ馬鹿ニシテ目下ノ狀態ヲ見デ居ルカ
ラ、諸君モ亦目下ノ狀態ヲ馬鹿ニシテ實ニツマラシ議論ヲ爲シテ、人ガ眞面目ニ演說ラ
スルノ妨ゲントスルガ如キハ、少シク顧ミテ此國ノ有様ヲ考ヘテ、自分ノ地位カラ考ヘ
テ多少タリトモ人ノ代表ヲ受ケテ此處ニ臨ンダケノ各分ヲ御考ニナルヤウニナサルガ宜
カラウト思フデアル、諸君、本員ハ斯様ニ論ジ來リマスレバ大藏大臣ガ言フトコロノ財
政ヲ如何ニ調理スベキカノ問題ニ付テハ、大藏大臣ノ議論ヲ要スルニ根柢ヨリ論駁シ
得タト信ジマス、尙其他ノ削減問題ニ付テハ自然他ノ諸君ヨリ御議論ガアルデアラウト
思ハスカラ、本員ハ單ニ財政ヲ如何ニ調達スベキカト云フ、若槻大藏大臣ノ分類シタ
ル部分ノ問題ニ付テノ意見ヲ述ベテ、此壇ヲ降りマス(拍手起ル)

○議長(與繁二郎君) チヨット宣告シテ置キマス、本日ハ議事ノ都合ニ依リマシテ六
時ノ時間ガ過ギマシテモ引續イテ延會ヲスル考デアリマス

(異議ナシ異議ナシ) (聲起ル)

○議長(與繁二郎君) 大石正己君

(大石正己君登壇)

(拍手起ル)

○大石正己君 昨ハ政府案ニ賛成スル者デアリマスガ、此豫算委員會ニ於テ削
除シタル問題ハ多クアル、併ナガラ其最モ骨髓タルモノハ増師問題デアル、私ハ他ノ點ニ
ハ格別論及致シマヘスガ、此海軍ノ陸軍、所謂國防問題ニ付テ政府案ニ賛成スル所
以ヲ述ベヤウト考ヘテ居ル、其中國國民黨ヨリ意見ガ出テ居リマスルシ、政友會ノ諸君モ此
案ニ反對スル意見ガ出テ居リマスルカラ、先ヅ之ニ向ッテ吾ミト意見ノ異ナル點ヲ明ニシ
テ置カウト思フ、勿論國防問題ヲ政爭ノ具ニ供スベキモノデナク、純粹ニ國防問題國家
問題トシテ之ヲ研究シタイト云フ大義ヲ見ハ吾ミモ同意デアル、素ヨリ是ハ冷靜ニ研
究スル必要ガアラウト考ヘル、ソコ國民黨ノ意見トシテ出テ居ルトコロノ要旨ハ、軍備
擴張國防充實ト云フコトニ於テハ現在ノ有様ニ満足スベカラズ、否寧ロ大規模ノ擴張
ヲ要スルト云フノ趣意ヨリシテ、現在ノ兵制ヲ以テハ其目的ニ副フニ足ラヌ、更ニ別ニ
所謂經濟的軍備擴張ノ必要ガアルト云フコトヲ主トシテ此二師團問題ニハ反對スルト
云フコトヲ言ハレタ、其御趣意ハ甚ダ吾ミハ賛成デアル、成ルダケ經濟的ニ多大ノ戰闘
力ヲ備ヘルト云フコトハ頗ル御同意デアル、然レニ別ニ根本的ニ兵制ヲ改メ、サウシテ多

クノ兵員ヲ以テ國防ノ必要ニ應ズルヤウニト云フ御議論ニ至ッテハ、甚ダ吾ミハ其方法ノ
無キコトヲ遺憾ト感ズルデアル、茲ニ附言シテ曰ク、當局者ハ宜シク來年ト云ハズ直ニ
別箇ノ案ヲ立テ、其軍備擴張ノ法案ヲ提出スベシト云フノ御考デアルガ、吾ミノ見地ヨ
リスレバ軍事當局者ノ專門ノ智識ト經驗ヲ及ダゲノコトヲ今日案出シテ、此形勢ト云
フモノヲ議セラレテ居ルモノト云ハナケレバナラス、其軍事當局者ガ全力ヲ盡シ全智力ヲ
絞ッテ立テ、居ルトコロノ兵制ハ、其未ダ可ナラズト云フノ御考ナラバ、此軍事當局者
ヲ導クニ足ルダケノ具體的ノ案ヲ提出スルト云フノガ當然デアル、其案ヲ自ラ見セズシ
テ徒ラニ何カアリサウナモノデアル、何カ別ニ案ガアルベキ答デアルト云フコトヲ言ハル、ニ
至ッテハ頗ル是ハ無責任ノ議論ト言ハサルヲ得ヌ、素ヨリ國家ヲ守ルトコロノ當局者ガ
然様ナル名案ガアッテ、其名案ヲ出サレナイデ蓄ヘテ居ルト云フコトハアリ得ベカラザル事
デアル、故ニ斯ノ如キ議論ノ無イ兵制案ト云フモノハ更ニ問題トスルニ足ラヌコトデアラ
ウト私ハ考ヘル、ツレカラ政友會ノ一年延期ト云フ論據ハ、過日原政友會總裁ノ御
演說中ニ三ツノ根據ガアル、一ツハ戰後ノ形勢ニ依ッテハ國際間ノ關係ガ違フデアラウ、
モウ一ツハ此戰爭ノ結果ヨリシテ列國ノ財政經濟ノ狀態ガ違フデアラウ、モウ一ツハ國
防上ノ關係ニ何カ變化ヲ生ズルデアラウト云フ、此三ツガ基礎トナッテ此處デ二個師團ニ
賛成ハ出來ヌ、宜シク此戰局ノ終了ヲ待ツベシト斯ウ云フ御議論デアル、ツレニ加ヘテ今
日政友會ヲ代表シテ元田君ノ御演說中ニハ、露西亞ト我國ノ國交ハ日ニ親善ヲ加
ヘテ居ル、何モ此露西亞ニ向ッテ備ヘルヤウナ必要ハ無イト恰モ言フガ如キ語氣ヲ以テ、
ツレモ一理由トセラレテ居ル、此點ニ於テ私ハ同ヒタイ、戰後ノ列國間ノ形勢ニ依ッテハ
國際間ノ關係ガ云々ト云フ、此戰爭ガ濟ンダ後若クハ戰爭中ニ全ク國際間ノ關係ガ
變化セヌト云フコトハ是ハ言ハレナイ、素ヨリ今日ノ世界ノ狀態ハ十年ノ國防方針ノ一
定ノ方針ヲ趁フテ行クト云フコトハ殆ド無イト云フ位ナ今日ハ場合デアル、十年間一定
ノ方針ヲ立テ、外交ヲヤルト云フコトガ出來ヌト云フ位、世界ノ國際間ノ變化ハ餘程激
甚ナルモノデアル、然レバ此ノ戰爭後ニ於テノ國際間ノ有様ハドウ變化スルカ、ツレハ分
ラヌ、ツレガ變化ヲスルト云フコトニ於テ日本ノ二個師團ニ如何ナル影響ヲ及ボスノデア
ル、元來政友會ノ說ニ依ルト云フ、軍備擴張ハ從來歷史的ニ吾ミハ主張シ、大ニ國
防充實ト云フコトニ骨ヲ折ッテ居ル、誠ニ是ハ結構ナル歷史ヲ持タレテ居ル、軍備
擴張ニハ反對ハナイ、又國防上缺點ヲ生ジテ居ルト云フコトモ何ダカ御認ニナッテ居ル、
御認ニナッテ居ル證據ハ、政友會内閣ノ際ニモ屢、此二個師團問題、寧ロ二十五個師
團問題ニ於テ大ニ賛成ヲセラレテ居ル所ヲ見ルト、日本ノ從來ノ國防上ニ缺點ヲ生ジテ
居ルト云フコトハ認メラレテ居ル、此戰亂ガ起ラナイ前ニ既ニ日本帝國ノ國防力ニハ缺陷
ガアルト云フコトハ當局者モ明言セラレ、又政友會ノ諸君モ認メラレテ居ル以上ハ、戰
後ノ國際間ノ變化ヲ見テ二個師團ノ補充ヲ削ルト云フコトハ、如何ニモ論理ヲ得ナイ
コトデアル、戰爭ガ無イ前デスラ既ニ不足ナル兵力、戰爭ノ後ニ於テ益々兵力ノ多キヲ
要スルト云フコトハ無論ナクデアル、唯吾輩ガ妄斷的ニ斯ノ如キコトヲ言フノデアリ、歷
史ガ證據立テ、居ル、戰爭ヲシタ後ニ於テ此國防力ノ競爭ノ起ラナカッタト云フコトガ何
時アル、日清戰爭ノ後モ日本ノ軍備擴張ハヤッテ居ル、日露戰爭ノ後モ亦其通り、外國
ニ於テモ戰爭後ニ於テ互ニ衝突ヲシタ國ガ各、其國防力ヲ充實スルト云フコトニ於テ、急
速力ヲ以テ何レモ競爭ヲシテ居ルト云フコトハ事實ガ證據立テ、居ル、然ラバ此歐羅巴
戰爭ノ終局ニ至ッテ其時ノ國防力ノ競爭ト云フモノハ、非常ナル速力ヲ以テ此國防力ノ
競爭ガ起ルモノト見ナケレバナラス、是ハ國際上ノ關係ヲ見ガタメ暫ク見合ハスト云フ
議論ニ至ッテハ更ニ根據ガナイ、若シ又政友會ノ言フガ如ク歐羅巴ノ戰爭ト云フモノガ、

○議長(奥繁三郎君) 諸君、マダ賛成反對ノ通告ヲサレテ居ル人ガ十八名ゴザイマス、抑モ容易ニ終リマセヌカラ食事ノ時間モ來タト思ヒマスルデ、六時カラ一時間休憩ヲ致シマス

〔鈴木梅四郎君登壇〕
〔拍手起ル〕

〔各大臣ノ出席ヲ求ム〕ヤレ／＼大臣ヲ引張り出セ。出席ヲ要求スベシ。

「謹聽々々」大藏大臣ガ來タ。ト呼フ者アリ。

○鈴木梅四郎君 諸君私ハ吾ニ同志ノ慎重ニ調査致シマシタル此査定案ニ付キマシテ、説明ヲ補充シタイト思フノデゴザリマス、大正四年度ノ政府提出ノ豫算ヲ見マスル所デ吾ミガ之ヲ大體カラ觀察致シマスルト云フト三ツノ大ナル缺陷ガゴザリマスル（「謹聽」ト呼フ者アリ）第一ハ如何ナル缺陷デアルカト申シマスレバ、此歐洲戰亂ノ時ニ際シ、殊ニ我國ハ交戰國ノ一部ニ加ハッテ居ルト云フ、此時ニ當ッテ編成サレマシタル所ノ豫算ハ此物騒ナル時ニ當ッテ、果シテ臨時如何ナルコトガ起シテモ、ソレニ應ズルコトノ出來ルダケノ彈力ヲ有ッテ居ルカ否ヤト云フ此點カラ觀察致シシテ、其彈力ハ實ニ少ナイ（「ゼロ／＼」

ニ當ツテ居リマス之ヲ通ジテ即チ軍備ト云フ軍事ニ關係シタ所ノモノガ總テノ豫算ノ五割七八分ニ當ツテ居ルト云フコトヲ以テモ分ルデハゴザイマセカ、此ノ如キ偏武的ノ豫算ト云フモノハ平生ニ於キマシテモ、隨分是ハ國家ノ發展國富ノ増進ノ上ニ於テハ大ナル妨ケヲ爲スモノデゴザイマス、試ニ其偏武的ノ財政ノ最モ甚ダシキ一例ヲ舉ゲテ見マスレバ、農商務省ノ所管デゴザイマスル、工場法施行ノ爲ニ大正四年度ノ豫算ニ二万ナンボノ計算ガシテゴザイマスルガ、此工場法ノ施行ト云フモノハ多年稱ヘラレテアッデ、今年初メテ此議案ガ出タノデゴザイマスルガ、何故ニ今日迄是ガ出ナカッタカト云ヘバ、僅々二万餘圓ノ金スラモ農商務省所管ニ於テ之ヲ支出スルコトガ出來ナカッタ、即チ財政上

ノ都合ニテ、一、都合デタツタニ、二、何圓ノ少額ノ金ヲ支出スルコトヲ惜ムガ爲ニ、此工場法ノ提出ト云フモノガ——施行ノ原案ト云フモノガ出ナカツタノデアル、トコロデア考ヘテ見マスレバ、日本ノ工業ト云フモノハドウ云フ状態デアルカト申シマスレバ、今日此會社ニナツテ居リマスルモノダケデモ資本金積立金之ヲ合セマスルト云フト、十數億圓ノ金ヲ投ジテ工業ヲ營シテ居ル、サウシテ是ニ従事スルトコロノ職工ノ數ハ百万人以上ニナツテ居リマスカラ、此工場法ト申シマスルモノハ我國ノ工業ニ至大ノ關係ガアツテ、所謂殖産工業ノ上ニハ非常ニ重要ナ問題デアル、又一面此職工ノ方面ノコトヲ考ヘテ見マスルト云フト、社會政策ノ上カラ見マシテモ、此法案ト云フモノハナカク重要ナル所ノ問題デアル、然ルニタツタニ二圓バカリノ施行法ノ準備金ガ出來ナイト云フ爲ニ、今日迄遲レテ居ルモハ何事デゴザイマセウカ、是ガ誠ニ偏武の財政ノ我國國運ノ發展ヲ妨ゲテ居ル所ノ最モ著シイ例トシテ私ハ舉ゲルノデゴザイマス、先刻同志會ノ片岡君ニ此二個師團ノ問題ニ付テハ財源ガアル、之ヲ完成スル迄ニハ千何百万圓アレバ出來ル、ツレカラ一箇年ノ通常經費ハタツタ五百万圓デアル、實ハ七百万デアリマスルケレドモ、今日朝鮮ニ派遣致シテ居リマスル所ノ費用ガ二百万圓、既ニ今日出テ居ルカラ五百万圓ト仰シヤッタノ

デゴザイマセウガ、假リニ五百萬圓ト致シマシテモ、此ノ斯ル些々タルコロノ金額ノモノ
ガ、日本ノ財政經濟ニドレ程ノ影響ヲ及ボスカト云ッテ拵ヘ上ゲマスルニ千二三萬圓
掛カル、後トハ毎年實ニ七百萬圓宛掛カリマス、二個師團ノ計畫ニ付テハ我國ノ財政
上決シテ憂フベキ所ノモノデハナイ、誠ニ些々タルモノデアルト云フ御論ヲ爲スツノニ實ハ
私ハ甚ダ驚イタルデアル、成程五億ナシノ豫算ノ上カラ申シマシタラバ、此金ハ片
岡君ノ仰シナル通り誠ニ僅少デゴザイマセウ、併シ片岡君ハ實業家トシテ能ク工場法ノ
施行ガ我國ノ工業ニ如何ナル關係ヲ持ッテ居ルカト云フコトハ御承知デアル筈デアル、ト
コロガ其何百分ノ一二モ當ラヌ僅々二萬圓バカリノ金ガ出來ナイ爲メニ、豫算三計上ス
ルコトガ出來ナイ爲メニ、工場法ノ施行ガ今日迄遲レタト云フコトニ考ヘ及ボサレマシタ
ナラバ、此二個師團設置ト云フ爲メニ費ス所ノ此金ハ五億ノ上カラ云ヘバ少額デアル
ガ、併シ日本財政日本ノ經濟ノ上カラ云ツタラバ非常ナ大金デアルト云フコトヲ御承
知ニナラナレバナラヌト私ハ思ヒマス、斯ル次第デゴザイマセウカラシテ、私共ハ此時ニ
當ッテ最モ此國家ノ前途ヲ憂ヘマス爲メニ、諸君ニ御配付ヲ致シマシタヤウナ案ヲ立テマ
シタ、サウシテ其結果ト致シマシテハ先ヅ時局ノ内デゴザイマセウカラシテ、十分二彈力ヲ
持タセル爲ニ二千餘萬圓、此ニ剩餘金ヲ殘シテ居ルノデアリマス、即チ我黨ノ案ハ第一
ノ缺陷ヲ補フ爲ニ斯様ナコトヲ致シマシタ、ソレカラ第二ノ日本ノ財政ノ獨立ヲ圖ルニハ
ドウシカ、此點ニ付テモ外ニ方法ハナイノデゴザイマセウ、ドウシテモ是ハ我國ノ力ヲ以
テ我國ノ財政ヲ處理シテ行クト云フ見地カラ見マシレバ、先ヅ使フ所ノ費用ヲ節シテ行
カナクチャナラヌ、如何ナル少額ト雖モ之ヲ大事ニシテ使ッテ、サウシテ段々餘力ヲ拵ヘテ
借金ノアルモノハ次第ニ之ヲ償却シテ行クト云フ法案ヲ立テナレバナラヌトデゴザイマセ
ウカラシテ、此點ニ於テモ吾々モ大ニ節約ヲ加ヘタ次第デアル、是ハ此上ニモウ説明スル
必要デゴザイマセウガ、要スルニ餘程ノ決心ヲ以テ行政ヲ整理シナクチャナラヌト云フ
ノデ、型ノ如ク此見地カラ行政ノ整理ヲシタノデゴザイマセウ、ソレカラ第二ノ歐羅巴ノ大
戰大亂ガ經濟界ニ與フル影響ニ對シテノ用意、是ハデス、過日モ豫算總會ニ於キマシテ
私ハ少シク意見ヲ述ベマシタガ、此ニ簡明ニ御話致シマシレバ、此度ノ歐羅巴ノ大亂ト
云フモノハ財政經濟ノ上カラ見マシタル非常ナ大問題デアルノデアリマス、私ノ計算スル
所ニ依リマシレバ今年ノ十二月一杯迄ニ交戰國ノ使ヒマシタル金ハ百五十億、來年ノ六
月一杯ニ此戰爭ガ片付クト致シマシテ、來年又半年ニ使ヒマシタルモノガ百八十億、ソレ
カラ直グ戰鬭行為ガ中止サレテ、是カラ後トヘチヤント段々引戻スト云フノニモナカ
ノ費用年月ガ掛リマシルガ、假リニ明年十一月迄ニスツカリ兵隊ヲ引揚ゲテ元ノ如クニ
スルト致シマシテモハ箇月掛リマシルカラ、此戰爭中ノ半分ノ費用ヲ濟ムト假ニ計算致
シマシテ、九十億ト云フ金ニナル、デゴザイマセウカラ直接ニ大戰ニ依ッテ消費サレマシタル
額ハ、四百二十億ト云フ巨額ノモノニナルノデゴザイマセウ、其他戰後ノ經營直接ニ直グ
ニ入用ノ金ガマダナカクアル、此計算ハムツカシウゴザイマセウガ、先ヅ軍隊ヲ舊ノ通りデ
ナイトモ、先ヅ差向ノ急ニ應ズルガケノ恢復ヲ致シマス爲メニ致シマシテモ、各國政府ノ使
ヒマシタル額ハ少クトモ百億萬圓以上ヲ下ラヌ、ソレカラ又民間ニ於キマシテ此戰爭ノ爲メ
工場ヲ壞サレ、田畑ヲ荒サレ若クハ家屋ヲ壞サレ、其他有ユル有形的ノ損害ヲ食ヒマシ
タモノモナカク、澤山アリマス、是モ直ニ之ヲ恢復シマシタルト云フコトニ就テハ、ナカ

ノ金ヲ要スル、最モ少ナク積リマシテモ三四百億ノ金ハ此恢復ニ要スル、斯ウ云フ計算ヲ
致シマシタル此歐羅巴ノ大戰ト云フモノハ、少クトモ八百億以上ノ金ヲ確ニ消費シテシ
マフト云フコトニナルノデゴザイマセウ、諸君是ハナカク、大問題デアルト申シマスルハ、歐
洲ノ交戰國諸國ガ今日マデ持ッテ來テ居リマスル、此借リテ居リマスル公債ノ高ガ四百
億シカナイノデアアル、此四百億シカナイ公債ヲ持ッテ居ル國ガ、俄ニ其二倍以上ノ公債社
債ト云フモノヲ急ニ持ツト云フコトニナリマスレバドウデゴザイマセウカ、即チ直接ノ影響ト
致シマシテハ、外債ノ二十億ト云フモノヲ借入レテ、我國ノ財政經濟ヲ調理シテ居リマス
トコロノ我國ニ取ッテハ、由々敷大影響ヲ直ニ來スノデゴザイマセウ、此點ガ大藏大臣ト
大分距離ガ違ッテ居リマシテ、此程モ問答ヲ致シマシタガ、此二十億ノ官民ノ借金ノ中
ニ政府ノ借リテ居リマスルモノガ四千萬圓、來年三月拂フベキ答ノモノガ、ソレカラ
民間ノ時借、即チ六箇月若クハ一年ノ短期デ借リテ居ルモノガ四千萬圓弱アル、此民
間ノ分ハ先頃ヨリイロ／＼ノ工風ヲ致シマシテ、ドウヤラ借替ノ手續ガ濟ンダノデゴザイ
マスガ、併シ政府ノ來年三月ニ拂ヒマスル短期公債ノ借替ハ、マダ相談ガ出來ヌ
ト云フコトヲ大藏大臣モ明言サレテ居リマスル、併シ是モ此短期ノ債券ハ種々ニ盡力致
シマスレバ、金額モ少額デゴザイマセウカラシテ、利息ヲ澤山拂ッテ何シマスレバ、是ハ借繼
ガ出來ルデアラウト思フ、現ニ今年ノ春借替ノ時分ニハ手数料ト利息トヲ合セマシテ、五
分八厘何モ正確當デ居ルヤウニ考ヘテ居リマスガ、此度ノ借替ニハ恐ラクハ六厘以
上ニナルト思ヒマス、併シ六厘以上拂ヒマスレバ、此短期ノ證券ヲ一箇年繼續スルト云
フコトハ出來ルカモ分ラヌ、サリナガラ其翌年ニ至ッテドウデゴザイマセウ、政府ノモノモヤハ
リ此來年デケハ借繼ハ出來マスルガ、來々年ニナッテハドウデアラウカ、戰後歐羅巴ノ
如キ事ガ起ッテ、自分ノ國自分ノ商業ノ爲メニ金ガ要ルト云フ場合デゴザイマセウ、先ヅ
貸出シテ居リマスル所ノ外國ヘ出シテ居ル所ノ金ヲ回收シテ、之ニ應用スルト云フノガ自然ノ
順序デゴザイマセウカラシテ、是ハ此借繼ハムツカシイト考ヘル、縱シ全部借繼ハムツカシ
イガ、一部分ハ借繼ハ或ハ出來ルカモ分ラヌト云フヤウナ想像ヲ致シマシタ所デ、此官民
ノ八千萬圓ノ時借ト申シマスルモノハ、近キ二三年ノ間ニ全部取立テラレルト云フ覺悟
ヲ致サナレバナラヌ答ト吾々ハ考ヘルノデアリマス、此官民ノ八千萬圓ノ時借ハ二三年
ノ間ニ返サナクテハナラヌト致シマシタラバ、此爲ニ受ケマスル我國ノ財政及經濟ノ
打撃ハドウデゴザイマセウ、即チソレデケノ正貨ト云フモノハ減ツテ、兌換券ノ縮小トナリ、
物價ノ下落トナツテ、即チ商業工業ノ不繁昌ヲ來スト云フコトニナルノデゴザイマセウ、併シソ
レハ僅ニ此短期ノ八千萬圓ノ金デゴザイマシテ、段々二三年ノ間ニ之ヲ先ヅ假ニ拂ッテ
行クトシマシタ所デ、是スラモ非常ナ苦痛デゴザイマセウガ、更ニ前途ヲ考ヘマスレバ、大正
十年カラ巨額ノ公債ノ期限ガ參リマスル、是ハ大正十年ト申スト大變ニ遠イウデゴザイ
マスルカノヤウニ考ヘルハモアリマスガ、併シ財政經濟ノ上カラ考ヘマスルト、大正十年ハ
モウ眼ノ前ニ來テ居ルモノト、斯ウ覺悟ヲシナケレバナラヌノデゴザイマセウ、是等モヤハリ
貸サナイ、ドウシテモ貸サヌト云ヘバ、返サナクテハナラヌ答ノモノデアリマスカラ、此點モナ
カク、憂慮シナクテハナラヌ、今日カラ非常ニ其考ヲ持ッテ居ラナレバナラヌト云フコトハ
明白デゴザイマセウ、ソレカラ又是ハ此二十億ノ外資ニ直接ニ受クル所ノ影響デゴザイマ
スルガ、第二ニ歐羅巴ノ此大戰後此借金ノ方カラ起ル所ノ影響ハドウデアラカト云フコ

トモ考ヘナクテハナリマセヌ、即チ有史以來非常ナル大事件が起リ、經濟上今日マデ學者ノ想像セザル所ノ大變動ヲ來タシ、其戰後ハ果シテ歐羅巴ノ商工業ハ如何ニナルデアラウカト云フコトモ考ヘナクテハナラヌ、私共如何ニ研究シテ見マシテモ、斯ノ如キ大事變、大戰爭ノ後トニ商工業ガ直ニ繁昌スルト云フコトヲ見込ミマスコトハ、ドウシテモ出來ナイノデアリマス、ナゼ出來ヌカト申シマスレバ、前申シマス通り八百億近クノ公債ト云フモノガ俄ニ殖エルノデゴザイマスカラシテ、歐羅巴ノ金融社會ハ先ヅ公債ノ暴落ガ第一ニ起ルトコロノ現象デナケレバナラヌノデゴザイマス、歐羅巴各國ノ公債ノ大暴落ト云フモノガ第一ニ起リマスルトコロノ事件デゴザイマスレバ、社債若クハ株券モ之ニ隨ツテ、ヤハリ大暴落ヲシナクテハナラヌト云フコトモ自然ノ結果デゴザイマス、自然ノ事實デゴザイマス、斯様ニ金融社會ガ公債株券ガ下落致シタル時ニ、商工業ノ繁昌ガ期セラル、モノデゴザイマセウカ、私共ハ此點ニ就テハマダ疑問トハ致シテ居リマス、是カラ大ニ研究ヲシテ見ヤウトシテ居ルノデアリマスガ、併シ唯今考ヘテ居ル所ニ致シマシテモ、商賣ノ大ニ繁昌デナイト云フ事デケハ、茲ニ明言スルコトガ出來ルト云フコトヲ信ズルノデゴザイマス(「簡單々々」長クヤリ給ヘ)「大イニヤルベシ」ト呼フ者アリ(斯様ニ致シマシテ、即チ歐羅巴ノ商工業ガ繁昌セヌト致シマスレバ、此繁昌シナイ爲ニ我國ノ商工業ノ受ルノ結果ハドウナルカ、是ハ私ガ詳シク説明致シマセヌデモ諸君御了解デゴザイマセウ、我國ノ外國貿易ト云フモノガ如何ナル影響ヲ受ルカ、外國貿易ガ影響ヲ受レバ我内地ノ商工業ガドウ云フ影響ヲ受ルカト云フコトハ、賢明ナル諸君ハ此處マデ御話致シマスレバ十分御了解デアラウト思ヒマスカラ、此以上説明ハ致シマセヌ(「説明ヲシ給ヘ」説明ガ出來ナイダラウ)ト呼フ者アリ(斯様ニ致シマシテ我國ノ今後ノ財政經濟ト申シマスルモノハ、非常ナ注意、非常ナ用心ヲシテ掛ラナケレバ非常ナ難關ニ陥ルト云フコトハ明白ノコトデゴザイマス、斯様ニ吾々ハ考ヘテ居リマスル爲ニ、大藏大臣ニ向テモ屢々質問ヲ致シマシタガ、大藏大臣ハヤハリ非常ナ樂天的デアツテ、是等ノコトニ就テハ殆ド御考ニナツテ居ラヌカノ如ク、新ニ借入レルモノデアラナラバワレハ非常ニムヅカシカラウケレドモ、既ニ借リテ居ルモノデアラカラシテ此金ノ借換ヲスルコトハ困難デアアラウケレドモ、サウ悲觀シタモノデアナカラウト云フヤウナ、マルデ私共ノ考トハ違フ所ノ御考ヲ持ッテ居ラシタル、是ハ決シテ此議會バカリノ問題デアナイト私共考ヘル、第三ニ歐羅巴ノ戰爭ノ爲ニ起ル經濟上ノ大變動ニ對スル問題ト云フモノハ、是ハ世界ノ人ノ大ニ考ヘテ研究シテ行ク問題デアルト同時ニ、我六千万國民ガ十分ニ研究シテ之ニ應ズルノ策ヲ立テナケレバナラヌ、是ハ大問題デアルト云フコトヲ私ハ此處ニ絶叫スルノデゴザイマス、斯様ナ見地カラシテ私共ハ此御覽ニ入レマシタ通り豫算ヲ立テマシテ、先ヅ儉約ヲ致シマシタル金ハ時局中デハゴザイマスケレドモ、民力休養國富増進ノコトヲ第一ト致シマシテ、最モ今日困難ノ農業家ニ對シテ、即チ田畑地租五厘減ノ提案ヲ致シタルハ即チツレガ爲デゴザイマス、ツレカラ又商工業者ノ最モ惡税トシ最モ苦シンデ居リマス所ノ營業税、是モ全廢シテ即チ商工業家ノ負擔ヲ輕クシテ、大イニ商工業ヲ發展セシメムコトヲ努ムル、ツレカラ鹽專賣ヲ廢シマスルコトハ、是ハ農業家、工業家、商業家ノ外ノ社會ニ多數ヲ占メテ居リマス所ノ下級ノ人々、貧乏ノ人ニ對シテ大イニ其負擔ヲ輕メヤウト云フ——大イニ云フ譯ニハ行キマセヌガ、此鹽專賣デモモッテ其負擔ヲ輕クシヤウト云フ案デアリマス、鹽ノ

コトハ諸君ノ中ニハ輕ク御覽ニナツテ居ルヤウニ思ヒマスカラ一言ノ説明ヲ要シマス、鹽ハ御承知ノ通り富メル者モ貧シキ者モ一日モ是レ無クテハ生活ガ出來ナイ、恰モ水ヤ空氣ト同様ニ必要ノモノデアアル、殊ニ勞働者即チ貧乏ノ人ニ對シマシテハ最モ大事ノモノデアアル、富メル人々富裕ナル人々ハ其生活ノ上ニ就テモ有ラユル食物ヲ攝リマスカラ、鹽其モノヲ直接ニ多ク攝ラナイデモ生活ハ出來ルノデアリマス、ケレドモ勞働階級ノ人、下等ノ人ニ至リマシテハ左様ナ生活狀態デアリマセヌカラ、此鹽ヲ要スル分量ガナクノ多イ、直接鹽ヲ要スルモノハナカク、多イ、所ガ今日日本ノ鹽專賣ハドウカト申シマスト非常ニ不都合ノモノニナツテ居ル、即チ關東州デ製鹽ヲ致シマスレバ百斤十七八錢デ普通ノ鹽ハ出來ル、臺灣デ採ヘマシテモ百斤二十錢内外デ出來ル、所ガ我國ノ鹽專賣法デハ斯様ナ安ク出來ル所ノ鹽ヲ僅ニ一割位シカ買入レナイ、サウシテ百斤一圓以上掛カリマス所ノ(「誰モ聽イテ居ナイヨ」ト呼フ者アリ)鹽ヲ買入レマシテ、サウシテ國庫ガ八百万圓ノ儲ケヲシマス爲ニ——收入ヲスル爲ニ此細民ニ非常ナ苦痛ヲ與ヘ鹽ノ高イト云フコトヲ來シテ居ル、斯ウ云フ結果デゴザイマスカラ、此鹽ヲ安クスルト云フコトハ社會政策ノ上カラ申シテモナカク、重要ナル問題デアル、況ヤ此鹽ノ高イ爲ニ曹達工業ナド、云フモノガ起ラヌ、又漁業ト云フヤウナモノモ之ガ爲ニ發達ヲ妨ケラレテ居ル、斯ウ云フヤウナ見地カラシテ此鹽專賣ト云フコトハ之ヲ廢シマシテ、鹽ヲ安クスルト云フコトハ最モ急ヲ要スルモノトシテ之ヲ廢スル、即チ先ヅ時局中デゴザイマスカラシテ、此二稅デケラ廢シマシテ民力休養ヲ致シ、後トノ參千餘萬圓ハ第一ノ缺陷、即チ時局ノ如何ナル變ニ對シテモ彈力アツテ相當ノコトノ出來ルゲケノ餘力ヲ蓄ヘテ置ク、斯ウ云フ見地カラ斯様ナ案ヲ提出シタルデゴザイマス、デ私共ノ案ハ左様ナ見地カラ立テマシタルデゴザイマスガ、更ニ茲ニ一言ヲ加ヘテ置キタイノハ、是マデ壇上ニ立タレタ諸君ハ二個師團問題ニ就キマシテハ、殆ド知ラザル如キ態度デ御論ジナツテ居ル、是ハ大イナル間違デアル、即チ今日ノ歐羅巴ノ實際ニ考ヘマシテモ、何處ノ國デモ自分ノ力ヲ以テ戰ツテ居ル外國カラ金ヲ借りテハ戰ハナイ、ツンナコトハ出來ナイカラシテ居ル、デ此我國ノ今日ノ財政狀態ハ如何ニ陸軍ガ充實シテ居リマシテモ、陸軍ガ立派デアリマシテモ、實際之ヲ働カセルト云フコトハ事實ニ於テ出來ナイデアアリマセヌカ、少シ滑稽ノコトデゴザイマスガ、近頃歐羅巴ハ兵隊ヲ送ルト言ハレル、歐洲出兵期成會ナルモノガ出來マシテ、吾々ニモ其案内ガ來マシタガ、其中ニドウ云フコトガアルカト云フト、金ノ問題ニ行詰ッタト見エテ此際三四十億ノ外債ヲ募ツタラ宜カラウト云フヤウナコトガ「プログラム」中ニアリマシタ、今日歐羅巴ノ出兵ナド、申シマスル事ハ、是ハ一ノ滑稽のノ話デゴザイマスガ、併ナガラ我國ハ英國ト攻守同盟ヲ致シテ居リマス此際デゴザイマスカラ、是ハ假定デゴザイマスケレドモ、假ニ土耳其ガ獨逸ト協同ヲ致シマシテ或策略ヲ以テ英領印度ノ土民ト結ンデ、英領印度ニ騷亂ヲ起シタルコトガアツタト假定シタルバトウデゴザイマセウ、今日ノ我國ハ同盟條約ノ精神ニ基イテ斯様ナ方面ニ禍亂ガ及ビマシタルバ、イヤデモ應デモ同盟ノ義務トシテ出兵ヲシナケレバナラヌデアリマセヌカ、是ハ萬々アリマスマイ、併ナガラ同盟條約ヲ結ンデ居ル以上ハ、印度ニ斯様ナコトガ起ツタナラバ直チニ出兵ヲシナケレバ同盟條約ヲ實行スルコトガ出來ナイ、所ガ今日ノ財政狀態デハ斯様ナコトガ起ツタシテモ、之ニ應ズル

コトが出来ルヤ否ヤ、所謂此歐洲出兵期成同盟會ノヤウニ三四十億ノ外債ヲ募ラナ
ケレバナラナイコトニナル、斯様ナコトが果シテドウアルカ、即チ此兵備ノ充實ヲ論ズル
ト同時ニ、國力ノ充實ヲ論ジナイ所ノ論ハ、殊ニ片輪ナ論デアリマシテ、詰ル所行フコト
ノ出来ナイ論デアルデアリマス、私共ハ財政ト軍備ト云フモノハ車ノ兩輪、鳥ノ雙翼ノ
如ク行カレバナラナイ、吾々ハ此趣意ニ依テ此査定案ヲ提出シテ次第デゴザイマス、
吾々ノ此案ヲ實行致シマスレバ確ニ出来ルコト、信ズルデアリマス、終リニ臨ミマシテ大
石君ニ一言申上ゲタイ、大石君ハ先刻此壇上ニ於ケレマシテ我黨ノ二個師團問題ヲ
排斥スル、經濟的軍備充實ノ案ニ對シテ斯様ニ言ハレマシタ、唯斯様ニシタラバ宜カラ
ウト云フコトデ實際ノ提案ヲサレナイデアルカラ、是ハ問題ニナラヌト云フヤウナ御話デ
ゴザイマシタガ、是ハ大石君ハ或ハ甚ダ此問題ヲ能ク御承知ニナラナイカラ、斯様ナ疑
問カ起ルノデラウト思ヒマス、御承知ノ通り我國ノ狀態ハ軍備ト云フモノニ付キマシテ
ハイロノナ茲ニ秘密ヲ要スル——我國バカリデアリマセヌガ、秘密ヲ要スル問題
ガアルノデ、吾々ノ持テ居ルトコロノ提案ヲ議會ニ出シマシテ之ヲ討論スルコトが出来ル
性質ノモノデアルヤ否ヤ、第一是ガ甚ダ了解ニ苦ム、吾々ハ多年調査ヲ致シマシテ、慥カニ
案ヲ有テ居ル、有テ居リマスカラ、殊ニ此軍備上ノコトニ付キマシタハ、秘密ヲ要ルノデ
ザイマスルカラシテ、斯様ナトコロニ出シテナカノ公ニ之ヲ論議スル譯ニ行カヌ、ソレ故ニ昨年
國防會議ノ提唱ヲ致シマシタ、此國防會議ノ提唱ヲ致シマシタノハ、即チ國家ノ重要
問題デアルトコロノ兵備問題ヲ議スルニハ、特殊ノ所謂機關ヲ拵ヘテ、此處デ政府ノ當
局者、軍事當局者ト共ニ、所謂秘密ヲ守ルベキモノハ秘密ヲ守リ、之ヲ相談シテ極メ
ヤウ、斯ウ云フ提案ニナッテ居ルノヲ以テ見マシテモ分ルデアラウ、殊ニ軍ノ編成ニ付テハ
天皇ノ大權ニ屬スルコトデモゴザイマシテ、衆議院ニ直ニ斯様ナコトガアルト云ッテ提出
ノ出来ナイト云フコトハ、克ク御考ヘニナッテ解ルコトデアラウト思ヒマスカラ、大石君ノ
彼ノ言ハ全ク軍事ノ狀態ヲ御承知ノナイ言ト私ハ信ズルノデゴザイマス（拍手起ル）ソレ
カラ更ニ田川君ニ一言ヲ呈シマス、田川君ハ我國民黨ハ近來軍備擴張論者ニナッテ
云フヤウナ御話デ、從來カラノ議論ヲ此時局ニ付テ改メタト云フヤウナコトヲ仰セラレマシタ
ガ、併シツレハ田川君ノ全ク誤リデゴザイマス、吾々ガ此經濟的軍備充實論ヲ唱ヘテ居
リマスノハ近年デナイノデ、是ハ犬養君ノ公ニサレマシタコロノ意見モ澤山ゴザイマシテ、
現ニ今日デハ書物ニナッテ居ルモノモ澤山ゴザイマスカラ、ソレ等ヲ御覽ニナッテカラスカ
間違ッテ御考ハ出来ナイコトデアラウト思ヒマス、決シテ吾々ハ近年此時局ニナッテカラスカ
ナコトヲ申スノデナイト云フコトデアラウ御承知ヲ願ヒタイ、是ダケノコトヲ申上ゲテ置キマス
（拍手起ル）

○議長（奥繁二郎君） 早速整肅君

○早速整肅君 登壇ノ前ニ私ハ御尋ラシタイコトガアル、豫算委員長ニ御尋ラシテ見
タイ、先刻田川君ノ御尋ニ對シテ豫算委員長カラ何カ訂正ノ動議が出タヤウニ伺ッダノ
デアリマスガ、アレハ何デアリマスガ、ソレヲ確メテ置キタイ

○大岡育造君 御答致シマス、先刻本員ガ豫算委員長トシテ報告ヲ致シマシタノハ、
豫算會議ニ於テ決定シタルトコロヲ報告ヲ致シタノデアリマス、而シテ或ハ豫算委員長ノ
數字上ノ組立ノ誤リデナイカト考ヘテ調ベテ見マシタラ、是ハ分科ニ於テノ議論ヲ以テ

アノ算數ヲ組マレモデアリマスノデ、私委員長トシテ之ヲ誤リトシテ取消スコトハ出来
マセヌカラ、別ニ一個ノ本員ノ意見トシテ政府ニ於テ三千万圓ノ減債基金ヲ据エテ居
ルノヲ、五千万圓トシタイト云フ意味デ決シタノデハアルケレドモ、政府ニ於テ之ニ同意
ヲシテ、自ラ五千万圓ヲ求ムルノ方法手段ヲ取ルニ非ザレバ、議院トシテ増額ノ豫算ノ
組ミヤウガアリマセヌカラ、據ナイ次第トシテ別ニ訂正ノ動議ヲ出シタノデアリマス、即チ此
場合ニハ原案ノ儘デ置クガ宜シイト云フコトヲ明ニスルデアリマス

○早速整肅君 チョット御尋ラ致シマスガ、先刻井上君ノ演說中ニアヤマルトカアヤマ
ラナイトカ云ッテ報告サレタノハ、ソレハ唯井上君一個ノコトナシテ、別ニ此豫算ノ修正ト
カ何トカ云フコトニハ關係ナイノデアリマスガ、大岡君ノ今別ニ動議ヲ出サレタト云フコト
ト、井上君ノ述べラレタコトハ何等關係ハナイノデアリマスガ

○議長（奥繁二郎君） アリマセヌ

○早速整肅君 甚ダ御手數デアリマスガ、其動議ト云フモノガ出テ居リマスレバ、一般
ノ參考ノ爲ニ私共登壇ヲ致シテ議論ヲ致ス便利ノ爲ニ、御報告ヲ願フ譯ニ行キマセヌカ
○議長（奥繁二郎君） 此動議ハ今直ニ討論ニ付スル譯デアリマセヌガ、他ノ豫算案
ニ付テ其討論ノ便利デアルガ爲ニ、聽カシテ與レト云フ要求ガアリマスカラ、之ヲ朗讀シ
テ報告致シマス

（書記朗讀）

大正四年度歳入歳出總豫算歳出經常部第十五款國債整理基金繰入金一億二
千三百六十五万九千六百二十八圓ヲ金九千三百六十五万九千六百二十八圓
ト修正シ又同年度各特別會計歳入歳出豫算大藏省所管國債整理基金歳入第
一款國債整理基金收入一億七千五万九千九百九十九圓ヲ一億四千五万九千九百九十九圓
ト修正シ及同歳出第一款國債整理基金支出一億七千五万九千九百九十九圓ヲ一億
四千五万九千九百九十九圓ニ修正シタルハ減債基金五千万圓ヲ維持スルノ精神ニ出テ
ルモノニシテ該修正ハ形式上穩當ナラスト認ムルヲ以テ之ヲ訂正シ原案ノ通りトス
ル事

右提議候也

大正三年十二月二十五日

提出者 大岡 育造

賛成者 小川 平吉 川原 茂輔

（早速整肅君登壇）

（拍手起ル）

○早速整肅君 諸君、私ハ豫算委員長ノ報告ニ反對ヲシテ政府案ニ賛成ヲ致ス者
デアリマス、財政ノ前途ヲ如何ニスルカト云フコトニ付テ、前刻政友會ノ井上角五郎君
ノ意見ヲ詳細ニ承ッダノデアリマス、井上君ガ長ク時間ヲ費シテ述べラレマシタ政友會ノ
財政論ナルモノヲ承ハリマシテ、私ハ實際ニ於テ其矛盾ノ甚ダシキニ驚カザルヲ得ナイ、
財政ヲ如何ニスルカト云フコトハ固ヨリ重要ノ問題デゴザイマス、井上君モ重要ノ問題
タルコトヲ認メテ、此重要ノ問題ニ付テ長イ時間ノ間演說ヲ盡サレタノデアリマス、併

シ財政ノ前途ヲ如何ニスルカト云フコトニ付テハ、ヤハリ井上君ニ於テモ別段御成案ハナ
イノデアル、謂ハバ唯現在ノ財政ノ儘ニ之ヲ維持スル、現行通りニ之ヲ維持スルコト云フ
御説デアツテ、如何ヤウニ此財政上ノ改革ヲ遂ゲテ行カケレバナラヌト云フコトニ付テハ、
少シモ井上君ノ御意見ヲ伺フコトが出来ナイ、前途財政ノ整理ト云フコトニ付テハ隨
分長イ間ノ問題デアリマシテ、勿論今日ニ始マツタ問題デハナイ、日露戦争ノ後ニ於テ
所謂戦後ノ經營ヲ誤リタルモノアルガタメニ、日本ノ財政ガ大ニ紊亂シテ之ヲ整理シ
ナケレバナラヌト云フコトハ實ニ多年國民ノ間ノ議論デアツタ、此點ニ付テハ政友會ノ諸
君モ前年來ヤハリ此財政整理ノ必要ハ十分ニ之ヲ認メテ始終之ヲ唱ヘテ居ラル、歴代
ノ内閣何レモ皆此財政整理ノ必要ヲ唱ヘテ居ル、之ヲ唱ヘナガラ實際ニ行フ其方法如
何、實際ニ行フトコロノ財政政策如何ト云ヘルコトハ、今日ニ至ル迄ノ問題ニナツテ居ル
ノデアリマス、勿論私ハ今日ノ内閣ガ此財政ノ政策ヲ樹テ其財政ノ政策ガ悉ク宜シ
ト云フコトハ私ハ申サナイノデアル、問題ニナツテ居ル豫算ノ中ニモ私モ不満足ヲ唱ヘナケ
レバナラヌ點ハ頗ル多イノデアリマス、唯大體ニ於テ——大體ニ於テ——前内閣ノ
施シタリシ財政計畫ト比較致シマスレバ、私ノ財政整理ノ眼ノ上ヨリ今日提出ニナツ
テ居ルトコロノ此豫算ノ計畫ト云フモノニ同意ヲ表セザルヲ得ナイ、私共考ヘマスルニ此
前年來ノ財政紊亂ト云ヘルコトニ付テノ原因ハ是ハ固ヨリ一ニシテ足ラナイノデアリマス
ケレドモ、其最モ大ナル原因ヲ求メマスレバ、私ハ政府ガ公債政策ヲ誤ツタト云フコトガ
其主ナル原因デアツタト想像ヲ致スノデアリマス、世ニ所謂借金政略、此借金政略
ト云フモノニ依頼シテ、殊ニ外債政策ニ依頼シテ、種々ノやり繰リヲナシ來ツタト云フ
コトガ我が財政ノ紊亂ヲ招キタリシ最モ大ナル原因デアルト私ハ考ヘル（其通り）「君
ノ謳歌スル若槻君」ト呼フ者アリ、前ノ大藏大臣高橋是清君ノ如キ、何時デモ此
財政上ニ外債ヲ募集スルコト云フコトヲ常ニ口ニシ、又之ヲ實行セシメテ居ラレタ、外
債ヲ以テ財政ノ基礎ヲ固クスル、外債ヲ以テ經濟上ノ救済ヲ行フト云フガ如キ議
論スラモ、高橋前大藏大臣ノ口カラ私共承ツテ居ツタ、私ハ外債ガ國ヲ亡ボストハ申
シマセヌケレドモ、日本ノ今日ノ如キ財政經濟ノ状態ニ於テ、此以上ニ外債ヲ募集ス
ルト云フ前ノ内閣ノ方針ノ如キハ、全ク我國ヲ誤ルモノデアルト斷言ヲ致シタイノデ
アル（「ヒヤ／＼」ト呼フ者アリ）獨リ外債ノミデハゴザイマセヌ、財政ノ整理ヲ完ウセ
ズシテイロ／＼借入金トカ何トカ云フ名ノ付イタル此公債政策ニ依リマシテ財政ノ瀾
纏ヲスルト云フコトハ、我經濟ノ前途ヲ顧ミルニ實ニ私ハ懼レザルヲ得ナイ、從來日本
ノ此經濟上ニ變化ヲ來シ、兌換券ガ膨脹シテ物價ガ騰貴ヲ致シ、サウシテ貿易ノ上ニ
於テモ所謂輸入超過ト云ヘル逆潮ヲ現出スルコト頻々タリシハ、其原因固ヨリ一ニ
シテ足ラナイノデゴザイマセヌ、ケレドモ多クハ是レ徒ラニ外債ヲ募集ニ依頼シタ結果デ
アルト斷言致サナケレバナラヌ、是ガタメニ吾々ハ滿堂ノ諸君ト共ニ——政友會ノ諸君モ
常ニ正貨ノ問題ニ就テハ大變ニ憂ヘテ居ラル、ノデゴザイマスルガ、國民皆日本ノ正貨
問題ノ前途ヲ如何ニスルカト云フ點ニ就テハ非常ニ憂慮ニ堪ヘナイノデアル、此正貨問
題ヲ如何ニスルカト云ヘルコトモ押詰メテ見レバ其主ナル原因ハ彼ノ外債政策ニ基因シ
テ居ルト私ハ信ズルノデアリマス、此故ニ歷代ノ内閣何レモ皆口ニハ非募集ト云フコトヲ
唱ヘテ居ル、數年前ニ於テ非募集主義ヲ標榜セラレタ内閣ニハ、諸君ガ妥協ノ名ノ下

ニ賛成ヲシテ居ラレタデアリマセヌカ（拍手起ル）是ハ即チ政友會ノ諸君ト雖モ募集債ガ
國ヲ過マルト云フコトヲ承認セラレタ何ヨリ證據デアル、唯奈何セン、口ニ非募集債ヲ唱
ナガラ實際ニ於テ此非募集債ノ跡ヲ絶タナイ、例ヘバ桂内閣ノ當時非募集債政策ヲ標榜シ
テ立チナガラ、實際ニ於テ非募集債ノ實ヲ舉ゲナカツタト云フコトハ、諸君ト共ニ私共ノ大イ
ニ遺憾トシテ居ル、此點ニ就テハ現在ノ若槻大藏大臣ハ其責任ヲ分タナケレバナラヌ
デアリマス、斯ノ如クシテ非募集債ハ財政ノ整理ヲ施ストコロノ第一ノ手段ナリト認メラ
タルニ拘ラス、今日ニ至ル迄何レノ當局者モ實際ニ於テ此非募集債主義ヲ厲行シタモノ
ガナイノデアル、財政ノ整理スルヲ稱シナガラ非募集債主義ヲ厲行スルコトが出来ナイト云
フコトハ、誠ニ我國民ノ慨嘆措ク能ハザルトコロデハゴザイマセヌカ、然ルニ今一回内閣ガ
計畫シタコロノ財政、此豫算ノ上ニ就テ見テモ私ハ凡テテ満足ナリト云フノデアリマ
セヌ、ケレドモ免ニ角非募集債主義ヲ厲行スルコトヲ精神ノ下ニ、斷然名實共ニ借金
政策ノ跡ヲ絶シテ居ルト云フコトハ、財政整理ヲ行フト云フ眼ヨリ見テ私ハ誠ニ現内
閣ノ英斷デアルト斷言ヲ致スノデアリマス（「何ヲ云フ」「默レ」「謹聽シロ」ト呼フ者アリ）
私ハ國債整理基金ノ繰入ヲ減少シタト云フコトニ就テハ、私ハ尙其多クヲ望ムント欲ス
ルモノデアル、實ハ國債整理基金ノ現金五千萬元ヲ年々償還スルコト云フ點ニ就テハ私
ハ此五千萬圓償還ノ全部ヲ撤廢シテ償還ヒタイ位ノ意見ヲ持ツテ居ル、所謂自由償還
方ニ依テ此償還ヲ行ハンコトヲ希望スルモノデアリマスガ、併シ免ニ角吾々ノ希望ニ近
イテ此現金償還ノ金額ヲ二千萬元マデ減シタト云フコトハ、即チ政府ガ展々大藏大臣
ノ口ヨリ辯明セラレマシタル如ク、右ノ手ニ公債ヲ償還シテ左ノ手ニ公債ヲ募集スルト
言ヘルガ如キ間違ツタル計畫ヲ排セムガ爲ニ、斯様ナル手段ニ出デタノデアル（拍手起ル）
私ハ前ノ内閣ガ——前ノ内閣ガ一方ニ於テハ公債償還ヲシナガラ一方ニ於テハ高利
息ノ公債ヲ募集スルコト云フ、斯様ナル矛盾ナル行ヒヲ爲シタリシ前内閣ノ大藏大臣ノ
如キハ、我國ニ對シテ非常ナル禍ヲ貽シタモノデアルト斷言スルノデアル（拍手起ル）此點
ニ付テハ減債基金制度ヲ改正シ、一方ハ特別會計法ニ改正ヲ加ヘ、又一方ハ治水ノ特
別會計ヲ廢止セムトスガ如キハ、全ク借金政策ノ跡ヲ絶タムトコロノ財政整理上
ノ一大計畫デアルト云フコトヲ記憶シナケレバナラヌデアリマス（拍手起ル）「聽イテヤ
ラヌゾ」ト呼フ者アリ、井上君ハ頻リニ大藏大臣ニ喰ツテ掛ツテ、大藏大臣ガ確實ノ歲入
言ツタケレドモ、確實ノ歲入ハ何カト云フコトヲ昨日以來御答メニナツテ居ル、即チ浮
計算ニ依ラズシテ比較的確實ナルモノヲ以テ支辨スルコト云フノガ、確實ナル收入ト云フ
意味デアラウト私ハ思ツテ居ル、一方替ヘルコトが出来ルカ出来ナイカ、借ルコトが出来
ルカ出来ナイカ、分ラナイトコロノ此借金ト云フモノヲ當ニシテ、ツレデ以テ財政上ノ計畫ヲ
立ツルト云フコトハ此位不確實ナルコトハナイ（拍手起ル）是モ時代ニ依リマスレバ少シモ
差支ハゴザイマスマイガ、今日ノ如キ時機ニ際シテ——今日ノ如キ時代ニ際シテ井上君ハ
如何ニシテ此公債ヲ募集スルコトヲ敢テセムトセラル、ノデアリマスカ、勿論時局ノ關係モ
ゴザイマスルガ、今日ノ如キ時局ニ至ラズトモ、公債ハ何レニ於テ之ヲ募集セムトスルノデ
アル、公債ハ如何ナル條件ニ依ツテ之ヲ募集セムトスルノデアル、斯ク申シマスレバ政友會
ノ諸君ハ公債ハ募集セズトモ、或レ遺線ノ算段ニ於テ十分ニ策ヲ立ツルコトが出来ルト云
フ御説ヲ御述ベニナルカハ知リマセヌケレドモ、政府ガ今日計畫シタコロノ案ヲ外ニシ

テ、如何ニシテ公債ヲ募集セズシテ此財政ノ調理ヲスルコトガ出來ルノデアリマスカ、預金部ノ金ヲ使フコト云フ此遺線ノ姑息ノ算段ヲ口ニセラル、ガ如キコトハ、此實際ニ於テ財政ノ狀況ヲ知ラザル者ノ言アル(拍手起ル)政友會ノ内閣ノ當時大藏大臣ニ對シ高橋君が何時デモ此外債ヲ口ニシ、外債ヲ以テ國ヲ富マスト云フガ如キ論ヲセラル、ノデアリマス、或ハ今日ノ政友會ノ諸君モ外債ノ夢ヲ見テ居ラル、カ知リマセヌケレドモ、私共ノ考ヘルトコロニ依レバ、ドウシテ今日ニ於テ外債ヲ募集スルコトノ話デナイ、追々拂ッテ行カナケレバナラヌ外債ヲ、諸君ハ如何ニシテ之ヲ支拂ヒヲセラル、ノデアリマスカ、尙是レ以上借金政策ヲ打續ケテ、是レ以上借金ニ依ッテ財政ノ調理ヲ計ラントセラル、ト云フコトハ、私ハ政友會諸君ノ實ニ淺慮ナルヲ感レマザルヲ得ナイ(拍手起ル)要スルニ此財政ノ根本ノ計畫ハ非募債主義、借金政策打切りヲ主義トシテ編成ヲセラルニシテ豫算デアリマスカ、此點ニ於テ私ハ満足ヲスル、此點ニ於テ今年ノ豫算ニ贊成ヲスルノデアリ、勿論財政上ノ整理ヲ施サンガ爲ニハ尙一層ノ努力ヲ要スルモノガアル、即チ現内閣モ此以上大ニ行政財政ノ整理ヲ努メラル、ガ宜シ、又之ヲ努メラル、意思デアルト云フコトハ、私ノ信ヲ疑ハナイトコロデアリマス、ケレドモ先以テ茲ニ非募債主義ヲ確立ヲ致シテ借金政策ヲ打切ルト云フコトヲ斷行シタト云フコトハ、財政整理ノ上カラ申セバ實ニ一大英斷デアルト言ハナケレバナラヌデアアル(拍手起ル)若シ政友會ノ諸君ガ言ハル、ガ如ク相變ラズ借金政策ニ依ル、金が無ケレバ預金部ノ金ヲ使フコト云フガ如キ、左様ナル姑息ナル手段ニ依ラル、ナラバ、政友會ノ諸君、殊ニ井上君ガ此間口ニ豫算ガ彈力ガナイトカ薄弱トカ言ハル、此薄弱ガ一層甚シキヲ加ヘルト思フ、此姑息ノ手段ニ依ッテ財政ノ調理ヲスルコトニ相成リマセバ、財政ノ基礎ハ益々薄弱ニ陥ルデアラウト私ハ思フテ居ルガ故ニ、政友會ノ諸君ガ此減債基金ノ制度、並ニ鐵道特別會計治水費ノ特別會計ニ關スル、此豫算ノ計畫ニ反對セラル、ノハ實際ニ於テ無責任ノ話、實ニ亂暴極マル修正デアルト私ハ思フテ居ル(拍手起ル)是ハ井上君ガ前刻來政友會ヲ代表シテ頻リニ御述ベニナタタトコロニ對シテ、私ハ其間違リテ居ル無責任ノ議論デアルト云フコトヲ表明シタ止マルノデアリマス、併シ今同ノ豫算ニ付テ問題ニスベキトコロハ、私ハ寧ろ此點ニ在リハシナイカト思フテ居ル、若シ夫レ師團増設問題ニ反對セラル、諸君ノ理由ノ如キハ、私ハ謹シテ拜聴ヲ致シタノデアリマス、併シ是ハ理由トシテ殆ド信ズルニ足ラス、私ハ此點ニ付テハ餘リ深ク申シマス、同様ノ同志カライロ、議論ノアフタ後デゴザイマス、要スルニ政友會ノ諸君ノ如キハ政治問題ニ對シテ正面ヨリ反對スベキ理由ヲ持ッテ居ラル、何等ノ根據モナク、唯己レノ一身ノ爲ニ反對スル、或ハ又己ノ黨情ノ爲ニ反對スル、唯徒ラニ反對セムガ爲ニ反對ヲセラル、ノデアリマス(拍手起ル)其反對ノ理由トシテハ殆ド何等ノ根據モナイト云フコトヲ私ハ申上ゲルノデアアル(ヒヤ、ヒヤ)ト呼フ者アリ)増師案ニ對シテ反對ヲセラル、中ニモ、國民黨ノ諸君ノ如キ反對ノ理由ナラハ稍、之ヲ、之ヲ首肯スルニ足ルノデアアル、併ナガラ政友會ノ諸君ハ歴史ノ上ニ於テモ増師ニハ反對デアアル、又贊成デアアル、又贊成スベキ意思ヲ有シテ居リナガラ、唯徒ラニ事ヲ構ヘテ之ニ反對ヲスルト云フコトハ、私ハ大政黨ノ態度トシテハ洵ニ憐ムベキモノナリト斷言ヲ致シタト思フテ居ル(拍手起ル)國民ニ對シテ——國民ノ多數ニ對シテ諸君ハ如何ナル辯明ヲナサル、カ知ラナイノデアリマス、歴史上

ニ於ケル政友會ノ地位ヲ如何セム、今日以後ニ於キマシテハ諸君ハ此増師ニ對スル意見ノ變更ヲセラル、カハ知ラナイノデアリマス、ケレドモ、是モ亦大政黨タルトコロノ態度ト致シマシテハ、私ハ寧ろ諸君ノノメニ之ヲ惜ムモノデアアル、要スルニ私ハ此財政ノ計畫ノ根本ニ對シテ、政友會ノ諸君ガ反對ヲセラル、コトノ亂暴ナルコトヲ指摘シタノデアリマス、更ニ此處ニ提出セラレタルトコロノ動議ニ關シテ簡單ニ一言ヲ致シテ置ク必要ガアルト思フ(譁聲々々)ト呼フ者アリ)

○議長(與繁二郎君) 勸議ハマダ問題ニナツテ居リマセヌ

○早速整肅君 然ラバ此動議ガ問題ニナリマシタ際ニハ、別ニ私ハ發言ヲ致シテ此動議ノ誤マレコトヲ申上ゲヤウト思ヒマス、私ノ議論ハ之ニ止メマス(拍手起ル)

○議長(與繁二郎君) 鵜澤總明君

(法學博士鵜澤總明君登壇)

(拍手起ル)

○法學博士鵜澤總明君 諸君、唯今ニ至ルマデ政府案ニ贊成ノ種々ナル説明ヲ承リマシテ、私ハ此衆議院ノ建物ノタメニ、吾々ハ世界ノ大勢カラ掩ハレテ、恰モ舊來ノ議會ヲ此處ニ續ケテ居ルヤウナ感ヲ致シタノデアリマス(拍手起ル)本員ハ現内閣ノ成立ノ當時ニ方リマシテ、實ニ大ナル望ヲ囑シテ居タ一人デアリマス(ドウダカ)ト呼フ者アリ)何トナレバ高遠ナル理想ヲ以テ天下ヲ指導セラレマシタトコロノ大隈伯、言論界ノ明星ヲ以テ鳴ッテ居リマシタトコロノ吾々ノ僚友、是等ノ人ニ依ッテ組織セラレマシタトコロノ現内閣デゴザイマス、カラシテ、願クハ新ナル空氣ヲ以テ我帝國ノ政治ノ上ニ一大革新ヲ與ヘテ與レルモノデアルト云フコトヲ望シテ居タノデアリマス(拍手起ル)而シテ是ト同時ニ我帝國ガ殆ド百歲稀三見ルトコロノ歐洲ノ大戦亂ニ參加スルニ至リマシテハ、帝國ノ地位ハ全ク一變シテ、之ニ依ッテ我内閣諸公ハ必ズ此新ナル地位、新ナル氣運ニ乘ズルトコロノ總テノ計畫ヲ立テラレテ、吾々ニ臨ムコトデアルト云フコトヲ信ジタノデアリマス、併ナガラ唯今マダ承リマシタトコロノ説明ニ依リマシテモ、議會開ケテ暫クノ間討議セラレテ居ルトコロノ總テノ案ニ依リマシテモ、吾々ハ此案ヲ以テ内閣諸公ガ此帝國ノ進運ニ對スルトコロノ、施設ト計畫トヲ以テ臨ンダモノデアルト云フコトヲ見ルコトハ出來ナイノデアリマス(拍手起ル)君ガ分ラナイノダ、(默レ、)ト呼フ者アリ)諸君、今日ノ場合ハ——今日ノ場合ニ於テハ、吾々ハ眞面目ニ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、吾々ハ決シテ現内閣ノ諸公ニ對シマシテ、徒ニ反對ヲ試ムル者デハナイノデアアル(其通り)ト呼フ者アリ)今日ノ氣運ニ乘シテ、吾々ヲドウカ導イテ貫ヒタイ、我帝國ガ實ニ千歲一遇ノ時ニ遭遇シタノデアリマスカ、此議會ニ於テ吾々ヲ導イテ貫ヒタイト云フコトヲ考ノ上ニ立ッテ居ルノデアリマス(何ヲ言フ)「邪魔ヲスルナ」「黒須默レ」「クロ默レ」ト呼ビ笑聲起ル(諸君ハ諸君ノ考ヲ以テ御議論ヲ爲サイ、先ヅ今日ノ時局ト云フモノハ如何ナルモノデアアルカト云フコトヲ見ナケレバナラヌノデアリマス、吾々ノ考フルトコロニ依レバ歐洲ニ於テ戰亂屢アリト雖モ——屢アリト雖モ此時代ニ於ケル此度ノ戰爭ト云フモノハ、決シテ容易ニシテ起ッダモノデハナイノデアアル(分ッテ居ルウシナ事ハ)ト呼フ者アリ)是ハ全ク百年稀ニ見ルトコロノ大戦争デアッテ、而モ突發シタトコロノ事件デハナイノデアリマス(突發サ)ト呼フ者アリ)或ハ十年毎ニ或ハ十ニ出會頭ニ起ッダウナ戰爭デハナイ、諸

國ハ皆平和ノ下ニ於テ、所謂靜ナル戰爭ノ準備ヲシテ居ルトコロノ此間ニ於キマシテ、殆
ト行詰リタルトコロノ勢力ノ均衡ト云フモノガ破レテ、遂ニ今日ノ戰爭ノ起ツタモノデア
ルコトハ何人ガ見テ明白ナコトデアラウト私ハ思フデアリマス(「ヒヤ、」ト呼フ者アリ
リ)而シテ我帝國ハ今マデハ十年ノ準備ヲ以テ、常ニ戰ヒツ、アツタノデアルケレドモ、既ニ
此百年ノ大戰亂ノ仲間入ヲシタ以上ハ、是カラ後ニ於テハ、吾々モ恰モ歐洲ノ戰ヲ爲
スガ如クニ或ハ三十年、或ハ五十年、或ハ百年ノ準備ヲ以テ掛ラナケレバナラヌ時代デ
アルト云フコトニナツタデアリマス(拍手起ル)即チ吾々ハ、斯様ナル時代ニ今日置カレテ
居ルノデアリマスカラシテ、平素ノ理想ヲ以テ鳴ツテ居ルトコロノ大隈老伯ハ、將ニ斯ノ如キ
トモロノ時代ニ於テ吾々ヲ指導スルトコロノ大政策ヲ確立シテ臨マシケレバナラヌト思フ
デアリマス(「ヒヤ、」ト前達ガ妨害スルカラダ「黙レ、」ト呼フ者アリ)今日ニ至ル
マデノ内閣ノ施設ヲ見ルニ、果シテ如何ナルコトニナツテ居ルデアリマセウカ(「默レ、」ト
村「謹聴タタ、」黒須默レ「歸リテ氣ヲ付ケテ邪魔スル奴ハ」ト呼フ者アリ)理想家ハ時
トシテハ現實家トナルコトガアル、併ナガラ其理想家タルトコロノ現實家ハヤハリ平素唱
ヘルトコロノ理想ニ訴ヘテ、現實的ニナラナケレバナラヌデアリマセウ(「ヒヤ、」ト然ルニ
現内閣ガ今日マデ爲シタルトコロノ諸般ノ施設ハ如何ナモノデアリマスカ、吾々ハ先ツ現
内閣ガ非常ナル政綱トシテ、非常ナル方針トシテ、非常ナルコトノ施設トシテ、而シテ
實行シテ居ルトコロヲ見ルニ、何デアルカト申シマスルナラバ、僅ニ參政官ト副參政官ト云
フヤウナ制度ヲ設ケテ、之ニ依ツテ此憲政ノ大義ガ實行ノ出來ルモノデアルト考ヘテ居
位ノ點ニ過ギナイデアアル、或ハ又傳染病研究所ヲ唯統一ト云フ名ノ下ニ、内務省カラ
文部省ニ移シテ、而シテ此内務省ニ於テ吾々ガ當代ノ學者デアルトコロノ北里博士ニ對
シマシテ……

(議場騒然喧器甚シ)

(「ヤレ、」ト「歐ッデシマヘ、」引バタケ、)ト呼ビ又發言ヲ求ムル者多シ)

(「議長退場ヲ命ズベシ」ト呼フ者アリ)

(「議長何ヲシテ居ルノカ」ト呼フ者アリ議場騒然)

○議長(眞繁三郎君) 諸君、諸君ハ平日ノ如ク靜カニ議事ヲ進メラシコトヲ望ミマ
ス、御差圖ナクモ退場ヲ命ズベキ場合ニハ退場ヲ命ジマス(「此國家ノ大問題ヲ議スル
際ニ議長ハ何ト思フカ」ト呼フ者アリ)

○法學博士鶴澤總明君 帝國議會ハ天下ノ學者タルトコロノ北里博士ニ對シテ、傳
染病研究所ニ對シテ、特ニ此人ニ向テ多大ノ研究ヲ囑スルト云フ意味ヲ以テ經費ノ
協贊ヲ致シテ居ルニ拘ラズ、現内閣ハ唯統一スレバ宜イト云フヤウナ其形式ノ下ニ之ヲ
文部省ニ移シテ、而シテ此研究ノ態度、研究ノ精神ト云フモノニ對シテ大ナル妨害ヲ與
ヘテ居ルト云フヤウナ事柄ハ、決シテ理想内閣ノ所爲ト見ルコトハ出來ナイデアアル、先
ヅ吾々ガ若シ斯ノ如ク算ヘ來レバ外交ノ點ニ於テモ多大ノ非難、多大ノ攻撃ヲ加フベキ
點ガアルデアリマス、併ナガラ本員決シテ今日此帝國議會ニ於テ、吾外交ニ對スル問題
ニ言議ヲ挾ムコトヲ好マヌデアアル、其意味ニ於テ現内閣ニ於テ本員ハ此加藤男爵ハ實
ニ大ナルトコロノ決心ヲ持チ、而モ出來ルケレカヲ以テ帝國ノ外交ニ當ラント欲スル
ケノコトヲ致シテ居ルト云フコトハ、之ヲ認ムルデアアル、認ムルデアアルケレドモ併ナガラ今

日ノ時局ハ實ニ重大デアッテ——實ニ重大デアッテ單ニ吾々ノ考ヘテ居ルヨリモ、外務大
臣ノ考ヘテ居ルヨリモ、吾々ノ舊來ノ歴史ニ考ヘテ居ルヨリモ、立證シテ居ルヨリモ、更ニ
偉大ナル時局ニ在ルト云フコトニ氣付イテ貫ハナケレバナラヌデアアル、斯様テ次第デア
カラシテ、吾々ハ今日此外交ノ事ニ付テは何事モ述べヌケレドモ、併ナガラ此内閣ニ於ケル
コロノ諸公ガ果シテ今日ノ外交界ニ立ツテ、我帝國ノ地位ヲ躍進セシムルケレドモ、吾
テ居ルカドウカト云フコトニ付テハ甚ダ疑ツテ居ルデアアル、斯様テ次第デアレドモ、吾
ハ斯ノ如キ問題ハ捨テ、先ヅ第一ニ此國防ノ問題ニ付テ見テ進ベテ見タイノデア
ル、吾々ノ立場ハ決シテ唯二個師團ヲドウシヤウト云フ問題デアハナイデアリマス、諸君、
此歐洲ノ戰局ト云フモノハ如何ナル準備ヲ持ッテ成ツタモノデアアルカト云フコトヲ十分ニ
調ベナケレバナラヌデアアル、唯兵員ニ依ツテ戰爭ヲシテ居ルデアハナイ、唯……

○議長(眞繁三郎君) 遠藤良吉君——遠藤良吉君、自席ニ御歸リナサイ

○法學博士鶴澤總明君 一切ノ努力ヲ持チ、總ベテ民族的大統一ノ精神ヲ持チ、
外交ノ根柢トニ依リマシテ非常ノ決心ヲ以テ今日ノ戰爭ト云フモノヲサツテ居ルデア
ル、此戰爭ハ即チ十九世紀ノ始ニ於テ起ツタ戰爭ヨリ更ニ大ナルモノデアアル、十八世紀
ノ始ニ於テ起ツタ戰爭ヨリハ更ニ大ナルモノデアアル、斯様テ次第デアリマスカラシテ、我國
ガ既ニ此大戰爭ノ仲間入ヲシテ列國ト共ニ交戰國ノ一トナツタ以上ハ、是ヨリ我國ノ國
防關係ト云フモノハ唯從來ノ成行從來ノ因襲ニ依ツテ仕組レタモノニ依ツテ満足スルコ
トガ出來ナイト云フコトニナルデアアル、斯様ナル場合ニ於テ軍事專門家ハ多ク其專門
ノ智識專門ノ見地ニ因ハレテ、更ニ世ノ中ノ一大變遷ノ起リツ、アリ、更ニ世界ノ大變
遷ヲ來シツ、アリト云フヤウナ狀況ト云フコトヲ度外スルヤウナ眞デアアルコトニアルデア
リマス、併ナガラ今日ノ場合ハワレデハイカナイ、即チ吾々ハ總テ之ニ對テ出直シテ、總
テ之ニ對テ出直シテ變ヘテ(「サウシテ解散ヲシテ」ト呼フ者アリ)サウシテ此國防ノ問題
ニ付テ大ニ攻究ヲシケレバナラヌトコロノ時代ニナツテ居ルト云フコトニ吾々ノ説ハ歸著
シテ居ルデアアル、單純ニ若シ吾々ガ二個師團ヲ爭ツテ居ルト云フヤウナ問題デアハ
ナイデアアル、吾々ハ二個師團ノ問題ヲ解決スルデアルケレドモ、是ト同時ニ尙更ニ
偉大ナル國防ノ基礎ヲ極メナケレバナラヌ、國防ノ基礎ニ付テハ大方針ヲ立テナケレ
バナラヌ、是ガ昨年デアツタナラバ、少シモ戰爭ニ影響ガナクシテ、外國ノ影響モナイ
デアアルカラ、唯一個師團ノ小サイ問題ヲ爭ツテ居ルモ宜イカモ知レヌ、併ナガラ今年ニ
至リテハ之ヲ許サナイ、本年トナツテハ吾々ハ海軍ノ問題、陸軍ノ問題、總テ根柢ヨリ
大討究ヲシテ國力ノ許ス限リニ於テ、遺憾ナキ方針ヲ取ラナケレバナラヌト云フコトニ付
テ、非常ニ注意シテ攻究スベキトコロノ時代デアルト云フデアアル、(「方針ガ分ラヌデハ
イカ」ト呼フ者アリ)諸君ハ御笑ヒデセウガ今ニ分リマス、共ニ吾々ハ國家ヲ憂ヘテ居ル
デアアル、吾々ハ此場合ヲ以テ單ニ平凡ノ平時ノ時代デアルト思ハヌカラデアリマス、ソコ
此戰爭ノ影響ニ依ツテ先ヅ如何ナルトコロニ非常ナル缺陷ヲ來ス點ガアルカ、或ハ其缺
陷ト云フモノハ外交ニ依ツテドノ程度マデ充タスコトガ出來ルカ、或ハ財政ニ依ツテドウ
フ方向ニ轉換シテ行クカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ長ク待タナイデアアル、或
ハ政府ノ觀ル如ク來年八月ニ於テ分ルカモ知レヌ、或ハ再來年ニ及バナケレバナラヌカモ
知レヌ、ケレドモ此兩年ノ間ニ於テ吾々ハ帝國ノ國防——帝國ノ國防ト云フコトニ

付テ根柢ヨリ攻究スベキトコロノ時代ニナッテ居ルノデアルカラ、若シ眞ニ理想内閣デアッテ吾々國民ヲ指導スルトコロノ、而モ吾々ノ舉國一致ヲ求ムルコトノ出來ル内閣デアラハ、是等ノ點ニ對スル何等カノ方針此議會ニ於テ吾々ノ前ニ提出シナケレバナラヌノデアル、然ルニ斯ノ如キトコロノ提示ハ全クナイノデアル、何等ノ提示ガナイノデアル、サウ云フ次第デアラカラシテ、吾々ハ若シ普通ノ時デアリマスレバ政府ノ提案ニ對シテ贊成シテ、同志會ノ諸君ト同一ノ步調ヲ取ルコトハ何デモナイト思フケレドモ、併ナガラ此百年稀ニ見ルトコロノ大戦争ヲ眼前ニ控ニテ居ッテ、帝國躍進ノ爲ニ、帝國發展ノ爲ニ、國民舉テ大努力ヲシナケレバナラヌ場合ニ於テ、斯ノ如キ内閣ノ立テ、居ルトコロノ此二個師團ノ經營ニ直チニ贊成スルコトガ出來ナイト云フコトガ吾々ノ主張デアリマス(拍手起ル)

○中村啓次郎君 贊否兩方トモ其所論ヲ盡シタリト認ムルニ依ッテ、討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(「贊成々々」又「反對々々」ノ聲起ル)

○議長(奥繁二郎君) 今中村啓次郎君ノ緊要動議ガ出マシタガ、國務大臣即チ陸軍大臣ガ此際演說シタイト云フコトデゴザイマスカラ、陸軍大臣ニ許シマス

(陸軍大臣岡市之助君登壇)

○陸軍大臣(岡市之助君) 諸君、私ハ豫算委員長ノ報告ニナリマシタル、即チ陸軍ノ豫算中テ否決ニナリマシタル所ノ問題中、特ニ此二個師團増設ノコトニ關係致シマシテ政府案ヲ維持シ、諸君ノ御協賛ヲ仰ギタイト云フコトニ付キマシテ茲ニ一言致シマス、此必要ナルコト及ビ明年ヨリ實行致シタイト云フコトニ付キマシテハ、今日マデ數回陳述致シマシテ、其理由ニ付キマシテハ昨日分科會ニ於テ小泉策太郎君ノ御演說ニ依リマスルト能ク御分リニナッタト云フコトヲ承リマシテ、少クモ政友會諸君ハ此事ニ付テ御會得ニナッタコト、シテ、大ニ満足ヲシテ居リマシタ、併ナガラ之ヲ削除ニナリマシタル結果ニ依リマスルト云フト、歐洲戰亂ノ終局ノ結果ヲ待ツ意味ニ於テ次年度マデ延期スル、斯ウ云フ御說ト、國民黨ノ方ハ現在ノ十九個師團ノ常備ノモノハ十分デアアル、他ニ方法ヲ設ケテ大々的擴張ヲヤツタナラ宜カラウ、斯ウ云フ意味ニ於テ此二個師團増設ト云フコトニ付テハ御反對ノヤウニ承リマシタ、ウコデ抑、此計畫ハ度々申上ケマシタ通り明治四十年西園寺總理大臣デ在ラセラレタ時代ニ成立チマシタ計畫デゴザイマス、時ノ總理大臣モ御同意ニナッテ居リマシタ、而シテ之ヲ調査致シマシタ根據ハ鄰邦ニ於ケル軍事ノ狀態ヲ豫メ推測ヲシテ拵ヘマシタ、固ヨリ歐洲ニ今日ノ大亂ガ起ルト云フコトハ豫期致シマセヌカ、之ヲ除イタ以外ニ於テ鄰邦ノ形勢ヲ考察ヲ致シテ立テマシタ計畫デゴザイマス、ウコデ其立テマシタル計畫中ノ一部、即チ二個師團ノ増設ヲ明年年度カラ實行致シタイト云フノデゴザイマシテ、此計畫ガ成立チマスルヤ成ルベク速ニ此立テマシタ計畫ノ遂行ヲ希望致シマシタガ、恰モ日露戰爭大戦亂ノ後ヲ承ケマシテ、財政ニ於テ頗ル困難ナ有様デゴザイマシタ、財政ノ狀況許サヌト云フ意味ニ於テ今日マデ遷延致シマシタ次第、吾々軍事當局者カラ見マスルト今日之ヲ御協賛ヲ受ケテ實行致シマシタニシテモ、或ハ既ニ遲レテ居リハセヌカト云フ嫌ガゴザイマス、イヤ嫌デハゴザイマセヌ、虞レガゴザイマス、況ヤ次年度マデ待チマスルト云フコトニ於テハ軍事當局者トシテハ頗ル痛

心ニ堪ヘマセヌ、歐洲戰亂ノ終局ガ如何ナル教訓ヲ吾々ニ與ヘルデアリマセウカ、國軍ノ人馬ヲ増加スルト云フ必要ノ教訓ヲ與ヘルト思ヒマスガ、日本ガ今日ノ現狀ニ宜シト云フ教訓ヲ與ヘルト思ヒマス、殊ニ其人馬ノ編組其モノニ於キマシテハ、是ハ今日マデ歐羅巴ニ於キマシテモ亦日本ニ於キマシテモ、研究ニ研究ヲ致シマシタトコロノ編組デゴザイマスカラ、此編組ガ變ラヌト云フ所ノ道理ハ無イト思ヒマス、即チ大兵團デ申シマスレバ一個師團ノ兵力配合編組ハ騎兵、砲兵、工兵及ヒ其他ノ輜重、是ハ歐羅巴強國デモ變リマセヌ、今後ニ於テモ決シテ變ラヌト思フ、又日本ニ於テモ之ヲ變ヘル必要ハナイ、然ラバ歐洲戰亂ノ結果ハドンナ教訓ヲ與ヘルダラウ、斯ウ申シマスルト今日マデ吾々ガ感得シテ居ル所ハ屢々諸君ニ申述ベマシタガ、精練ナル兵ガ機ニ先ッテ敵ヨリ優勢ナルモノヲ以テ戰爭セヌケレバナラヌト云フ教訓ヲ受ケマシタ、是ハ日露戰爭ニ於テモ吾々ガ具ニ其實驗ヲ嘗メテ居リマス、ウコデ固ヨリ兵器ノ一部若クハ航空隊、諸君ノ屢々申サル自働車其他ノコトニ付テハ、或ハ此實驗ノ結果何分アノ教訓ヲ齎スコトト思ヒマスガ、併シ是ハ過日モ申シマシタ通り軍ノ補助機關ニ過ギマセヌ、歐羅巴ニ於ケル自働車ガ如何ニ其クテモ東洋ノ今日ノ形勢ニ於テ、即チ地勢ニ於テ用非ルコトガ出來マセウカ、聞ク所ニ依リマスルト獨逸邊ニ於キマシテハ今回ノ戰亂ニ於キマシテ自働車ヲ以テ軍隊ヲ輸送シ——尤モ是ハ一部ノモノデゴザイマセウ、其他砲ヲ輸送スルタメニ此便利ナル機械ヲ用非ルコト云フコトニ付テ有ラヌル工夫ヲ盡シテ居ルサウデアリマスガ、是ハ歐羅巴ノ如キ坦々砥ノ如キ道路及鐵道網ノ四通八達ナル國ニ於テ出來得ル事情デ、歐羅巴ガヤルカラト云フテ直チニ東洋ノ真似ハ出來マセヌ東洋ニ於ケル道路ノ狀況ハ、諸君御承知ノ通り先ッテ東洋ニ於テ道路橋梁ノ宜シイノハ日本デゴザイマセウ、其日本ノ國道ガ今日ノ實驗ニ依リテ陸軍ノ軍用自働車ガ通過スルト云フコトガ覺束ナイ、況ヤ未來ノ戰場ニ此自働車ヲ自由自在ニ動かスト云フコトハ甚ダ難イ事ト思ヒマスノミナラズ、此事ニ付テハ吾々ハ研究ニ研究ヲシテ斷ヘズ此使用ヲ實行スルト云フコトニ付テハ怠ラヌ積リテ、即チ今回ノ豫算ニ於キマシテモ自働車研究費ヲ要求シタ次第デアリマス、ウレカラ航空隊ノ編成スルト云フ所ノ費目ヲ簡ニ申上ゲマスルガ、是ハ既ニ豫算ノ上ニ於キマシテ航空隊ヲ編成スルト云フ所ノ費目ヲ掲載致シマシテ御協賛ヲ受ケタイト思ッテ居ッタ所デゴザイマス、斯様ナ次第デゴザイマスカラ國軍ノ編成ニ於テ教訓ヲ受ケヤウト云フコトハ斷シテ無イト思ヒマス、ウレデ先刻元田君ノ御演說中ニ、聞ク所ニ依リテ近頃兵器ヲ外國ニ賣ツタト云フコトガアル、斯様ニ兵器ヲ賣ル位ノ次第デアラカラ國軍ノ人馬ヲ増加スルト云フコトノ必要ハナイデハナイカト云フヤウナ御演說ガアッダト承ッテ居リマス、成程兵器ハ賣リマシタ、是ハ聯合國ノ切ナル希望ニ依リマシテ賣渡シマシタ、賣渡シマシタガ、私陸軍當局者トシテ之ヲ賣ツタガ爲ニ軍ノ兵備ニ缺陷ヲ起スト云フコトハ決シテ致シマセヌ、是ハドウゾ御安心ヲ願ヒマス、而シテ此賣ツタ結果ニ於テハ他日諸君カラ御協賛ヲ受クルト云フコトヲ期シテ居リマスガ、遺憾ナガラ唯今之ヲ明言スルノ時期ニ達シマセヌ、又國民黨ノ御主張ノコトニ付テ所見ヲ述ベテ置キマスガ、此經濟的軍備擴張ト云フ御說デアリマス、是ハドウ云フ考案ノモノデゴザイマスガ、私算聞ニシテ未ダ御名說ヲ書類ヲ以テ拜見ヲ致シマセヌ、拜見ヲ致シマセヌガ、要スルニ兵役短縮論ト云フヤウナ御說モアッタヤウデアリマス、此兵役短縮論、即チ一年及一年未滿ノ兵役年限ヲ取ッテ居リマス所ノモノハ歐羅巴ニハゴザイマ

ス、ゴザイマスルガ是ハ歐羅巴ニ於ケル二二三等ノ國デゴザイマス、即チ歐羅巴強國ガ其實力ノ均衡ノ爲ニ辛シテ中立ノ位置ヲ保チ、中立ノ保持ヲ得テ居ルト云フ國ガ取ツテ居リマス、若シヤ日本ガ此二二三等國ノ眞似ヲスルト云フコトガゴザイマスカ、一等國——東洋ニ重大ナル職責ヲ有ツテ居ル所ノ日本ガ斯様ナル國ノ眞似ヲスルト云フコトハ毫モ必要ナキノミナラズ、又避ケナケレバナラヌト思ヒマス、尙ホ其以外ニ於キマシテ經濟ノ編成ト云フモノモゴザイマスガ、ソレハ屢々今日マデ申述ベシタ塊洪國ニ於テ取ツテ居リマス、取ツテ居リマスガ、塊洪國モ政變ノ關係デ此軍備ヲ立直スト云フコトニ付テ努力シタニモ拘ラズ、十分ニ其意ヲ果サヌ、今年ノ春ニ至ツテ漸クソレガ議會ヲ通過致シマシタガ、實行スルノ暇ナクシテ今日ノ戰亂ニ際シテ爲ニ、塊洪國ノ戰況ハ如何デゴザイマセウカ、諸君是ハ新聞ノ報達ニ由ツテ其結果ガ如何モノデアルト云フコトハ能ク御承知ノコト、信ジマス、今茲ニ再言ハ致シマセヌ（兵ノミデハ國ハ立チマセヌ）「謹聽」ト呼フ者アリ、要スルニ今日マデ取ツテ居リマスル我國ノ編制ハ、戰時ノ必要ヲ充タス爲ニ於テ、又平時ノ經濟ヲ成ルベク經濟的ニ保シト云フ意義ニ於テ、是ハ獨リ日本バカリデハゴザイマセヌ、歐羅巴強國ハ皆サウデス、ソレカラ學ンデ參リマシタ、サウシテ立テマシタ、眞ニ是ガ經濟的軍制デゴザイマス、塊洪國ノ如キ經濟的軍備ハ金ノ經濟デアリマセウカ、實際ノ時ニ至テ用ヲ爲サヌ所ノ軍隊ガ出來テ居ルデアリマス、是ハ決シテ吾々ノ眞似ベキコトデナイ、避ケベキコト、存ジマス、ソレカラ今日ノ場合ニ於キマシテ兵役ヲ短縮スルドコデハゴザイマセヌ、二年現役デスラモ此實行如何アランカト實ハ疑ツテ居ル次第デ、現ニ佛蘭西ノ如キハ其二年現役實行者ノ發起者アルニ拘ラズ、今年ノ春三年兵役ニ復活スルト云フ議會ノ協賛ヲ受ケマシテ、其實行ニ至ラズシテ今日ハ騷亂ニナリマシタ、斯様ナ次第デゴザイマスカラ其軍ノ組織及ビ軍制ニ於テハ歐洲ノ戰亂ガ吾々ニ與フル教訓ト云フモノハ斷ジテ無イト私共當局者ハ信ジマス（「ノウ」）「ト呼フ者」アリ、議場騷然、故ニドウ諸君、此政府案ニ對シテ御同意ヲ與ヘラレテ御協賛アランコトヲ希望シテ止ミマセヌ、不幸ニシテ此案ガ議會ニ於テ否決ヲ致シマスル其結果ガ、他日ノ戰爭ニ於テ其結果ヨリ來ル所ノ不利ハ如何デアリマセウカ、固ヨリ吾々軍人ハ其責任ヲ持ツコトハ勿論デアリマス、責任ヲ持ツコトニ付テハ全力ヲ擧ゲテヤラナケレバナラズ、其結果ヨリ來ル不利ハ重大ナルモノデアリマス（總理大臣ノ責任ナリ）「ト呼フ者」アリ、議場騷然、ドウ政府ノ意ノ在ル所ヲ諒セラレテ、御贊成アランコトヲ切望シテ止ミマセヌ

（拍手起ル）

（内閣總理大臣伯爵大隈重信君登壇）

○内閣總理大臣（伯爵大隈重信君） 諸君、頗ル今夕ハ議場ノ靜肅ナルヲ喜ブ、餘程諸君ガ冷靜ニ落付テ居ラル、コトヲ私ハ喜ブデアリマス、私ハ茲ニ誠心ヲ吐露シテ諸君ニ意見ヲ述ベルノ必要ヲ感ジテ（議場騷然）

○議長（奧繁三郎君） 諸君靜肅ニ……

○内閣總理大臣（伯爵大隈重信君） 此内閣ハ御承知ノ通りニ八箇月餘、此間ニ爲シタコトハ或ハ擧ゲ來レバ諸君ノ御満足ノコトモアルデラウ（議場騷然）

○議長（奧繁三郎君） 諸君、靜カニ……

官報號外

大正三年十二月二十六日

衆議院議事速記録第十號

大正四年度豫算案

大隈内閣總理大臣ノ演說

一八一

○内閣總理大臣（伯爵大隈重信君） ドウカ諸君冷靜ナ思想ヲ以テ嘗テ日本國運ノ發展、日露戰後九年間歷代ノ内閣ノ爲シタコトハ如何ナルコトヲ爲シタカ、概ネ其間ニ政友會ハ（「ナンダ」ト呼フ者アリ）政府黨トシテ其間ニ盡力サレタコトヲ追懷シタナラバ、凡ソ政治ガ唯一夜ニシテ物ヲ造ルト云フ如キモノニサウ手際ヨク現ハル、モノデナイト云フコトハ、諸君ノ經驗ニ十分ニ理解サレルデアラウ、過去ツタコトヲ云ヘバ過チモアレバ又隨分功モアルデアアル、其間ニ政友會ノ發達シタコトハ私ハ甚ダ喜ブデアアル（笑聲起ル）殆ド九年間前後ノ經營而シテ其間ニ西園寺侯、桂公、西園寺侯、第二回ノ桂公及山本伯ニ依ツテ其間常ニ諸君ガ力ヲ盡サレタコトモ十分ニ現ハレタ事實デアアルデアアル、（始メカラサウ言ヘバ宜イ）「默レ」謹聽「ト呼フ者アリ」凡ソ先刻鶴澤君ノ議論ノ如ク理想ヲ實現スルコトハ隨分ムツカシイコトデアアル、隨分ムツカシイモノノ經濟的國防ノ大擴張ノ如キ理想ハ内容ハ誠ニ分ラヌガ、若シソレガ出來レバ國家ノ幸ナリト思フデアアル、併ナガラ此理想ハ秘密ニシテ吾々聞クコトハ出來ヌ、八箇月間其爲シタコトハ多少アリマスガ、諸君ノ不満足ノコトモアルデラウ（其通り）「ト呼フ者アリ」或ハ事實ヲ知ツテ居レバ諸君ノ十分満足サレルコトモアルデラウト思フデアアル、所ガ私が御注意ヲ請ヒタイノハ、先刻カラ井上君其他ノ議論ニ於テ内閣ハ常ニ挑戰的態度ヲ執ル（其通り）「ト呼フ者」アリ（ト云フコトヲ繰返ヘサレタガ、是ハ恐ラク誤解ニアラザレバ）（「ノウ」）「誤解ニアラザレバ」——誤解ニアラザレバ（「ノウ」）「トウ」云ヘバ詭辯——マサカ詭辯ヲ弄スル如キ名譽アル代議士ハ居ナイノデアアル、事實ハ明カナ證據デアアル、二週間ノ本會及委員會ノ速記録ヲ御覽ナサツタナラバ、思ヒ半バニ過ギルト思フ、全體政論ト云フモノハ往々感情ニ走リ易イモノデアアル、ソレ故ニ冒頭ニ諸君ガ大分落付イテ居ルト云フコトヲ私ハ喜ンデ居ル、モウ少シ落付イテ聽イテ貰ヒタイ、理想トシテ政綱ヲ發シタルコトハ充分御承知デアアルニ相違ナイ、是ニモ或ハ反對ガアルカ知ラナイ、併シ政綱其モノハ漸次實現シ、アルデアアル、此内第一ニハ黨派ノ弊ヲ除クコトヲ云フコトガ大ニ意味ガ加ツテ居ルデアアル、官紀ノ案レタルコトモ大ニ加ツテ居ルデアアル（議場騷然）ドウ諸君、靜カニ御聽キナサイ、諸君ノ思想ガ冷靜デナケレバ話スコトハ止メルデアアル、聽クコトヲ好マナケレバ止メルデアアル（「謹聽」）「ト呼フ者」アリ、黨弊——ドウカスル諸君ハ理想ノミナラズ、將ニ實現セントシテ仕ナイノハ政黨内閣、我黨ノ内閣ト常ニ言ハレタガ、マダ一回モ政友會ノ純然タル内閣ハ成テ居ナイノデアアル——成ツテ居ナイノデアアル（笑聲起ル）成ツタコトガアルナラバ承リタイ（議場騷然）冷靜ナ頭デ聽イテ貰ヒタイ、ナカ／＼ムツカシイノデアアル、此處ニハ老練ナル原總裁、大岡君、元田君ト云フ如キ經驗ニ富ムタ殊ニ政治ノ理想ニハ議院内閣ヲ理想トシテ之ヲ現實シヤウト——先ヅ古イコトハ言ハナイガ日露戰後餘程努力メタデアラウト思フデアアル、其前ニ迦レバ伊藤公ガ此政友會ヲ拵ヘテ以來、伊藤公以來努力メタデアラウト思フ、今實現シテアルカ、諸君モ遺憾デラウガ吾輩モ諸君ト等シク遺憾トスル所デアアル、全體議院内閣ト云フモノハ偶然起ルモノデナイノデアアル、此理想ヲ實現スルタメニハ新タニ歴史ヲ説キ明ス必要ガナイ、決シテ是ハ法律デモ命令デモ出來ルモノデナイノデアアル、國民ノ反響デアアル（拍手起ル）此ニ於テ吾輩ハ理想トシテ立憲的教育ヲ行フト云フコトヲ政綱ニ掲ゲタ所以デアアル、是ハ諸君多分御同意デアラウ——屹度御同意、ウコデ私ハ是カラ事實ノ上ニ入ッテ諸君ノ御注意ヲ請ヒ、殊ニ諸

君ノ反省ヲ請ヒタイト思フノデアル、此處ガ十分ナル感情ヲ拾テ、冷靜ナル思想ヲ以テ、諸君ガ理想上此議院政治ヲ實現シヤウ、常ニ我黨ノ内閣ナツト云フコトヲ呼ハレケレドモ、一遍モ出來タコトガナイノデアル(「餘計ナコトダ」ト呼フ者アリ)議場騷然、是ハ事實デアル。事實ガカラ議論デナイ、サウ云フ内閣ノ出來ルコトヲ望ム、國民ノ意ヲ代表スル、輿論ヲ代表スル内閣ノ成立スルコトヲ望ムガ、諸君ガ遺憾トスル如ク吾輩モ亦遺憾トシテ居ルノデアル、是ハ御同感デアルト思フ、ソコ今日ハ私ハモウ細カク言ハヌノデアル、時局ノ大ナルコト内外形勢ノ容易ナラヌコトハ言葉ヲ俟タズシテ諸君ガ御承知デアラウト思フ、苟モ國家ノ公ノコトニ公人トシテ此職ニアル諸君ハ、最モ是ニ付テハ心ヲ用非テ御出デニナルト私ハ信ズルノデアル、ソコ此時ニ最モ國家重大ナルモノガ何デアルカト云フト、私ハ外交ガ最モ重大ナリト斯ウ思フノデアル(「其通り」ト呼フ者アリ)所ガ此數日來外交ニ對スル質問ハ頗ル遺憾トシタノデアル(「答辯ガ遺憾ダ」ト呼フ者アリ)老練ナル外交ノ智識ヲ有テ殊ニ支那ニ於テ最モ知識ヲ有テ居ラレル御方ノ支那問題、其地ノ外交問題ノ質問ニハ頗ル失望シタノデアル(「答辯ニ失望シタ」ト呼フ者アリ)所ガ外務大臣ノ答辯ニ依テ大分満足サレタヤウデアル(「拍手起ル」ト呼フ者アリ)満足サレタヤウデアル(「冗談ヲ言ハズニ眞面目ニ言ヘ」ト呼フ者アリ)先ツ感情ニ走ッテハイケナイ、マア靜カニ聽キ給ヘ(「誠意ナシ」ト呼フ者アリ)私ハ實ハ諸君ノ外交ニ對スル質問ハ餘リ満足シナカッタガ、外務大臣ノ答辯ニ於テ多分満足サレタデアラウト私ハ思フノデアル(「拍手起ル」ト呼フ者アリ)大藏省文部省其他ニ向ッテハ、或ハ陸軍ナドニ向ッテハ、大分御議論ガアルガ殆ド内閣不信任ノ豫算案ノ大削減ニ於テモ、到頭外交ニハ少シモ議論ガ起ラナカッタ、多分御満足デアラウト私ハ大分満足シタノデアル、今日此世界ノ日本ガ地位ヲ高メルニハ是カラ外交ノ力ガ最モ大ナリ、外務大臣ノ外交ニ付テ多分充分満足サレタコト、私ハ信ズル、ソコ此外交無カリセバ國防無シ、是レ國防ノ起ル所以デアル、此國防ノ議論ハ殆ド盡キテ居ルノデアル、今日ノ陸海軍ニ殊更ニ巨額ノ資本ヲ投シテ大擴張ヲ爲スト云フ譯デハナイ、或點カラ言ヘバ缺陷ヲ補ヒ、同時ニ多少之ヲ補充スル、充實スルト云フニ過ギヌ、誠ニ其少額、能ク陸海軍大臣ノ言ハレハ最少限度ト認ムルニ一個師團、是モ二年デ出來上ルノ六年ト即チ財政ノ調和ヲ保ツ爲ニ餘儀ナク延バシタノデアル、海軍ニ於ケルハ隻ノ驅逐艦ニ隻ノ潛航艇モ、是ハ急イデラ一年デ出來ルノデアル、財政ノ都合デ二年ニ延バシタノデアル、決シテ財政ニ累ヲ及ボスヤウナモノデハナイノデアル、而シテイロノナ經濟的擴張ナドト云フ名案ガアルカ知レヌガ、サウ云フ理想ハ何時實現スルカ知レヌ、實現シナイ中ニ國家ハ國際間ノ侮ヲ受ケ不測ノ變ガ其間ニ生ズル、是ガ國防ハ一日モ緩ウスベカラズ、治ニ居テ亂ヲ忘レズ、今日太平ヲ裝フトモ何時何ガ來ルカ知レヌ、不測ノ間ニ變ガ生ズル、此ニ於テ東洋ノ平和ヲ保ツ爲ニ、國際間ニ國ノ地位ヲ保ツ爲ニ相當ノ威嚴ト名譽ト信用ヲ保ツダケノ力ハ一日モ忽ニスルコトハ出來ヌ、之ヲ歐洲ノ大亂ナドニ藉ッテ先ニ延バスト云フコトハ頗ル理解ニ苦ムノデアル、段々一年々々、延バシテ來タ次第デアリマスカラ、之ニ付テハ私ハ陸海軍即チ國防ノ計畫ヲ破ル如キ削減ハ甚ダ私ガ遺憾トスルノデアル、諸君ハ經驗ヲ持テ居ル、過去ニ知識ヲ持テ居ルノデアル、又從來ノ政治ニ歴史の大巨匠シテ、或ハ政府ノ與黨トシテ、今日マデ戰後ノ經營ニ力ヲ盡サレタ諸君ニシテ之ヲ延バスト云フコトハ何カラ起ッタカ分ラナイ、實ニ

理解ニ苦ムノデアル、此ニ於テ或ハ黨派的ノ一種ノ感情デハナイカト云フ疑ガ起ルノデアル、諸君冷靜ニ靜カニ聽イテ貰ヒタイト思フ、ドウカ委員會ノ論ヲ全然拾テ、此問題ニドウカ協賛ヲ請ヒタイト思フノデアリマス、是ハソレ程議論スルニハ及バナイ、殊ニ名譽アル政友會ノ諸君ニ於テハ疑ノナイコト、信ジテ居ルノデアル、殊ニ原總裁ニ私ハ切ニ望ムノデアル、聰明ナル冷靜ナル、嘗テ其局ニ當ッテ此師團増設ノコトニ付テハ充分ニ内容モ御存ジノ御方デアレバ、是マア主義トシテ一遍モ反對ハナイ、唯財政ノ都合デ段々延ビテ來タモノデアルト云フ斯ウ云フ譯デアレバ、ドウカ冷靜ニ一ツ御考ニナッテ、此問題ハ既ニ委員會ガ決シタモノデアアルガ、ドウカ復活ヲ私ハ願ヒタイト思フノデアル、靜ニ沈黙シテ考ヘレバ御異存ノナイコトデアアル、此中ニハ新ニ這入ッタ議員諸君モ在ルコト、思フガ、大抵年ヲ取ッタ人ガ多イヤウデアアル、反對ハナイ答デアアル、心ヲ空シクシテ考ヘレバハ御同意ニナッテ宜イコトデアアル、私ハ帝國議會ノ信用ヲ保チ、帝國議會ノ威嚴ヲ維持シ、其威嚴ヲ増スト云フコトハ最モ多數ヲ占メテ居ルコロノ政友會ノ名譽、ナリト私ハ信ズルノデアル、是ハ私ハ衷心諸君ニ熱望スルノデアル、之ヲ尙且ツ感情ニ依ッテ反對スル譯デアレバ實ニ遺憾千萬デアアル、斯ノ如キコトヲシテ議院政治ヲ願フ、政黨政治ヲ願フナドト云フトハ本ニ縁ッテ魚ヲ求ムルガ如キモノデアアル、(「拍手起ル」ト呼フ者アリ)コレカラ財政ニ付テ井上君カラ大分手酷シイ御批評ガアッタガ、戰時ノ財政デアアル、戰時ノ豫算ニハ多少非難スベキコトモアルカ知レヌガ、吾々ハ最善ヲ盡シタノデアル、大藏大臣ガ最善ヲ盡シタ豫算デアアル、而シテ公債整理基金ニ付テ最モ力ヲ盡シテ御議論ニナッタノデアリマス、是ハ主義ノ問題デアアル、主義トシテ公債及借入金ニ依ラズシテ鐵道及朝鮮ノ港灣道路鐵道或ハ治水ト云フ如キモノヲ支辨シヤウト云フ主義カラ起ッタモノデアアル、而シテ五千萬圓ヲ償還スルト云ウテ右ニ償還シテ左ニ借入レル、是レ實ニ民ヲ欺クモ甚シイノデアル、所ガ是マデノ慣例ト云フ御話デアアルガ、其慣例ガ惡イノデアル、民カラ稅ヲ強ク取ッテ公債ヲ拂フト云フヤウナ御話ガアッタガ、拂フト言ッテ拂ハズシテ預金局ニ公債ヲ償還シテ政府ガ使フ、是ヨリ民ヲ欺クモノガアリマス、ソコサウ云フ慣例ハ御互ニ是カラ廢メテ貰ヒタイ、故ニ虛心平氣ニ、ドウツ公債基金ラ之ヲ否決セラル、ト吾々ノ財政計畫ハ殆ド根本カラ破レルト云フ譯デアアル、是ハ私ハ切ニ御相談ブスル、吾輩ノ主義ガ間違ッテ居ルト云フナラバ謹シテ諸君ノ名論ヲ拜聽ヘルガ、サウデハナイヤウデアアル、是迄ノ慣例ヲ保ツ、其慣例ガドウモ宜シクナイ、ソレカラ戰艦ノコトハ先日モ、御話シタガ、是ハ誠ニ金額トシテハ僅カナコトデアアルガ、是ハ吾々ノ主義デ、鵜澤君ハ是位ノコトニ云フ御話デアッタガ、成程サウカモ知レヌ、決シテソレ一ツデハナイ、併シ是モ大切ナコトデアアル、諸君ハ議院政治ヲ望ムノデアル、議院政治ヲ望ムバ議院政治ノ憲法、即チ模範ニ於テ斯ノ如キコトガアル、ドウカ此參政官副參政官ノ金額ハ僅カデアアルカラ左ニ議論ハナカッタラウト思フタガ、人材登用云々ト前ノ官吏登用ノ一丁度昨年政友會ノ内閣デ大分樞密院モムツカシカッタト云フコトデアアル、改正サレタノハ、更ニ今度改正スルニ付テ樞密院ハ大分議論ガアッタノデアアル、ソレニモ拘ラズドウシテモ政務官事務官分ツト云フコトヲ、一般ノ官吏ニ之ヲ示サヌト往々行政ノ紊亂ヲ來スト云フ虞ガアル、官吏ガドウカスルト過ッテ我黨ノ内閣ナド、言フ時ニハ、政黨内閣ト云フモノハ役人ガ皆政黨員ニナルベキモノデアアル、即チ地方ニ夥シク政黨員ノ出來タコトハ原君其他ノ諸君モ御承知デアラウト思フノデアル、既ニ政黨ノ弊

ニハ地方が苦シテ居ルノデアル、是等ハマダ立憲の思想ノ乏シイ爲ニ我黨内閣、何デモ政黨政治トス云フ、ドモ誤テ役人ハ皆政黨員ニナル、嘗テ亞米利加ノヤウニ大統領ガ代レバ門番マデ皆代ルヤウナラバ卒知ラズ——是ハ亞米利加ノ大害、大ナル惡弊デアル、是ハ御承知ノ通り、クリーブランドノ時ニ改正サレタ、今日ハ其弊ノ一部分ハ除ケテ居ルガ、其弊ガ尙且存シテ亞米利加ハ苦シテ居ルト云フコトデアル、ドモ此内閣ノ更迭ハ——議院政治ノ下ニハ更迭頻繁ナリト斯ウ見ナケレバナラヌ、其時ニ澤山人ノ代ルコトハ宜シクナイ、所ガ或論者ハ先日モ委員會ニ於テツシナコトヲ言フデモ、今ノ次官トカ局長ハ或ハ代ルカモ知レヌト云フヤウナ御話デアッタガ、成程サウカモ知レヌ、ツレガ宜シクナイ、マア成ルベク過ラ改メルガ宜イ、是ハ法律ヤ命令デ行ケルモノデナイ、ヤハリ習慣、何デモサウ云フ工合ニ内閣ノ更迭ニ從ツテ退ク人ハ少數デ、之ヲ明ニ區別スルノハ誠ニ事ハ小ナリト雖モ永久の繼續のニ行政官更ガ落著カヌト云フ弊ガアルノデアルカラ、此行政ノ舉ガルト——是ハ餘程行政官ノ現狀ニ必要デアル、又心ヲ落著ケテ忠實ニ働カネバナラヌ、所ガ黨派ニ依ツテ左右サル、コトニナルト、繼續の永久ノ事務官ガ始終心ガ動ク、事務官ガ政治家ニナツテ堪マルモノデハナイ、政治家ト云フモノハサウ澤山ハイラヌ、先ア此所ニ四百人ハカリ御出デニナルガ、其外ニ全體如何ナル國デモ一万人ノ政治家ガアレバ大抵澤山ト云フコトデアル、英國ノ如キハ十五万人モアルト云フ、十五万人モ行政官ガ政治家ニナツテハ大變デ、サウスルト巡查モ政治家ニナラナケレバナラヌ、是ハ誠ニ小ナリト雖モ一般ニ今日既ニ弊ガ起リ掛ツテ居ルノヲ未然ニ防イデ、而シテ良慣習ヲ作ルハ今日必要ナリト思フ、是亦ドウカ十分ナ御考ヲ願ヒタイト思フ、心ヲ空シクシテ考ヘルト十分御理解ニナルト思フ、チヨット感情デ謂ハバ政友會ガ折角人材登用ノ門戸ヲ開イテ置イテ、ツレヲ參政官副參政官ト云フ妙ナ名前ヲ付ケルト云フコト、チヨット感情ニ左右サレル、政友會ノ考モ茲ニアツタラウト思フ、ツレカラ餘リ私ハ——諸君モ御疲レデアルカラ多ク論ゼヌガ(「簡單々々」ト呼フ者アリ)ドウモ研究所講習所今ノ鵜澤君モ大分御論議モアッタガ、恐ラク天才ガ起ツテ、天才ニ依ツテ成立ツヤウナモノナラバ免モ角モ——私ハ學者ヲ尊敬スルノデアル、又北里君ヲ學者トシテ研究者トシテ尊敬スルノデアル、併ナガラ天才トハ思ハヌ、世界ニ大發見ヲ爲シタト云フノデモナイ、唯發見ヲ繼續シテ研究スルニ過ギヌノデアル、之ヲ範圍ヲ廣ク文部省ニ置イテ帝國大學ト云フ機關ヲ有ツテ居ル、此機關ト結付ケレバ一層研究ガ進ムノデアル、同時ニ帝國大學ノ多數ノ學生ガツレニ依ツテ利益ヲ受ルコト大ナリト信ズルノデアリマス、講習所ニ於テモ何等變ルコトハナイノデアル、却テ講習所ハ專門ノ學校トナルカラ地位ハ高クナツタヤウナモノデアル、文部省ノ學問ガマダ實務ニ疎イモノヲ作ルト云フ譯デアレバ、全體國家ハ百二十四十萬圓ノ金ヲ投ジテ無益ナ人間ヲ作ルコトニナルノデアル、若シ弊ガアレバ諸君ト共ニ文部省ノ弊害ヲ防グハ必要デアル、斯ノ如キ論ガ隨分イロ／＼ナ感情ノ爲ニ誤ラレテ居リハシナイカト思フ、段々此節ハ(「ヤルナラ高聲ニ」ト呼フ者アリ)諸君ハ頗ル冷靜ニ願ヒタイ、靜ニ考ヘレバ吾輩ガ殊更ニ事ヲ好シテ譯デモナケレバ——隨分其外傳染病研究ノ爲ニ大ナル利益ガアル——日本ハ海國デアル、四千哩ノ海岸ヲ有ツテ居ル、水産ハ實ニ將來日本ノ富ヲ組立テル所ノ大ナル富源デア、ツレ故ニ帝國大學ニモ農科大學ニ水産科ヲ置カレタノデアル、之ニ屬シテ專門學ヲ

教ヘルト云フ、是ハ水産ヲ將來獎勵シ發達セシメル、今日ニ於テ最モ私ハ必要ナリト思フノデアル(「高聲ニ」ト呼フ者アリ)然ルニ多分諸君ガ之ヲ削リハ削ツタガ御困リダラウト思フノハ研究ヲ止メルヨリ外ナイノデアル、文部省カラ二十三萬圓ヲ削リ、折角成立ツタル研究ハ潰シテシマフノデアル(「誰ガ潰シタ」ト呼フ者アリ)是ハ丁度國債整理基金デ井上君ガ述べタ所ニ誠ニ私ハ感服シタガ、過ラ正サレタコトヲ感服スルガ、是モ少シ手落カアルカモ知レヌト思フノデアル、ツレ故ニドウカ是ハ冷靜ナル思想ヲ以テ、而シテ此豫算案ノ委員會ニ於テ大削減サレタモノヲ全部大ナル雅量ヲ以テ、又國家今日内外ノ形勢カラ——國家ハ將來如何ノ運命ニ遭遇スルカト云フ國ガ盛ニナルカ一步ヲ過マレバ國家ガドウ云フ困難ニ陷ルカト云フ此過渡期ニ立ツテ居ルノデアル、ドウカ國家ノ爲ニ、此時局ノ爲ニ、私ハ殊更ニ共舉國一致ヲ餘リ多ク唱ヘヌ方デアル、舉國一致ヲ強ヒヌト云フコトヲ言ツテ少シシク氣ニ入ラヌ御方モアツタヤウデアルガ、是ハ贊否ハ諸君ノ權能デアルカラ、是ハ洵ニ御隨意デアルガ、ドウカ雅量ヲ以テ此時局ノ爲ニ私ハ切ニ諸君ニ望ミマスノデアル(拍手起ル)(「大隈伯ニチヨット聽キタイ」ト呼フ者アリ)チヨット——私ハ先刻ノ元田君ノ御演說ノ時ニハ、ツイ中々拜聽シテ少シ用ガアツテ中座ヲ致シテ終リハセヌカトツマスル、是ハ丁度昨日ノ速記録ヲ御覽下サルト明ニ分ツテ居リマス(「拵ヘタラウ」馬鹿言フナ)ト呼フ者アリ)先日モ私ノ言葉ヲ誤ツテ政友會モ斯ウ云フ惡イコトヲ言ツタ、斯ウ云フ評判ガアツタト云フ議論デ、大分議場ガ沸騰シタガ、速記録ヲ御調ベニナツタナラバ御聽キニナツタ御方ノ感シタノガ全ク違ツタト云フコトガ現ハレタノデアル、ツレト同様ニ昨日ノ速記録ヲ御覽下サルト——チヨット之ヲ讀シテ見マセウ(「謹聽」ト呼フ者アリ)「内閣總理大臣、必ズ諸君ノ忠誠ナル和衷協同ヲシテ斯ノ如キ適當ナル費用ハ、必ズ本會ニ於テハ御同意ニナルコト、私ハ信ジテ疑ハヌノデアル、若シ是ニ反對スルト云フコトガアレバ、吾人ハ吾人ノ憲法ニ依ツテ與ヘラレタルコロノ權能ニ依ツテ爲スノデアル」(「直シタ」ト呼フ者アリ)大權トカ何トカ御聽違ヒニナツタカト思フ、ドウカ速記録ニアルノヲ御覽下サルト分ル

(拍手起ル)

○光森德治君 議長——議長

○議長(與繁二郎君) 何デス

○光森德治君 大隈伯ニチヨット聞キタイノデアル、(「無用々々」ト呼フ者アリ)大隈伯ニ聞キタイ所ガアリマス

○議長(與繁二郎君) 大隈伯ニ質問致スコトガアルノデスカ

○光森德治君 今ノ演說ニ付キマシテ、私ハ聞キタイ所ガアリマス、質問ガアリマス(「無用々々」ト呼フ者アリ)

○議長(與繁二郎君) 唯今討論終結ノ動議ガ出テ居リマス、之ヲ先決問題トシテ可否ヲ問フ考デゴザイマス

(「贊成々々」フ聲起ル)

○澤來太郎君 其終結ノ前ニ一言シタイ

○議長(與繁二郎君) 討論終結ニ先ツテ何事デス、何事ニ就テ

○澤來太郎君 陸軍大臣ノ御説明ニ對シテ少シ御問ヒシタイ

〔討論終結〕「無用々々」擱キ給ヘ「ト呼フ者アリ」

○議長(奥繁三郎君) 討論終結ノ勳議ニハ贊成デアルト認メマス

〔贊成〕「異議ナシ」反對「ト呼フ者アリ」

○議長(奥繁三郎君) 討論終結ノ勳議ニ異議ヲ唱ヘル方ガアリマス

〔異議ナシ〕「聲起ル」

○議長(奥繁三郎君) 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕「聲起ル」

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナイト認メマス、依テ討論ハ終結サレマシタ

○高木正年君 私ハ採決ノ方法ニ付テ勳議ガアリマス、簡單ニ其趣意ヲ述ベマス

〔無用々々〕「採決ノ方法ニ付テ」其他發言スル者多シ

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ——靜ニナサイ、高木君、アナタニ登壇ハ許シテアリマセヌ——高木君、アナタノ書面ヲ以テ出シテゴザル事ト違ヒマスカ

○高木正年君 採決ノ方法ニ付テデス

○議長(奥繁三郎君) ツレナラバ私が諮リマスカラ、間違ッテ居ッたらバ仰シヤイ、高木正年君外三名提出デ、制規ノ贊成ヲ以テ、此採決ニハ無記名投票ニ依ッテ決シテ呉レト云フコトデアリマス

〔拍手起リ〕「ノウ／＼」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ御聽キナサイ——サウ云フ勳議ヲ出サレテ居リマス、ツレカ

ヲ元田肇君外制規ノ贊成ヲ得テ、此決議ノ方法ヲ記名投票ヲ以テセラレタイト云フ勳議ガ出テ居リマス(拍手起ル)二箇ノ勳議——相反シタル勳議ガ出テ居リマス、是ハ議長ニ於テ之ヲ決スル考デアリマス、是ハ記名投票ニ依ッテ、此勳議ヲ何レカニ決シマス(拍手起ル)ツレテ無記名投票ニ依ルカ、記名投票ニ依ルカト云フ問題ヲ記名ニ依ッテ決シマス、本案ノ採決ハ記名投票ヲ用フベシトノ諸君ハ白票、之ニ反對ノ諸君ハ青票ヲ投ゼラレ

ルコトヲ望ミマス

〔青ダ〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 青票デス——諸君、モウ一度念ノ爲ニ告ゲテ置キマス、記名投票ヲ用フベシトノ諸君ハ白票、之ニ反對シテ無記名投票ヲ用フベシトノ諸君ハ青票——分リマシタカ

〔分リマシタ〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 記名投票ヲ行ヒマス——閉鎖——氏名點呼ヲ行ヒマス

〔書記氏名ヲ點呼ス〕

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナイト認メマス——閉鎖

〔書記官投票數ヲ計算ス〕

○議長(奥繁三郎君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致シマス

〔寺田書記官朗讀〕

投票總數 二百六十一

白票 二百十五

青票 百四十七

〔拍手起ル〕

〔記名投票ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ〕

稻茂登三郎君	森久保作藏君	望月右内君	漆昌巖君
村野常右衛門君	田中數之助君	岡田泰藏君	三谷軌秀君
植場平君	秋岡義一君	安村竹松君	井上篤太郎君
福井準造君	改野耕三君	安藤新太郎君	永見寛二君
横山寅一郎君	帆足準太郎君	則元由庸君	中倉万次郎君
若杉喜三郎君	高橋光威君	田邊熊一君	加藤勝彌君
丸山豐治郎君	佐野喜平太君	山本悌二郎君	指田義雄君
齋藤安雄君	粕谷義三君	大島寛爾君	齋藤珪次君
竹越與三郎君	武藤金吉君	日向輝武君	葉住利藏君
高津仲次郎君	鶴澤總明君	吉植庄一郎君	長島鷲太郎君
小山田信藏君	根本正君	小久保喜七君	宮古啓三郎君
飯田新右衛門君	石川甚作君	横田千之助君	友常穀三郎君
田村順之助君	八木逸郎君	岩本平藏君	井上敏夫君
森茂生君	川村曄君	松本宗吾君	石黒磐君
三輪市太郎君	清水市太郎君	吉原祐太郎君	春田祐清君
福岡精一君	伊東要藏君	清盛太郎君	堀内啓治君
松城兵作君	松浦五兵衛君	小泉策太郎君	堀内啓治君
吉田虎之助君	森川源吾君	原眞澄君	佐々木文一君
早川六三郎君	笠原忠造君	伊藤大八君	小山完吾君
岩岡伊代治君	翠川鐵三君	小坂順造君	小川平吉君
岩崎總十郎君	澤來太郎君	田代進四郎君	遠藤良吉君
菅原傳君	日下義雄君	堀切善兵衛君	吉田定之助君
松本孫右衛門君	原敬君	工藤吉次君	阿部德三郎君
鈴木巖君	樋口喜輔君	津島源右衛門君	廣澤磐二君
戸狩權之助君	小林源藏君	細梅三郎君	長晴登君
佐藤信古君	熊谷直太君	柳田清兵衛君	田中隆三君
三浦盛徳君	大橋松二郎君	熊谷五右衛門君	高島茂平君
戸水寛人君	山本七朗君	米田纈君	松田吉三郎君
相川久太郎君	岩田大七君	水津太郎平君	武部其文君
上埜安太郎君	濱本義顯君	西谷金藏君	法橋善作君
福岡世徳君	恆松隆慶君	島田俊雄君	小川藏次郎君
福井三郎君	小出五郎君	申本康三君	佐々木仙一君
井上角五郎君	森田俊左君	望月圭介君	渡邊祐策君
林永太君	大岡育造君	兒玉亮太郎君	岡崎邦輔君

西風 重遠君 中村啓次郎君 一坂俊太郎君 板東勘五郎君
大久保弁太郎君 三土忠造君 渡邊修君 矢野莊三郎君
光森德治君 白石直治君 岡田榮君 有馬秀雄君
友枝梅次郎君 樋口典常君 野田卯太郎君 藏內治郎作君
吉原正隆君 富安保太郎君 加藤新次郎君 永江純一君
元田肇君 松田源治君 三浦覺一君 川原茂輔君
高田露君 原田十衛君 江藤哲藏君 瀬戸山清彦君
飛岡卯一郎君 柚木慶二君 平田禎君 奥田榮之進君
肥後靜雄君 志々目藤彦君 武滿義雄君 麓純義君
床次竹二郎君 岸本賀昌君 護得久朝惟君 東武君
木下成太郎君 園田實德君 高木益太郎君 鈴木梅四郎君
關直彦君 古島一雄君 清水仁三郎君 野添宗三君
伊藤英一君 平野龜之助君 柏原文太郎君 相島勘次郎君
石田仁太郎君 中山梅治郎君 奥山寛平君 濱田國松君
大口喜六君 高柳覺太郎君 青地雄太郎君 柴田源左衛門君
人見米次郎君 中小路與平治君 伊東知也君 吉田圓助君
有森新吉君 犬養毅君 守屋此助君 山谷虎三君
西村丹治郎君 犬飼源太郎君 村松恆一郎君 土方千種君
的野半介君 大内暢三君 石橋爲之助君 林毅陸君
高野金重君 安川敬一郎君 肥田景之君
(記名投票ヲ否トスル議員ノ氏名左ノ如シ)
井坂光暉君 本出保太郎君 丸尾光春君 高鍋篤郎君
根岸峯太郎君 板倉中君 關信之介君 村井善四郎君
白川友一君 増田穰三君 武市庫太君 長谷川敬一郎君
水間此農夫君 濱田政壯君 小西和君 藏原惟郭君
黒須龍太郎君 松下山安次郎君 島田三郎君 平井熊三郎君
七里清介君 岩崎安次郎君 大森與三郎君 山宮藤吉君
小泉又次郎君 神藤才一君 齋藤隆夫君 肥塚龍君
横田孝史君 小寺謙吉君 齋藤隆夫君 水野正己君
本田恆之君 早川鐵治君 川合直次君 中野貫一君
目黒孝平君 坂口仁一郎君 川上淳一郎君 加藤政之助君
福田又一君 綾部惣兵衛君 矢島八郎君 須藤嘉吉君
小林勝民君 鶴澤宇八君 原脩次郎君 横尾輝吉君
辻寛君 加賀卯之吉君 安東敏之君 鈴置倉次郎君
早川龍介君 三浦逸平君 杉山東太郎君 根津嘉一郎君
宇佐美一寶君 坂口拙三君 矢島浦太郎君 藤澤幾之輔君
村松龜一郎君 鈴木萬次郎君 半谷清壽君 鈴木寅彦君

河野廣中君 福田善三郎君 柵瀬軍之佐君 工藤善太郎君
伊藤祐一君 竹村欽次郎君 井上廣居君 町田忠治君
齋藤宇一郎君 添田飛雄太郎君 眞館貞造君 森丘覺平君
野村嘉六君 奥田柳藏君 高橋久次郎君 石田孝吉君
原田赴城君 荒川五郎君 山道襄一君 國光五郎君
小河源一君 阪本彌一郎君 松家德二君 武内作平君
清水隆德君 片岡直温君 富田幸次郎君 大石正己君
大原義剛君 木下謙次郎君 津末良介君 箕浦勝人君
武富時敏君 狩野雄一君 西英太郎君 山田珠一君
井手三郎君 松村時次君 安達謙藏君 渡邊國重君
平山岩彦君 松田學君 三輪信次郎君 片桐酉次郎君
岩下清周君 菊池侃二君 大西五一郎君 松方幸次郎君
田川大吉郎君 大竹貫一君 加瀬禧逸君 阿由葉鎗三郎君
松本恆之助君 尾崎行雄君 森田小六郎君 田中善立君
尾崎元次郎君 村田虎次郎君 安田伊左衛門君 牧野彦太郎君
風間禮助君 岡部次郎君 菊池武德君 八田裕二郎君
田中清文君 橋本太吉君 花井卓藏君 早速整爾君
有田温三君 小山谷藏君 中川虎之助君 小田知周君
才賀藤吉君 平出喜三郎君 星野錫君 高水正年君
濱岡光哲君 紫安新九郎君 中辰之助君 關和知君
市川文藏君 金尾稜嚴君 久保通猷君
○議長(奥繁三郎君) 記名投票ヲ用ウルコトニ決シマシタ(拍手起ル)此豫算案ヲ採
決致シマスニ就キマシテハ、先ヅ先刻來ノ議論ノ岐ル、所ニ依リマシテ、其主義ヲ決シタ
イト思ヒマス、即チ二個師團増設ニ就テ此増設ヲ可トスルト、否トスルト、何レカラ記
名投票ニ依テ決スル考デアリマス
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)
○議長(奥繁三郎君) 其次ハ海軍省ノ所管ニ於キマシテ、軍艦製造費、乙號軍備
補充費、軍艦製造費中大正四年度ノ分ニ就テ採決スル考デアリマス、是ハ削減ノ意
見ガアリマスカラ賛成削除ヲ極メマス、其次ハ大藏省所管ニ就キマシテ、先ヅ是レダケ
ヲ後ハ其時其時ニ諮リマス、然ラバ二個師團ノ増設スベシト云フノ諸君ハ白票、之ニ反
對ノ諸君即チ増設ヲ否トスル諸君ハ青票、分リマシタカ、モウ一度宣言致シマス(謹
聽々々ト呼フ者アリ)二個師團増設ヲ可トスル諸君ハ白票、之ヲ否トスル諸君ハ青
票、氏名點呼ヲ命ジマス——閉鎖——氏名點呼ヲ行ヒマス
(書記氏名ヲ點呼ス)
○議長(奥繁三郎君) 投票漏ハアリマセヌカ——ナイト認メマス——開鎖——投票
ノ結果ヲ書記官ヨリ報告致シマス

投票總數 (寺田書記官朗讀)

可トスル者 二百六十一
否トスル者 百四十八
(拍手起ル)

(此時藏原惟郭君「チヨットマダ」ト呼ビ「モウイケナイ」ト呼フ者アリ)

(本案増設ラ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ)

井坂	光輝君	本出	保太郎君	丸尾	光春君	日向	輝武君
板倉	中君	村井	善四郎君	白川	友一君	増田	穰三君
武市	庫太郎君	長谷川	敬一郎君	水間	此農夫君	濱田	政壯君
清水	仁三郎君	小西	和君	黒須	龍太郎君	松田	安次郎君
中安	信三郎君	平井	熊三郎君	七里	清介君	岩崎	才一君
島田	三郎君	山宮	藤吉君	小泉	又次郎君	神藤	正己君
肥塚	龍君	小寺	謙吉君	齋藤	隆夫君	水野	孝平君
坂口	仁一郎君	川合	直次君	中野	貫一君	目黒	孝平君
綾部	惣兵衛君	矢島	八郎君	須藤	嘉吉君	小林	又一君
加賀	卯之吉君	安東	敏之君	鈴置	倉次郎君	早川	龍介君
三浦	逸平君	杉山	東太郎君	根津	嘉一郎君	宇佐美	一實君
岡崎	久次郎君	坂口	拙三君	矢島	清太郎君	藤澤	幾之輔君
村松	龜一郎君	鈴木	萬次郎君	半谷	清壽君	鈴木	寅彦君
河野	廣中君	福田	善三郎君	柵瀬	軍之佐君	工藤	善太郎君
伊藤	祐一郎君	竹村	欽次郎君	井上	廣居君	町田	忠治君
齋藤	宇一郎君	添田	飛雄太郎君	眞館	貞造君	森丘	覺平君
野村	嘉六君	奥田	柳藏君	高橋	久次郎君	石田	孝吉君
原田	赴城君	荒川	五郎君	山道	襄一君	國光	五郎君
小河	源一君	阪本	彌一郎君	秋田	清君	松家	德二君
武内	作平君	清水	隆德君	富田	幸次郎君	大石	正己君
大原	義剛君	水野	謙次郎君	津末	良介君	箕浦	勝人君
武富	時敏君	狩野	雄一君	西英	太郎君	井手	三郎君
松村	時次君	安達	謙藏君	渡邊	國重君	平山	岩彦君
松田	學君	三輪	信次郎君	片桐	百次郎君	岩下	清周君
菊池	侃二君	大西	五一郎君	松方	幸次郎君	田川	大吉郎君
大竹	貫一君	加瀬	禮逸君	阿由	葉鎗三郎君	松本	恆之助君
尾崎	行雄君	森田	小六郎君	田中	善立君	尾崎	元次郎君
村田	虎次郎君	安田	伊左衛門君	牧野	彦太郎君	風間	禮助君
岡部	次郎君	菊池	武德君	八田	裕二郎君	田中	清文君

(本案増設ラ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ)

橋本	太吉君	花井	卓藏君	早速	整爾君	有田	溫三君
小山	谷藏君	中川	虎之助君	小田	知周君	高野	金重君
才賀	藤吉君	平出	喜三郎君	星野	錫君	高木	正年君
濱岡	光哲君	紫安	新九郎君	中辰	之助君	關和	知君
市川	文藏君	金尾	稜嚴君	久保	通猷君	安川	敬一郎君
片岡	直温君	山田	珠一君	横田	孝史君		
稻葉	登三郎君	森久保	作藏君	望月	右内君	漆昌	巖君
村野	常右衛門君	田中	數之助君	岡田	泰藏君	三谷	軌秀君
植場	平君	秋岡	義一君	安村	竹松君	井上	篤太郎君
福井	準造君	改野	耕三君	安藤	新太郎君	永見	寛二君
横山	寅一郎君	帆足	隼太郎君	則元	由庸君	中倉	万次郎君
若杉	喜三郎君	高橋	光威君	田邊	熊一君	加藤	勝彌君
丸山	豐治郎君	佐野	喜平太君	山本	梯二郎君	指田	義雄君
齋藤	安雄君	粕谷	義三君	大島	寛爾君	齋藤	圭次君
竹越	與三郎君	武藤	金吉君	葉住	利藏君	高津	仲次郎君
鵜澤	總明君	吉植	庄一郎君	長島	驚太郎君	小山田	信藏君
根本	正君	小久保	喜七君	宮古	啓三郎君	飯田	新右衛門君
石川	甚作君	横田	千之助君	友常	穀三郎君	田村	順之助君
八木	逸郎君	岩本	平藏君	井上	敏夫君	森茂	生君
川村	曄君	松本	宗吾君	石黒	磐君	三輪	市太郎君
清水	市太郎君	吉原	祐太郎君	春田	祐清君	福岡	精一君
伊東	要藏君	清峯	太郎君	岩崎	勳君	松城	兵作君
松浦	五兵衛君	小泉	策太郎君	堀内	啓治君	吉田	虎之助君
森川	源吾君	原眞	澄君	佐々木	文一君	早川	六三郎君
笠原	忠造君	伊藤	大八君	小山	完吾君	岩岡	伊代治君
翠川	鐵三君	小坂	順造君	小川	平吉君	岩崎	總十郎君
澤來	太郎君	田代	進四郎君	遠藤	良吉君	菅原	傳君
日下	義雄君	堀切	善兵衛君	吉田	定之助君	松本	孫右衛門君
原口	喜輔君	津島	源右衛門君	阿部	德三郎君	鈴木	權之助君
小口	源藏君	細梅	三郎君	長	晴登君	佐藤	信古君
熊谷	直太郎君	榎田	清兵衛君	田中	隆三君	三浦	盛德君
大橋	松一郎君	熊谷	五右衛門君	高島	茂平君	戸水	寛人君
山本	七朗君	米田	穰君	松田	吉三郎君	相川	久太郎君
岩田	大七君	水津	太郎平君	武部	其文君	上埜	安太郎君
濱本	義顯君	西谷	金藏君	法橋	善作君	福岡	世德君
恆松	隆慶君	島田	俊雄君	小川	藏次郎君	福井	三郎君

(本案ヲ否トスル議員ノ氏名左ノ如シ)

小出 五郎君	串本 康三君	佐々木 仙一君	井上 角五郎君	稻茂 登三郎君	森久保 作藏君	望月 右内君	漆 昌 巖君
森田 俊左久君	望月 圭介君	渡邊 祐策君	林 永 太君	村野 常右衛門君	田中 數之助君	岡田 泰藏君	三谷 軌秀君
大岡 育造君	兒玉 亮太郎君	岡崎 邦輔君	西風 重遠君	植場 平君	秋岡 義一君	安村 竹松君	井上 篤太郎君
中村 啓次郎君	一坂 俊太郎君	板東 勘五郎君	大久保 弁太郎君	福井 準造君	改野 耕三君	安藤 新太郎君	永見 寛二君
三土 忠造君	渡邊 修君	矢野 莊三郎君	光森 德治君	橫山 寅一郎君	帆足 隼太郎君	則元 由庸君	中倉 萬次郎君
白石 直治君	岡田 榮君	有馬 秀雄君	友枝 梅次郎君	若杉 喜三郎君	高橋 光威君	田邊 熊一君	加藤 勝彌君
樋口 典常君	野田 卯太郎君	藏内 治郎作君	吉原 正隆君	丸山 豐治郎君	佐野 喜平太君	山本 悌二郎君	指田 義雄君
富安 保太郎君	加藤 新次郎君	永江 純一君	元田 肇君	齋藤 安雄君	粕谷 義三君	大島 寛爾君	齋藤 珪次君
松田 源治君	三浦 覺一君	川原 茂輔君	高田 露君	竹越 與三郎君	武藤 金吉君	葉住 利藏君	高津 仲次郎君
原田 十衛君	江藤 哲藏君	瀬戸山 清彦君	飛岡 卯一郎君	鵜澤 總明君	吉植 庄一郎君	長島 鷲太郎君	小山田 信藏君
柚木 慶二君	平田 禎君	奥田 榮之進君	肥後 靜雄君	根本 正君	小久保 喜七君	宮古 啓三郎君	飯田 新右衛門君
志々目 藤彦君	武滿 義雄君	麓 純 義君	床次 竹二郎君	石川 甚作君	橫田 千之助君	友常 穀三郎君	田村 順之助君
岸本 賀昌君	護得 久朝惟君	東 武君	木下 成太郎君	八木 逸郎君	岩本 平藏君	井上 敏夫君	森 茂生君
園田 實德君	高木 益太郎君	鈴木 梅四郎君	關 直彦君	川村 曄君	松本 宗吾君	石 黑 磐君	三輪 市太郎君
古島 一雄君	野添 宗三君	伊藤 英一君	平野 龜之助君	清水 市太郎君	吉原 祐太郎君	春田 祐清君	福岡 精一君
柏原 文太郎君	相島 勘次郎君	石田 仁太郎君	中山 梅治郎君	伊東 要藏君	清 峯 太郎君	岩崎 勳君	松城 兵作君
奥山 寛平君	濱田 國松君	大口 喜六君	高柳 覺太郎君	松浦 五兵衛君	小泉 策太郎君	堀内 啓治君	吉田 虎之助君
青地 雄太郎君	柴田 源左衛門君	人見 米次郎君	中小路 與平治君	笠原 忠造君	伊藤 大八君	小山 完吾君	早川 六三郎君
伊東 知也君	吉田 圓助君	有森 新吉君	犬 養 毅君	翠川 鐵三君	小坂 順造君	小川 平吉君	岩岡 伊代治君
守屋 此助君	山谷 虎三君	西村 丹治郎君	犬飼 源太郎君	澤來 太郎君	田代 進四郎君	遠藤 良吉君	菅 原 傳君
村松 恆一郎君	土方 千種君	的野 半介君	大内 暢三君	日下 義雄君	堀切 善兵衛君	吉田 定之助君	松本 孫右衛門君
大森 與三郎君	石橋 爲之助君	林 陸 毅君	江副 靖臣君	原 敬君	工藤 吉次君	阿部 德三郎君	鈴木 權之助君
肥田 景之君				樋口 喜輔君	津島 源右衛門君	廣澤 辨二君	戸狩 權之助君
				小林 源藏君	細梅 三郎君	長 晴 登君	佐藤 信古君
				熊谷 直太君	榑田 清兵衛君	田中 隆三君	三浦 盛德君
				大橋 松一郎君	熊谷 五右衛門君	高島 茂平君	戸水 寛人君
				山本 七朗君	米田 穰君	松田 吉三郎君	相川 久太郎君
				岩田 大中君	水津 太郎平君	武部 其文君	上埜 安太郎君
				濱本 義顯君	西谷 金藏君	法橋 善作君	福岡 世德君
				恆松 隆慶君	島田 俊雄君	小川 藏次郎君	福井 三郎君
				小出 五郎君	串本 康三君	佐々木 仙一君	井上 角五郎君
				森田 俊左久君	望月 圭介君	渡邊 祐策君	林 永 太君
				大岡 育造君	兒玉 亮太郎君	岡崎 邦輔君	西風 重遠君
				中村 啓次郎君	一坂 俊太郎君	板東 勘五郎君	大久保 弁太郎君
				三土 忠造君	渡邊 修君	矢野 莊三郎君	光森 德治君
				白石 直治君	岡田 榮君	有馬 秀雄君	友枝 梅次郎君

○議長(奥繁三郎君) 其次ハ海軍省ノ所管軍艦製造費即チ海軍水雷驅逐艇八隻及潛航艇二隻ノ新造費(解散ハドウシタト呼フ者アリ)之ヲ可トスル者ハ白票、之ヲ否トスル者即チ削除ノ意見ノ方ハ青票、分リマシタカ(分タ分タト呼フ者アリ)モウ一度申シマス、海軍省ノ所管軍艦製造費海軍水雷驅逐艇八隻及潛航艇二隻ノ新造費ヲ可トスル人ハ白票、否トスル人ハ青票、閉鎖——氏名點呼ヲ命ジマス

(書記氏名ヲ點呼ス)

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ハアリマセヌカ、開鎖——投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致シマス

(林田書記官長朗讀)

出席總員 二百六十一

可トスル者 百八十四

否トスル者 百七十七

(拍手起ル)

樋口典常君 野田卯太郎君 藏内治郎作君 吉原正隆君
富安保太郎君 加藤新次郎君 永江純一君 元田肇君
松田源治君 三浦覺一君 川原茂輔君 高田露君
原田十衛君 江藤哲藏君 瀬戸山清彦君 飛岡卯一郎君
柚木慶二君 平田禎君 奥田榮之進君 肥後靜雄君
志々目藤彦君 武瀨義雄君 麓純義君 床次竹二郎君
岸本賀昌君 護得久朝惟君 東武君 木下成太郎君
園田實德君

(本案ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ)

井坂光暉君 本出保太郎君 丸尾光春君 日向輝武君
板倉中君 村井善四郎君 白川友一君 増田穰三君
武市庫太郎君 長谷川敬一郎君 水間此農夫君 濱田政壯君
高水益太郎君 鈴木梅四郎君 關直彦君 古島一雄君
清水仁三郎君 野添宗三君 伊藤英一君 平野龜之助君
柏原文太郎君 相島勘次郎君 石田仁太郎君 中山梅治郎君
奥山寛平君 濱田國松君 大口喜六君 高柳覺太郎君
青地雄太郎君 柴田源左衛門君 人見米次郎君 中小路與平治君
伊東知也君 吉田圓助君 有森新吉君 犬養毅君
守屋此助君 山谷虎三君 西村丹治郎君 犬飼源太郎君
小西和君 村松恆一郎君 土方千種君 的野半介君
大内暢三君 藏原惟郭君 黒須龍太郎君 松下軍治君
中安信三郎君 平井熊三郎君 岩崎安次郎君 島田三郎君
山宮藤吉君 小泉又次郎君 神藤才一君 大森與三郎君
肥塚龍君 横田孝史君 小寺謙吉君 齋藤隆夫君
水野正己君 本田恆之君 早川鐵治君 川合直次君
中野貫一君 目黒孝平君 坂口仁一郎君 川上淳一郎君
加藤政之助君 福田又一君 綾部惣兵衛君 矢島八郎君
須藤嘉吉君 小林勝民君 加賀卯之吉君 安東敏之君
横尾輝吉君 辻寛君 岡崎久次郎君 坂口拙三君
鈴置倉次郎君 早川龍介君 三浦逸平君 杉山東太郎君
根津嘉一郎君 宇佐美一寶君 岡崎久次郎君 坂口拙三君
矢島浦太郎君 藤澤幾之輔君 村松龜一郎君 鈴木萬次郎君
半谷清壽君 鈴木寅彦君 河野廣中君 福田善三郎君
棚瀬軍之佐君 工藤善太郎君 伊藤祐一君 竹村欽次郎君
井上廣居君 町田忠治君 齋藤宇一郎君 添田飛雄太郎君
眞館貞造君 森丘覺平君 野村嘉六君 奥田柳藏君
高橋久次郎君 石田孝吉君 原田赴城君 荒川五郎君
山道襄一君 國光五郎君 小河源一君 阪本彌一郎君

秋田清君 松家徳二君 武内作平君 清水隆徳君
片岡直温君 富田幸次郎君 大石正己君 大原義剛君
水野謙次郎君 津末良介君 箕浦勝人君 武富時敏君
狩野雄一君 西英太郎君 山田珠一君 井手三郎君
松村時次君 安達謙藏君 渡邊國重君 平山岩彦君
松田學君 三輪信次郎君 片桐西次郎君 岩下清周君
菊池侃二君 大西五一郎君 石橋爲之助君 松方幸次郎君
田川大吉郎君 大竹貫一君 加瀬禧逸君 阿由葉鎗三郎君
松本恆之助君 尾崎行雄君 森田小六郎君 田中善立君
尾崎元次郎君 村田虎次郎君 安田伊左衛門君 牧野彦太郎君
風間禮助君 岡部次郎君 菊池武徳君 八田裕二郎君
田中清文君 橋本太吉君 花井卓藏君 早速整爾君
有田温三君 小山谷藏君 中川虎之助君 小田知周君
林毅君 高野金重君 才賀藤吉君 平出喜三郎君
星野錫君 高木正年君 濱岡光哲君 紫安新九郎君
中辰之助君 關和知君 市川文藏君 金尾稜嚴君
久保通猷君 安川敬一郎君 江副靖臣君 肥田景之君
○議長(奥繁三郎君) 諸君ニ御諮リ致シマス、先刻記名投票ニ依テ採決スルト云フ
コトハ此豫算案中ノ最重要視サレテ居ルニ一箇師團ノ増設費ト海軍ノ新造費ニ付
テハ先刻ノ方法ニ依テ採決致シマス、是ヨリ御諮リスル事柄ニ付キマシテハ先ツ起立
ニ依テ可否ヲ問フ考テ、其數ニ疑義ガ起ツタ時分ニハ記名投票ニ依テ採決スル考デゴ
ザイマス、御異存ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 異議ナシト認メマス、而シテ此際犬養毅君ヨリ御提出ニナリ
マシタル修正意見、之ヲ全部一括シテ採決スル考デアリマス、其採決方法ニ御異議アリ
リマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 然ラバ犬養毅君ヨリ提出ノ修正案ニ付テ……

(「待ツ」ト云レハオカシイ) 異議アリ異議アリ「分リマセヌ」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 靜ニドウツ——犬養毅君ノ修正意見ニ賛成ノ方ハ起立

起立者 少數

○議長(奥繁三郎君) 少數、消滅致シマシタ、其次ニハ先刻大岡君ヨリ提出サレマ
シタル動議、既ニ其動議ノ書面ハ朗讀致シマシテ御了承ニナツテ居ルコト、思ヒマスカラ、
再ビ朗讀ハ省キマス、而シテ此動議ハ單ニ當該款項ヲ議スルニ當リ原案賛成ト認メテ、
原案復活ノ意見ノヤウニ考ヘマス、仍テ原案ニ付テ採決致シマス、サウ致シテ御異議アリ
リマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス

〔議長能ク分リマセヌ〕又「分ッテ居マス」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 其次ハ全部委員長ノ報告ニ對シテ可否ヲ問フ考デゴザイマス
〔反對〕「ツレハイカヌツレハイカヌ」ノウ「ト呼フ者アリ」

○大岡育造君 ツレハイケマセヌ

○議長(奥繁三郎君) 何カ意見ガアリマスナラバ承リマセウ、大岡育造君

○大岡育造君 豫算委員會ニ於テ決ヲ採ツタ例モアリマシテ、各省ニ通シテ居ル參政官ヨリ御採リヲ願ヒタイノデアリマス

〔贊成々々〕「ヒヤノ」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) ツレデハ各省ニ通シテサウ致シマセウ

〔參政官副參政官監察官〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) ツレデハ内務省ノ所管ニ於キマシテ地方行政監察制度新設ニ付キマシテ、委員長ノ報告ノ贊成反對ヲ問ヒマス

〔各省ニ通シテ〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 今各省ニ通シテ言ヒマシタ所ガ……

○大岡育造君 參政官ト副參政官ハ各省ニ通シテ居リマスカラ、之ヲ御採リヲ願フト云フコトヲ申シタノデアリマス

〔其通り〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 素ヨリアナタノ仰シナル分モ採リマス、參政官ヲ先キニ採ッテ吳レト云フ御意見デスカ

○大岡育造君 サウデス

○議長(奥繁三郎君) サウデスカ、ツレナラ其方ヲ先ニ採リマセウ、各省ヲ通シテ……
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○大岡育造君 各省ヲ通シテ……

○議長(奥繁三郎君) 各省ニ互ル參政官、副參政官ノ俸給ノ削除ニ付テ……
○大岡育造君 俸給バカリデハナイ、費用ト言ッテ貰ヒタイ

〔俸給及廳費〕「書記官長少シ注意セヨ」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 俸給其他一切ノ費用ニ付テ委員長ノ意見ニ對シテ可否ヲ問ヒマス、委員長ノ報告ニ贊成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

〔拍手起ル〕

○議長(奥繁三郎君) 過半数ニ依リマシテ委員長報告通り決シマス、其次ハ内務省所管ノ地方行政監察制度、新設ニ付採決致シマス、委員長ノ報告ニ贊成ノ方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

〔拍手起ル〕

○議長(奥繁三郎君) 過半数ニ依ッテ委員長報告通り決シマス、其次ハ水産講習所傳染病研究所ヲ文部省所轄ニ移スコトノ可否ニ付テ採決致シマス

〔移スコトハナイ否決スルノデス〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 是レハ先刻言ヒマシタ、其趣意ニ付テ採決スルノデアリマス、此移スコトヲ否トスル方ノ起立ヲ求メマス

起立者

○議長(奥繁三郎君) 過半数

〔少數々々〕ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 過半数ト宣告シマシタ

〔異議アリ異議アリ〕ト呼フ者多シ

○議長(奥繁三郎君) 然ラバ記名投票ニ依テ採決シマス、水産講習所、傳染病研究所ヲ文部省所管ニ移スニ同意ノ方ハ白票、移スコトヲ否トスル方ハ青票 閉鎖
指名點呼ヲ行ヒマス

〔書記氏名ヲ點呼ス〕

○議長(奥繁三郎君) 投票漏ハアリマセヌカ 投票漏ハナイト認メマス、閉鎖
投票ノ結果ハ書記官長ヨリ報告致シマス

〔林田書記官長朗讀〕

出席總員 三百五十八

可トスル者 百七十一

否トスル者 百八十七

〔拍手起ル〕

〔本案移管ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ〕

本出 保太郎君	根岸 崑太郎君	日向 輝武君	板倉 中君
白川 友一君	増田 穰三君	高木 益太郎君	鈴木 梅四郎君
關 直彦君	古島 一雄君	清水 仁三郎君	野添 宗三君
伊藤 英一君	平野 龜之助君	柏原 文太郎君	相島 勘次郎君
石田 仁太郎君	中山 梅治郎君	奧山 寛平君	濱田 國松君
大口 喜六君	高柳 覺太郎君	青地 雄太郎君	柴田 源左衛門君
八見 米次郎君	中小路 與平治君	伊東 知也君	吉田 圓助君
有森 新吉君	犬養 毅君	守屋 此助君	山谷 虎三君
西村 丹治郎君	犬飼 源太郎君	小西 和君	村松 恆一郎君
土方 千種君	的野 半介君	大内 暢三君	藏原 惟郭君
黑須 龍太郎君	中安 信三郎君	平井 熊三郎君	岩崎 安次郎君
島田 三郎君	山宮 藤吉君	小泉 又次郎君	神藤 才一君
大森 與三郎君	肥塚 龍君	横田 孝史君	小寺 謙吉君
齋藤 隆夫君	水野 正己君	本田 恆之君	早川 鐵冶君
川合 直次君	中野 貫一君	目黒 孝平君	坂口 仁一郎君
川上 淳一郎君	加藤 政之助君	福田 又一君	綾部 惣兵衛君
矢島 八郎君	須藤 嘉吉君	小林 勝民君	鶴澤 宇八君
原 脩次郎君	横尾 輝吉君	辻 寛君	加賀 卯之吉君
安東 敏之君	鈴置 倉次郎君	早川 龍介君	三浦 逸平君

杉山東太郎君 根津嘉一郎君 宇佐美一寶君 岡崎久次郎君
坂口拙三君 矢島浦太郎君 藤澤幾之輔君 村松龜一郎君
鈴木萬次郎君 半谷清壽君 鈴木寅彦君 河野廣中君
福田善三郎君 柵瀬軍之佐君 工藤善太郎君 伊藤祐一君
竹村欽次郎君 井上廣居君 町田忠治君 齋藤宇一郎君
添田飛雄太郎君 眞館貞造君 森丘覺平君 野村嘉六君
奥田柳藏君 高橋久次郎君 石田孝吉君 原田赴城君
荒川五郎君 山道襄一君 國光五郎君 小河源一君
阪本彌一郎君 秋田清君 松家德二君 武內作平君
清水隆德君 片岡直溫君 富田幸次郎君 大石正己君
大原義剛君 木下謙次郎君 津末良介君 箕浦勝人君
武富時敏君 狩野雄一君 西英太郎君 山田珠一君
井出三郎君 松村時次君 安達謙藏君 渡邊國重君
平山岩彦君 松田學君 三輪信次郎君 片桐西次郎君
菊池侃二君 大西五一郎君 石橋爲之助君 松方幸次郎君
田川大吉郎君 大竹貫一君 加瀬禱逸君 阿由葉鎗三郎君
松本恆之助君 尾崎行雄君 森田小六郎君 田中善立君
尾崎元次郎君 村田虎次郎君 安田伊左衛門君 牧野彦太郎君
風間禮助君 岡部次郎君 菊池武德君 八田裕二郎君
田中清文君 橋本太吉君 花井卓藏君 早速整爾君
有田溫三君 小山谷藏君 中川虎之助君 小田知周君
才賀藤吉君 平出喜三郎君 星野錫君 高木正年君
濱岡光哲君 紫安新九郎君 中辰之助君 關和知君
市川文藏君 久保通猷君 安川敬一郎君

(本案移管ヲ否トスル議員ノ氏名左ノ如シ)

稻茂登三郎君 森久保作藏君 望月右内君 漆昌巖君
村野常右衛門君 田中數之助君 岡田泰藏君 三谷軌秀君
井坂光暉君 植場平君 秋岡義一君 安村竹松君
井上篤太郎君 福井準造君 改野耕三君 丸尾光春君
高鍋篤郎君 安藤新太郎君 永見寛二君 横山寅一郎君
帆足準太郎君 則元由庸君 中倉萬次郎君 若杉喜三郎君
高橋光威君 田邊熊一君 加藤勝彌君 丸山豐治郎君
佐野喜平太君 山本梯二郎君 指田義雄君 齋藤安雄君
粕谷義三君 大島寬爾君 齋藤桂次君 竹越與三郎君
武藤金吉君 葉住利藏君 高津仲次郎君 鵜澤總明君
吉植庄一郎君 長島鷲太郎君 小山田信藏君 根本正君
小久保喜七君 宮古啓三郎君 飯田新右衛門君 石川甚作君
横田千之助君 友常穀三郎君 田村順之助君 八木逸郎君

岩本平藏君 村井善四郎君 井上敏夫君 森茂生君
川村曄君 松本宗吾君 石黒磐君 三輪市太郎君
清水市太郎君 吉原祐太郎君 春田祐清君 福岡精一君
伊東要藏君 清峯太郎君 岩崎勳君 松城兵作君
松浦五兵衛君 小泉策太郎君 堀内啓治君 吉田虎之助君
森川源吾君 原眞澄君 佐々木文一君 早川六三郎君
笠原忠造君 伊藤大八君 小山完吾君 岩岡伊代治君
翠川鐵三君 小坂順造君 小川平吉君 岩崎總十郎君
澤來太郎君 田代進四郎君 遠藤良吉君 菅原傳君
日下義雄君 堀切善兵衛君 吉田定之助君 松本孫右衛門君
原敬君 工藤吉次君 阿部德三郎君 鈴木水巖君
樋口喜輔君 津島源右衛門君 廣澤辨二君 戸狩權之助君
小林源藏君 細梅三郎君 長晴登君 佐藤信古君
熊谷直太君 榊田清兵衛君 田中隆三君 三浦盛德君
大橋松二郎君 熊谷五右衛門君 高島茂平君 戸水寛人君
山本七朗君 米田纓君 松田吉三郎君 相川久太郎君
岩田大中君 水津太郎君 武部其文君 上埜安太郎君
濱木義顯君 西谷金藏君 法橋善作君 福岡世德君
恆松隆慶君 島田俊雄君 小川藏次郎君 福井三郎君
小出五郎君 串本康三君 井上角五郎君 森田俊左君
望月圭介君 渡邊祐策君 林永太君 大岡育造君
兒玉亮太郎君 岡崎邦輔君 西風重遠君 中村啓次郎君
一坂俊太郎君 板東勸五郎君 大久保弁太郎君 三土忠造君
渡邊修君 矢野莊三郎君 武市庫太君 光森德治君
白石直治君 岡田榮君 有馬秀雄君 友枝梅次郎君
樋口典常君 野田卯太郎君 藏内治郎君 吉原正隆君
富安保太郎君 加藤新次郎君 永江純一君 元田肇君
松田源治君 三浦覺一君 川原茂輔君 長谷川敬一郎君
高田露君 原田十衛君 江藤哲藏君 水間此農夫君
濱田政壯君 瀬戸山清彦君 飛岡卯一郎君 柚木慶二君
平田禎君 奥田榮之進君 肥後靜雄君 志々目藤彦君
武滿義雄君 籠純義君 床次竹二郎君 岸本賀昌君
護得久朝惟君 東武君 木下成太郎君 園田實德君
岩下清周君 林毅君 陸君肥田景之君

○議長(奥繁三郎君) 否決ニナリマシタ、此次ニハ前ニ決シマシタ以外ノ部分ニ付テハ、全部委員長報告ニ對シテ可否ヲ問ヒマス、委員長報告ニ賛成ノ方ノ起立ヲ命ジマス

起立者 多數

○議長(奥繁三郎君) 過半数ト認メマス、仍テ委員長報告通り決シマシタ、諸君、詔勅ガ降リマシタ

各員起立

○議長(奥繁三郎君) 之ヲ捧讀致シマス

朕帝國憲法第七條ニ依リ衆議院ノ解散ヲ命ス

(拍手起ル)

午後十時五十七分散會

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

區裁判所復活及地方裁判所支部權限復舊ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正三年十二月二十二日

提出者 村松恆一郎

贊成者 高木益太郎

外三十二人

區裁判所復活及地方裁判所支部權限復舊ニ關スル質問主意書

一政府ハ曩ニ行政整理ノ目的ヲ以テ全國多數ノ區裁判所ヲ廢止シ同時ニ地方裁判所支部ノ權限ヲ縮小シ單ニ刑事ノ豫審ノミニ止ムルコトトシ之カ爲メ地方人民ノ蒙ル不利不便ハ名狀スヘカラス現ニ其ノ復活ヲ希望スル請願續出シテ既ニ院議採擇シタルモノ少カラス政府ハ速ニ之ヲ復活シテ人民ノ利便ヲ圖ルノ意志ナキカ一議會ノ要望シタル行政整理ノ目的ハ元費ヲ節省シテ地方事務ヲ簡捷ニシテ人民ノ利便ヲ圖ルニ在リ然ルニ前記區裁判所ノ廢止及地方裁判所支部權限縮小ノ結果實際ニ節約シ得タル金額ハ僅ニ五十萬圓内外ニシテ地理不便ノ爲直接人民ノ蒙ル損害額ハ數百萬圓ニ上リ全ク前記ノ精神ヲ沒却シタルモノト認ム政府若復活ノ意志アルモ經費ノ關係上之ヲ斷行スル能ハストセハ政府ハ僅少ナル節約ノ爲メ多大ナル人民ノ利便ヲ犧牲ニスルモノヲ願サルノ意志ナルカ右及質問候也

追而右ハ趣旨辯明ヲ爲ササルヲ以テ速ニ答辯アラムコトヲ望ム

日獨交戦ノ原因及經過ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正三年十二月二十四日

提出者 三谷 軌秀

贊成者 松田 源治

外三十八人

日獨交戦ノ原因及經過ニ關スル質問主意書

一 日獨交戦ノ目的ハ日英協約前文ハノ後段ニ揭ケタル東亞及印度ノ地域ニ於ケル兩締盟國ノ特殊利益ヲ防護スルニ在ル乎

二 果シテ然ラハ兩締盟國中何レノ利益ガ危殆ニ迫リタルヤ又其ノ危殆ニ迫リタルコトヲ認メテ日英協約第一條ニ依リ通告ヲ爲シタルハ帝國政府ナルヤ將タ英國政府ナルヤ

三 若帝國政府ナリトセハ何レノ日時及場所ニ於テ如何ナル利益ガ危殆ニ迫リタルヤ若又英國政府ナリトセハ其ノ通告ヲ受ケタル日時及方法如何且英國政府ノ如何ナル利益ガ何レノ時及場所ニ於テ危殆ニ迫リタルヤ

五 帝國政府カ大正三年八月十五日獨逸國政府ニ致シタル最後通牒文ニ所謂極東ノ和平ヲ紊亂スヘキ源泉トハ膠洲灣ニ於ケル獨逸國ノ軍備ヲ指稱セルモノナルヘシト雖日英協約ニ基キ交戦ノ起因タルニハ十有餘年前ヨリ施設セル該軍備其ノモノニ非スシテ必兩締盟國中何レカノ利益ガ危殆ニ瀕セシムヘキ軍事的行動ヲササルヘカラス然ルニ政府ハ其ノ軍事的行動ヲ指示セス又獨逸國ニ對シ最後通牒ヲ發スル前其ノ行動ヲ防止スヘキ何等外交的手段ヲ執ラサリシハ何故ナルヤ

六 以上ハ日獨交戦ノ起因及講和ニ至大ノ關係アルヲ以テ國民ノ齊シク聞カムト欲ス所ナリ故ニ政府ハ須ラク其ノ事實ヲ舉ゲ之ヲ國民ニ知得セシメサルヘカラス然ルニ加藤外務大臣ハ第三十四回帝國議會ニ於テ日獨交戦ハ日英協約ニ基キ日英同盟ノ通義ニ依リ止ムヲ得サルニ出テタル旨ヲ言明スルノミニシテ毫モ其ノ交戦ノ起因タル事實ヲ舉ゲス又日英兩國政府間ニ相互ニ充分ニ且隔意ナク通告シタル往復文書ヲ示ササルハ何故ナルヤ

七 膠洲灣ノ攻撃ニ英國陸海軍ノ參加シタルハ日英協約第二條ニ依リ英國自ラ來リテ援助シタルモノナルヤ又帝國ノ陸海軍力往キテ英國ニ援助ヲ與ヘタルモノナルヤ又南洋、印度洋、太平洋及遠ク南米ニ帝國艦隊ヲ派遣シテ軍事行動ニ從事セシムルモ亦英國ニ援助ヲ與フルモノナルヤ

八 果シテ然リトセハ兩締盟國陸海軍當局者ニ於テ日英協約第五條ニ依リ協定シタル兵力的援助ヲ與フヘキ條件及該援助ノ實行方法如何
右ハ趣旨辯明ヲ爲ササルニ依リ速ニ以上ノ事項ニ關シ兩締盟國間ニ爲シタル通告、聲明其ノ他一切ノ往復文書ヲ添ヘ書面ヲ以テ明確ナル答辯アラムコトヲ望ム
右及質問候也

